

芦野団地市営住宅 (No. 1号棟) 建替建設 (建築) 工事

設 計 図

五所川原市 建設部 建築住宅課

株 式 会 社 青 和 設 計

図面リスト			
A- 1	建築工事特記仕様書・1	S- 1	杭伏図・基礎伏図
A- 2	建築工事特記仕様書・2	S- 2	基礎詳細図
A- 3	建築工事特記仕様書・3	S- 3	土台パッキン伏図
A- 4	建築工事特記仕様書・4	S- 4	床伏図
A- 5	建築工事特記仕様書・5	S- 5	小屋伏図・部材リスト
A- 6	建築工事特記仕様書・6	S- 6	軸組図・1
A- 7	建築工事特記仕様書・7	S- 7	軸組図・2
A- 8	建築工事特記仕様書・8	S- 8	壁量計算書
A- 9	建築工事特記仕様書・9	S- 9	柱頭柱脚・筋かい金物詳細図（参考図）
A-10	建築工事特記仕様書・10		
A-11	建築工事特記仕様書・11		
A-12	建築工事特記仕様書・12		
A-13	建築工事特記仕様書・13		
A-14	建築工事特記仕様書・14		
A-15	建築工事特記仕様書・15		
A-16	全体配置図・付近案内図・仮囲い参考図		
A-17	配置図・敷地面積求積図・面積（座標法）計算表		
A-18	建物面積求積図・求積表		
A-19	住宅性能評価仕様書		
A-20	外部・内部仕上表		
A-21	平面図		
A-22	屋根伏図		
A-23	立面図 張り分け図		
A-24	断面図 界壁詳細図		
A-25	矩計図		
A-26	断面詳細図		
A-27	平面詳細図		
A-28	展開図・1		
A-29	展開図・2		
A-30	展開図・3		
A-31	部分詳細図・1		
A-32	部分詳細図・2		
A-33	部分詳細図・3		
A-34	天井伏図		
A-35	建具キープラン		
A-36	建具表・1		
A-37	建具表・2		
A-38	採光・排煙・換気検討書		

芦野団地市営住宅(No.1号棟)建替建設（建築）		特記仕様書									
<div>I. 工事概要</div> <div>1. 工事場所五所川原市金木町芦野 地内</div> <div>2. 敷地面積686.61㎡</div> <div>3. 工事種目<div>1) 共同住宅 木造 平屋建</div><div>新築1棟</div><div>建築面積215.30㎡</div><div>延べ面積170.58㎡</div></div> <div>4. 指定部分<div>・有 対象部分（ ）</div><div>指定部分工期 年 月 日</div><div>○無</div></div> <div>5. 工事範囲※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。<div>・「3. 工事種目」のうち の工事範囲は下記のとおりとする。</div></div>		<div>II. 建築工事仕様</div> <div>(1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築木造工事標準仕様書 令和7年版」（以下「木造標準仕様書」という。）及び「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」（以下「標準仕様書」という。）によるほか、下記仕様書等のうち、○を付けたものを適用する。<div>○建築工事標準詳細図（令和4年版）（以下「標準詳細図」という。）</div><div>・建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）</div></div> <div>(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。<div>なお、電気設備工事の特記仕様書は（ ）図、機械設備工事の特記仕様書は（ ）図による。</div></div> <div>(3) 本特記仕様書の表記<div>1) 項目は、○印の付いたものを適用する。</div><div>2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。<div>○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。</div><div>○印と ⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。</div></div><div>3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、木造標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。</div><div>4) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。</div><div>5) 印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和8年2月3日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。</div></div>		<div>仮設工事</div> <div>②○足場等</div> <div>＜2.2.4＞</div> <div>「「手すり先行工法等に関するガイドライン」について」（厚生労働省 令和5年12月26日）の「（別紙）手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における2の（1）手すり据置き方式又は（2）手すり先行専用足場方式により行う。</div>		<div>土工事</div> <div>③-2○埋戻し及び盛土</div> <div>材料及び工法（3.2.3）</div> <div>※標準仕様書 表3.2.1による</div> <div>種別</div> <div>・A種 適用場所（ ）</div> <div>○B種 適用場所（埋戻し、盛土）</div> <div>・C種 適用場所（ ）</div> <div>土 質（ ）</div> <div>受渡場所（ ）</div> <div>・D種 適用場所（ ）</div> <div>（品質 細粒分（75μm以下）の含有率（重量百分率）の上限を50%未満とする）</div> <div>・材料（ ） 工法（ ）</div>		<div>地業工事</div> <div>③-3○支持地盤等</div> <div>（3.2.1）（4.2.4）（4.3.4）（4.3.5）（4.4.4）（4.5.5）（4.5.6）</div> <div>・杭基礎</div> <div>支持層の位置及び土質（基礎ぐいの先端の位置含む）</div> <div>・図示による（ ）</div> <div>・</div> <div>○直接基礎</div> <div>支持地盤の位置及び土質（基礎底部の位置含む）</div> <div>○図示による（ S-02 ）</div> <div>・</div> <div>試験掘り（根切り底の状態の確認等）</div> <div>・行わない</div> <div>・行う</div> <div>位置等</div> <div>・図示による（ ）</div> <div>・</div> <div>・地盤の載荷試験（平板載荷試験）</div> <div>載荷試験の方法</div> <div>・地盤工学会基準 JGS 1521による</div> <div>・</div> <div>試験の位置、載荷荷重</div> <div>・図示による（ ）</div> <div>・</div> <div>報告書の記載事項</div> <div>・図示による（ ）</div> <div>・</div>		・既製コンクリート杭地業	
		No. 25201		DR. NO. A-01							
		DATE R08.05		SCALE							
				設計図							
				建築工事特記仕様書・1							
				株式会社 青 和 設 計							
				1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 舘 山 良 子							

[illegible]

3-4

鉄筋工事

鉄筋

鉄筋の種類等(5.2.1)

種類の記号	呼び径(mm)	備考
SD295	D10、D13	
SD345		

溶接金網

鉄線の形状等(5.2.2)

種類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径(mm)	使用部位
溶接金網		100×100×4	WC・洗面脱衣土間開口部

鉄筋の継手

鉄筋の継手の方法等(5.3.4)(5.5.3)(5.6.3)

部位	継手の方法	呼び径(mm)
柱、梁の主筋	ガス圧接・機械式継手・溶接継手・重ね継手	
耐力壁の鉄筋	重ね継手	
その他の鉄筋()	重ね継手	

継手位置

図示による(構造関係共通事項(配筋詳細図)5.1、6.1、7.1、7.3、8.1)

柱及び梁主筋の重ね継手の長さ

図示による(構造関係共通事項(配筋詳細図)3.1(a)(2)及び表3.1)

耐力壁の重ね継手の長さ

図示による(構造関係共通事項(配筋標準図)3.1(a)(2)及び表3.1)

鉄筋の定着

鉄筋の定着長さ(5.3.4)

図示による(構造関係共通事項(配筋標準図)3.1(b))

40d

機械式定着工法

適用する適用箇所

図示による()

種類

摩擦圧接接合・螺合グラウト固定・嵌合グラウト固定

工法

※第三者機関の評定等を取得している工法とする必要定着長さ

※評定等の評価内容による補強筋形状

※評定等の評価内容によるかぶり厚さ

※評定等の評価内容による品質確認

※評定等の評価内容による検査

※評定等の評価内容による

鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網を含む)

最小かぶり厚さ(5.3.5)

図示による(構造関係共通事項(配筋標準図)4.1表4.1)

60mm

軽量コンクリートを適用する場合

あり適用箇所()

最小かぶり厚さに加える厚さ()mm

耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)

あり適用箇所()

最小かぶり厚さに加える厚さ()mm

各部配筋

各部配筋(5.3.7)

図示による(構造関係共通事項(配筋標準図))

図示による(S-02)

ガス圧接継手

圧接完了後の圧接部の試験(5.4.10)

超音波探傷試験

引張試験

試験方法等

図示による

適用箇所

図示による()

H12建告第1463号に適合する性能

A級

種類

ねじ式鉄筋継手

充填方式

無機グラウト方式・有機グラウト方式

端面ねじ加工継手

モルタル充填式継手

工法

※第三者機関の評定等を取得している工法

鉄筋相互のあき

※評定等の評価内容による品質の確認

※評定等の評価内容による検査

※評定等の評価内容による施工完了後の継手部の試験

外観試験

試験対象

※全数

試験項目及び可否判定

※標準仕様書表5.5.1～表5.5.3による

評定等の評価内容による

不合格となった場合の措置

※標準仕様書5.5.6(1)(7)～(9)による

図示による()

超音波測定試験

試験対象

抜き取りロット

1組の作業班が1日に行った溶接箇所で、最大200箇所程度とする。

試験の箇所数

1ロットに対して()箇所

全数

試験項目

※挿入長さ

不合格となった場合の措置

適用箇所

図示による()

H12建告第1463号に適合する性能

A級

溶接継手の工法

図示による()

鉄筋相互のあき

標準仕様書5.3.5(4)による

評定等の評価内容による

図示による()

施工完了後の溶接部の試験

外観試験

試験対象

※全数

超音波探傷試験

試験対象

抜き取りロット

1組の作業班が1日に行った溶接箇所で、最大200箇所程度とする。

試験の箇所数

1ロットに対して()箇所

全数

3-5

コンクリート工事

コンクリートの種類

コンクリートの類別(6.2.1)

Ⅰ類(JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート)

Ⅱ類(Ⅰ類以外でJIS A 5308に適合したコンクリート)

コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等

(6.2.1)～(6.2.4)(6.3.2)(6.10.1)(6.10.2)

普通コンクリート

設計基準強度(N/mm2)	スランブ(cm)	気乾単位容積質量(t/m3)	適用箇所
24	※標準仕様書表6.2.2による	2.3程度	
15			

構造体強度補正值

※標準仕様書表6.3.2による

軽量コンクリート

設計基準強度(N/mm2)	スランブ(cm)	気乾単位容積質量(t/m3)	種類	適用箇所
21			1種・2種	

構造体強度補正值

※標準仕様書表6.3.2による

セメント

種類(6.3.1)

※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種(普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする)

適用箇所()

高炉セメントB種

適用箇所()

フライアッシュセメントB種

適用箇所()

骨材

アルカリシリカ反応性による区分(6.3.1)

A・B

混和材料

混和剤(6.3.1)

混和剤の種類

※標準仕様書6.3.1(4)(a)による

混和材

混和材の種類

※標準仕様書6.3.1(4)(b)による

寒中コンクリート

適用期間(6.11.1)(6.11.2)

図示による()

構造体強度補正值

標準仕様書6.11.2(3)(7)による

積算温度による

暑中コンクリート

スランブ(6.12.2)

※21m

構造体強度補正值

※標準仕様書表6.12.1による

マスコンクリート

適用箇所(6.13.1)(6.13.2)

図示による()

セメントの種類

普通ポルトランドセメント

中庸熱ポルトランドセメント

低熱ポルトランドセメント

高炉セメントB種

フライアッシュセメントB種

シリカセメント

混和材料

混和剤

混和剤の種類

※標準仕様書6.13.2(2)(7)による

混和材

混和材の種類

※標準仕様書6.13.2(2)(4)による

スランブ

※15cm

構造体強度補正值

※標準仕様書表6.13.1による

無筋コンクリート

コンクリートの種類(6.14.1)

※普通コンクリート

セメントの種類

※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種

高炉セメントB種

フライアッシュセメントB種

設計基準強度

※18N/mm2

スランブ

※15cm又は18cm

適用箇所

※標準仕様書6.14.1(4)(7)～(9)による

流動化コンクリート

適用箇所(6.15.1)

図示による()

空気量

※4.5%

高流動コンクリート

適用箇所(6.16.1)

図示による()

材料及び調合

スランブフロー

図示による

空気量

※4.5%

単位粗骨材かさ容積

※0.500mm3/mm3以上

打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地

打継ぎの位置(6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)

※標準仕様書6.6.4(1)による

図示による()

目地寸法

※標準仕様書9.7.3(1)(7)による

図示による()

ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法

図示による()

No.25201

DATER08.05

芦野団地市営住宅(No.1号棟)建替建設(建築)工事設計図DR. NO. A-03

建築工事特記仕様書・3

SCALE

株式会社青和設計

1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号
1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号
管理建築士 館山良子

青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)

・構造体コンクリートの仕上り

(6.2.5)

種別	適用箇所
・A種	
・B種	
・C種	
コンクリートの仕上りの平たんさ（柱・梁・壁）	
種別	適用箇所
・a種	化粧打ち放しコンクリート、塗装仕上げ、壁紙張り、接着剤による陶磁器質タイル張り
・b種	仕上塗材塗り
・c種	セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り、モルタル塗り、胴縁下地

コンクリートの仕上りの平たんさ（床）	
種別	適用箇所
・a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア（置敷式）
・b種	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り
・c種	タイル張り、モルタル塗り、二重床

・打増し厚さ（打放し仕上げ部）

(6.8.1)


・打放し仕上げの打増し厚さ（外部に面する部分に限る）
・20mm

・打放し仕上げの打増し厚さ（内部に面する部分に限る）
・10mm ・20mm

○型枠

(6.8.2)

せき板の材料及び厚さ

○合板  (※12mm)

・断熱材を兼用した型枠材
使用箇所
・図示による（ ） ・
熱抵抗値を0.73㎡・K/W以上を有するもの

・MCR工法用シート
適用箇所
・図示による（ ） ・
打増し厚さ
・20mm
打増し範囲
・図示による（ ） ・

スリーブの材種、規格等
・図示による（ ）

・床型枠用鋼製デッキプレートの梁側面の打増し処理

床型枠用鋼製デッキプレートを使用する場合は、プレートが支持される梁の側面については、増打ちを行うこと。
コンクリートの打増し厚さ
※10mm
施工範囲
※図示による（ ） ・

・コンクリートの単位水量測定

実施要領 (6.5.1)
※図示による（構造関係共通図（構造関係共通事項））

④

木造工事

○一般事項

・鋼材

・鋼材の表面処理

○材料

材料のホルムアルデヒド放散量
※木造標準仕様書4.2.1(2)による
（適用材料： ）

(4.2.1)

種類等 (4.2.5)

施工箇所	種類の記号	寸法・形状(mm)	規格
			・JISによる ・
			・JISによる ・

(4.2.6)

・鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.2) (表14.2.2)

施工箇所	種別	
	溶融亜鉛めっき	電気亜鉛めっき
	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種	
	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種	

(18.3.2) (表18.3.1) (18.3.3) (表18.3.3)


・鉄鋼面の錆止め塗料塗り


施工箇所	錆止め塗料の種別	錆止め塗料塗りの種別
	・A種 ・B種 ・C種 ・D種	・A種 ・B種
	・A種 ・B種 ・C種 ・D種	・A種 ・B種


(18.3.2) (表18.3.1) (18.3.3) (表18.3.5)

・亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料塗り


施工箇所	錆止め塗料の種別	錆止め塗料塗りの種別
		・A種 ・B種
		・A種 <4種>

○JAS 1083-3 に基づく目視等級区分構造用製材 

施工箇所	樹種名	構造材の種類	等級	寸法(mm)	含水率	保存処理
土台・大引 床合板受 床ガラリ受	ヒバ	・甲種構造材	・1級		○SD15 ・SD20	
		・甲種Ⅰ	○2級			
		・甲種Ⅱ	・3級			
		・乙種構造材				


・JAS 1083-4 に基づく機械等級区分構造用製材 

施工箇所	樹種名	等級 (曲げ性能)	寸法 (mm)	含水率	保存処理
				・SD15 ・SD20	

・JAS 1083-6 に基づく広葉樹製材 

施工箇所	樹種名	等級	寸法 (mm)	含水率	保存処理
		・特等 ・1等 ・2等		・D10 ・D13	

加工前にJAS 1052付属書B[縦振動ヤング係数試験]により、縦振動ヤング係数を測定する部材（対象部材： ）


○無等級材 

施工箇所	樹種名	寸法 (mm)	含水率	保存処理	材面の品質
部材リストによる	スプルス杉	部材リストによる	15%		・JAS 1083-4 機械等級区分 構造用製材による ・

加工前にJAS 1052付属書B[縦振動ヤング係数試験]により、縦振動ヤング係数を測定する部材（対象部材： ）


(注)無等級材、広葉樹製材及び丸太材の縦振動ヤング係数による基準強度の確認は、以下による。
無等級材のうち次の樹種については、JAS 1083-4 に基づく機械等級区分構造用製材に定める品質の曲げ性能における等級の区分に準拠する。それ以外の樹種については、既往の研究等に基づき適切に定め、施工計画書を作成し、提出する。
あかまつ、べいまつ、からまつ、ひば、ひのき、べいつが、えぞまつ、とどまつ、すぎ
(参考)JAS 1083-4 に基づく機械等級区分構造用製材に定める曲げヤング係数の基準（等級と曲げヤング係数）

等級	E50	E70	E90	E110	E130	E150
曲げヤング係数 (Gpa又は103N/mm2)	3.9以上 5.9未満	5.9以上 7.8未満	7.8以上 9.8未満	9.8以上 11.8未満	11.8以上 13.7未満	13.7以上


・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定された製材 

施工箇所	樹種名	区分	寸法 (mm)	等級 (材面の品質)	含水率


枠組壁工法構造用製材

・JAS 0600 に基づく甲種枠組材 

施工箇所	樹種名又は樹種群	寸法 型式名 (mm)	長さ (mm)	未乾燥材 又は乾燥材	保存処理	材面の品質
				・未乾燥材 ・乾燥材		・特級・1級 ・2級 ・3級

・JAS 0600 に基づく乙種枠組材 

施工箇所	樹種名又は樹種群	寸法 型式名 (mm)	長さ (mm)	未乾燥材 又は乾燥材	保存処理	材面の品質
				・未乾燥材 ・乾燥材		・コンストラクション ・スタンダード ・ユーティリティ

・JAS 0600 に基づくMSR枠組材 


施工箇所	樹種名又は樹種群	MSR等級 (曲げ強度性能)	寸法 型式名 (mm)	長さ (mm)	未乾燥材 又は乾燥材
					・未乾燥材 ・乾燥材

No. 25201

DATE R08.05

芦野団地市営住宅(No.1号棟)建替建設(建築)工事 設 計 図 DR. NO. A-04

建築工事特記仕様書・4



株式会社 青 和 設 計
1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号
1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館 山 良 子

構造用単板積層材

・JAS 0701に基づく構造用単板積層材

施工箇所	品名	樹種名	接着性能 (使用環境)	曲げ性能 (曲げヤング係数区分)	水平せん断区分	寸法 (mm)	保存処理
	・A種構造用単板積層材		・A ・B ・C	係数区分 () 等級 ・特級 ・1級 ・2級			
	・B種構造用単板積層材		・A ・B ・C	係数区分 ()			

直交集成板

・JAS 3079に基づく直交集成板

施工箇所	品名	樹種名	強度等級 (曲げ性能)	種別	接着性能 (使用環境)	防蟻
	・異等級構成直交集成板 ・同一等級構成直交集成板			・A種構成 ・B種構成	・A ・B ・C	

・丸太材

施工箇所	樹種名	寸法(mm)	含水率	末口径 (mm)

・加工前にJAS 1052付属書B[縦振動ヤング係数試験]により、縦振動ヤング係数を測定 する部材
(対象部材：)

・木質接着成形軸材料

施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率

・木質複合軸材料

施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率

構造用面材

・JIS A 5905に基づくミディアムデンシティファイバーボード(MDF)

施工箇所	普通、構造用による区分	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)
	※構造用 ・普通					※9 ・

○JAS 0233に基づく構造用合板

施工箇所	寸法 (mm)	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ性能 (強度等級)	保存処理	防虫処理	単板の樹種名
床・屋根下地	○24	○特類 ・1類	・1級 ○2級	C-D以上				

屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を特類とする。

・JAS 0233に基づく化粧びり構造用合板

施工箇所	寸法(mm)	接着の程度	単板の樹種名
		・1類 ・特類	

屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を特類とする。

・JAS 0360に基づく構造用パネル

施工箇所	寸法(mm)	曲げ性能 (等級) (・常態曲げ試験・湿潤曲げ試験)
		・1級 ・2級 ・3級 ・4級

・JIS A 5908に基づくパーティクルボード

施工箇所	種類の区分	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ (mm)

・JIS A 5905に基づくハードファイバーボード

施工箇所	油、樹脂等の特殊処理による区分	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	難燃性による区分	厚さ (mm)

・JIS A 5404に基づく硬質木片セメント板

施工箇所	断面形状	重ねしろの有無	厚さ(mm)
	・平板 ・凹凸板	・有 ・無	

・JIS A 6901に基づくせっこうボード

施工箇所	種別	厚さ(mm)	備考
	・構造用せっこうボード(GB-St-A) ・構造用せっこうボード(GB-St-B) ・せっこうボード(GB-R) ・強化せっこうボード(GB-F) ・せっこうラスボード(GB-L)		

・JIS A 5905に基づくシージングボード

施工箇所	厚さ(mm)	備考

・JIS A 5524に基づくラスシート

施工箇所	ラス目による区分	山高、山ビッチ、質量及び溶接ビッチによる区分	備考
		・LS1 ・LS2 ・LS3 ・LS4	

・JIS A 5430に基づくフレキシブル板

施工箇所	厚さ(mm)	備考

・JIS A 5440に基づく火山性ガラス質複層板(VSボード)

施工箇所	密度による区分	厚さ(mm)	備考
	・0.6以上0.8未満 ・0.8以上		

・木質断熱複合パネル

施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率

・木質接着複合パネル

施工箇所	形状	寸法(mm)	含水率

○接合金物

Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物				<4.2.7>
種類	規格	短期許容耐力(KN)	備考	
○火打金物			使用環境 2	
○筋かいプレート			使用環境 2	
○引き寄せ金物			使用環境 2	
・梁受け金物			使用環境 2	
・				
・				

○接合具等

Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物以外の接合金物		
材料の種類	寸法・形状等(mm)	備考
・		
・		
・		

釘(JIS A 5508)

種類	材質	その他
○鉄丸くぎ	表面処理された鉄製	
○太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄製	
○ステンレス製	ステンレス製	

木ねじ(JIS B 1112、JIS B 1125、JIS B 1135)、その他の木ねじ

種類	材質	その他
○十字穴付き木ねじ	表面処理された鉄製又はステンレス製	JIS B 1112
・ドリリングタッピンねじ	表面処理された鉄製又はステンレス製	JIS B 1125
○すりわり付き木ねじ	表面処理された鉄製又はステンレス製	JIS B 1135

木質構造用ねじ(JIS A 5559)

材料	性能	表面処理	その他
※鉄製 ・ステンレス製	・	・	
※鉄製 ・ステンレス製	・	・	

ボルト及びナット

○Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物
(・Zマーク・)
性能・図示による
・Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物以外材料等 ※木造標準仕様書 表4.2.2による寸法・図示による・

アンカーボルト

○Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物
(・Zマーク・)
性能・図示による
・Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物以外材料
寸法・図示による・

座金

材料

○Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物
(・Zマーク・)
性能・図示による
・Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物以外種別
○引張り応力を受けるボルトの座金 木造標準仕様書表4.2.3(B種)
○せん断応力を受けるボルトの座金 木造標準仕様書表4.2.4(H種)

ラグスクリー

・Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物
(・Zマーク・)
性能・図示による
・Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物以外材料
・木造標準仕様書表4.2.2による・
寸法・図示による・

ドリフトピン

・Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物
(・Zマーク・)
性能・図示による
・Z、C、M、X、D、Sマーク表示金物以外材料
※SS400 (JIS G 3101)
形状等
※丸鋼 (JIS G 3191)
径、寸法等
・図示による・

木栓及び木だば

・樹種名()
・形状・長さ等
・図示による・

接着剤

・床鳴り防止用接着剤 (JIS A 5550) による
接着剤の種類()
・接着剤による接合又は接着剤を併用した接合
接着剤の種類()

ジベル接合


・輪型ジベル
材質()
形状・長さ等
・図示による・
・圧入型ジベル
材質()
形状・長さ等
・図示による・

No. 25201

DATE R08.05

芦野団地市営住宅(No.1号棟)建替建設(建築)工事 設 計 図 DR. NO. A-05

建築工事特記仕様書・5 SCALE



株式会社 青 和 設 計 1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 舘 山 良 子

⑪

防水工事

・FRP系塗膜防水

⑬シーリング

⑭透湿防水シート、防水テープ及び改質アスファルト工事

・ケイ酸質系塗布防水

材料

ルーフドレン
・FRP系塗膜防水用ルーフドレン
・鋳鉄製
オーバーフロー管
※製造所の指定する製品（つば付）

施工

防火板
・設置しない
・設置する
防火板（※ケイ酸カルシウム板 10mm ．）
防水層平場の勾配
※1/100以上 ．
水張り試験
・行う ．行わない

材料

※木造標準仕様書表11.3.1による
・下表による

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
建具周囲	MS-2
外壁目地	MS-2
換気フード・盤等の周囲	MS-2

ただし、外壁用タイル接着剤張りの場合のシーリングは、標準仕様書11章による。

シーリング材の目地寸法

※木造標準仕様書11.3.3(1) (ア)～(カ)による
・図示による
・

外部に面するシーリング材の接着性試験

※簡易接着試験
・引張接着性試験

材料

両面粘着防水テープの幅
※50mm以上 ．

施工

バルコニー手すりの工法
※木造標準仕様書11.4.3(2) (ケ) (a) から (e) までによる
固定方法
・図示による

種別及び工程

※標準仕様書表9.6.1による

施工箇所

・図示による

⑭

屋根及びとい工事

⑬

長尺金属板葺

材料

下葺材料
※改質アスファルトルーフィング下葺材（一般タイプ）
・改質アスファルトルーフィング下葺材（複層基材タイプ）
・改質アスファルトルーフィング下葺材（粘着層付タイプ）
⑯アスファルトルーフィング 940

固定釘の材質

木造標準仕様書表14.3.2による（材質： ．）

心木の防腐・防蟻処理

・行う ．行わない

・平葺（一文字葺）の工法

・はぜの作り方
※図示による

・心木あり瓦棒葺の工法

・銅板以外の板による屋根一般部分の工法
溝板及びキャップの留付け方法
※木造標準仕様書14.3.5(3) (7) (c) による
・
瓦棒の間隔
※図示による ．
・銅板による屋根一般部分の工法
瓦棒の間隔
※図示による ．

・心木なし瓦棒葺の工法

屋根の流れ方向に平行な壁との取合い部
・雨押えを付ける場合
※木造標準仕様書14.3.6(4) (オ) (a) による
・
・雨押えを用いない場合
※木造標準仕様書14.3.6(4) (オ) (b) による
・

工法

吊子、各部の釘の留付け間隔
・図示による ．
1章 適用区分による風圧力の ⑰1 ．1.15 ．1.3) 倍の風圧力に対応した工法

雪止め

⑰設置する（図示による）
・設置しない

⑮

折板葺

材料

断熱材張り
・行う （断熱材の種類： ． 厚さ (mm) : ．
防火性能： ． 時間）
・行わない
タイトフレームを留め付ける下地材

工法

1章 適用区分による風圧力の（・1 ．1.15 ．1.3) 倍の風圧力に対応した工法
耐雪性能に対応した工法
・適用する ．適用しない

瓦葺木

材質
※杉 ．
寸法
※木造標準仕様書14.5.2(2) (7) による
・図示による
防腐・防蟻処理の種類
・

棟補強用心材

材質
※杉 ．
寸法
※木造標準仕様書14.5.2(3) による
・図示による
防腐・防蟻処理の種類
・

瓦緊結用釘又はねじ

種類 材質等 径及び長さ

・瓦緊結用釘 ステンレス製

・瓦緊結用ねじ ステンレス製

棟補強用金物等

種類 材質等 形状、寸法及び留付け方法

・棟補強用金物 ステンレス製又は溶解亜鉛めっき処理を行った鋼製

⑯

粘土瓦葺

材料

瓦

工法

1章 適用区分による風圧力の（・1 ．1.15 ．1.3) 倍の風圧力に対応した工法
雪止め
・設置する（図示による）
・設置しない

⑰

スレート葺

材料

スレート

工法

1章 適用区分による風圧力の（・1 ．1.15 ．1.3) 倍の風圧力に対応した工法
雪止め
・設置する（図示による）
・設置しない

⑱

アスファルトシングル葺

材料

アスファルトシングル

工法

1章 適用区分による風圧力の（・1 ．1.15 ．1.3) 倍の風圧力に対応した工法
軒先、けらば等に曲面を設ける場合
※半径500mm以上 ．
雪止め
・設置する（図示による）
・設置しない

No. 25201

DATE R08.05

芦野団地市営住宅(No.1号棟)建替建設(建築)工事 設計図

建築工事特記仕様書・8

青和設計

1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号
1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号
管理建築士 舘山良子

※下記以降の特記事項は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）による

⑬

タイル工事

・伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

・見本焼き試験施工

○セメントモルタルによるタイル張り

位置(11.1.3)(表11.1.1)

※標準仕様書 表11.1.1による

・図示による

目地寸法

・図示による

見本焼き(11.1.4)

・行う（施工箇所：）

・行わない試験張り

・行う（範囲、仕様等は図示による）

・行わない

タイルの形状、寸法等(11.2.2、6)

施工箇所	種類	形状/形状(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分			うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑り性
				I類	II類	III類					
玄関床		100	・	○	・	・	・	○	・	○	・
			・	・	・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・	・

種類の略称

内外：内外装タイル

ユ：ユニットタイル（内装タイル以外）

備考欄：参照タイルシリーズ

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。

既調合モルタル（品質・性能、試験方法は別表による）

モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

既調合目地材（品質・性能、試験方法は別表による）

下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理

※目荒し工法（高圧水洗処理）

・MCR工法

壁タイル張りの工法

内外装タイル

・密着張り

・改良圧着張り

内装タイル以外のユニットタイル

・マスク張り

・モザイクタイル張り

タイルの形状、寸法等(11.3.2～5)

施工箇所	種類	形状/形状(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分			うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑り性
				I類	II類	III類					
			・	・	・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・	・

種類の略称

外：外装タイル

内：内装タイル

ユ：ユニットタイル（内装タイル以外）

備考欄：参照タイルシリーズ

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

⑭

金属工事

○アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.2.1)(表14.2.1)

種類	色合い等	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）
・AB-1種		
・AB-2種	・標準色	
	・特注色	
・AC-1種		
・AC-2種	・標準色	
	・特注色	
・BA-1種		
・BA-2種	・標準色	
	・特注色	
・BB-1種		
・BB-2種	・標準色	
	・特注色	
・BC-1種		
・BC-2種	・標準色	
	・特注色	
・C種	・標準色	
	・特注色	

陽極酸化皮膜の着色方法

※二次電解着色

・三次電解着色

(14.2.2)(表14.2.2)

表面処理方法	種別	施工箇所（手すり、タラップ以外）
・溶融亜鉛めっき	・A種	
	・B種	
	・C種	
・電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

・軽量鉄骨天井下地

⑮

左官工事

○モルタル塗り

(15.3.2、5)

モルタル

○現場調合材料

○既調合材料

既製目地材

・設ける

施工箇所（）

形状（※図示による）

・設けない

床の目地

・設ける

目地割り

※2m程度（最大目地間隔3m程度）

目地の種類

※押し目地

・設けない

屋外のタイル張り下地及び屋内の吹抜け部分等のタイル張りの下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験

・適用する

・適用しない

防水剤（品質・性能、試験方法は別表による）

ラス系下地

(15.2.4)

ラス系下地

・二層下地通気構法

・単層下地通気構法

換気口部の措置

（※公共木造建築工事標準仕様書11.4.3.(2)(イ）

・直張りラスモルタル下地

・直張りラスシートモルタル下地

ラスの材料

記号（）、種類（）

単位面積当たりの質量（）

ラスシートの材料

ラス目による区分（※M

山高、山ビッチ、質量及び溶接区分による区分（・LS4(建築基準法に基づく耐力壁）

・ステーブルの形状及び寸法（）

直張りラスシートモルタル下地で建築基準法に基づく耐力壁のラスシートの施工

せっこうボード

(15.2.5)

その他のボード下地

せっこうボード（GB-R）及びせっこうラスボード（GB-L）の種類及び厚さ

種類（・GB-R

・GB-L

・）

厚さ（mm）

木質系セメント板の種類及び厚さ

種類（

）

厚さ（mm）

こまい下地

(15.2.6)

建築基準法に基づく耐力壁の指定（・あり

・なし）

木ずり下地

(15.2.7)

木ずり用小幅板の種類（※杉(心去り材）

・）

No.25201

DATER08.05

芦野団地市営住宅(No.1号棟)建替建設(建築)工事

設計図

DR.NO. A-10

建築工事特記仕様書・10

SCALE

株式会社 青和設計

1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号

1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号

青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館山良子

・仕上塗材仕上げ

内装仕上げに用いる塗材のホルムアルデヒド放散量 (15. 6. 2) ※F☆☆☆☆

・

仕上塗材の種類

・薄付け仕上塗材

種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	吸放湿性	防火材料
・外装 厚塗材Si	・砂壁状	・吹付け		・
	・ゆず肌状	・ローラー塗り		
	・さざ波状			
・可とう形 外装塗材Si	・砂壁状	・吹付け		・
	・ゆず肌状	・ローラー塗り		
	・さざ波状			
・外装 薄塗材E	・砂壁状	・吹付け		・
	・ゆず肌状			
	・平たん状	・こて塗り		
	・凹凸状			
	・ゆず肌状	・ローラー塗り		
	・さざ波状			
	・着色骨材 砂壁状	・吹付け		
		・こて塗り		
・可とう形 外装塗材E	・砂壁状	・吹付け		・
	・ゆず肌状			
	・平たん状	・こて塗り		
	・凹凸状			
	・ゆず肌状	・ローラー塗り		
	・さざ波状			
	・防水形外装 薄塗材E	・ゆず肌状	・ローラー塗り	
・さざ波状				
・凹凸状		・吹付け		
・外装 薄塗材S	・砂壁状	・吹付け		・
・内装 薄塗材C	・凹凸状	・吹付け	・適用する	・
	・平たん状	・こて塗り		
	・凹凸状			
・内装 薄塗材L	・ゆず肌状	・ローラー塗り		
	・さざ波状			
・内装 薄塗材Si	・砂壁状 じゅらく	・吹付け	・適用する	・
	・ゆず肌状			
	・平たん状	・こて塗り		
	・凹凸状	・ローラー塗り		
・内装 薄塗材E	・ゆず肌状	・ローラー塗り		
	・さざ波状			
	・内装 薄塗材W	・京壁状 じゅらく	・吹付け	・適用する
・ゆず肌状				
・平たん状		・こて塗り		
	・凹凸状			

・厚付け仕上塗材

種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	吸放湿性	上塗り	防火材料
・外装 厚塗材C	・吹放し	・吹付け		・適用する	・
	・凸部処理				
	・平たん状	・こて塗り			
	・凹凸状				
	・ひき起こし				
	・かき落とし				
・外装 厚塗材Si	・吹放し	・吹付け		・適用する	・
	・凸部処理				
	・平たん状	・こて塗り			
・外装 厚塗材E	・凹凸状	・ローラー塗り			
	・ひき起こし				
	・かき落とし				
・内装 厚塗材C	・吹放し	・吹付け	・適用する	・適用する	・
	・凸部処理				
	・平たん状	・こて塗り			
	・凹凸状				
・内装 厚塗材L	・ひき起こし				
	・かき落とし				
	・平たん状	・こて塗り	・適用する	・適用する	・
	・凹凸状				
・内装 厚塗材G	・ひき起こし				
	・かき落とし				
	・平たん状	・こて塗り	・適用する	・適用する	・
・内装 厚塗材Si	・凹凸状				
	・ひき起こし				
	・かき落とし				
・内装 厚塗材E	・吹放し	・吹付け	・適用する	・適用する	・
	・凸部処理				
	・平たん状	・こて塗り			
	・凹凸状	・ローラー塗り			
	・ひき起こし				

・複層仕上塗材

種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・複層塗材CE	・凸部処理	・吹付け	・樹脂	・耐候形1種	・
	・凹凸状		・外観	・耐候形2種	
			・溶媒	・耐候形3種	
	・ゆず肌状	・ローラー塗り			
	・凹凸状				
・可とう形 複層塗材CE	・凸部処理	・吹付け	・樹脂	・耐候形1種	・
	・凹凸状		・外観	・耐候形2種	
	・ゆず肌状	・ローラー塗り	・溶媒	・耐候形3種	
・防水形 複層塗材CE	・凸部処理	・吹付け	・樹脂	・耐候形1種	・
	・凹凸状		・外観	・耐候形2種	
	・ゆず肌状	・ローラー塗り	・溶媒	・耐候形3種	

・軽量骨材仕上塗材

種類 (呼び名)	防火材料
・吹付用軽量塗材	・
・こて塗用軽量塗材	・

標準仕様書15. 7. 2による (15. 7. 2)

しっくい (15. 10. 2～4)

・既調合材料
色しっくい ・適用する ・適用しない

・現場調合材料

・ロックウール吹付け

下地
・せっこうボード
・せっこうラスボード
・モルタル塗り
・木ずり
・こまい
・下塗りをせっこうプラスターとし上塗りに使用する場合
・
既調合しっくいの調合
・せっこうボード下地
※標準仕様書 表15. 10. 1
・モルタル塗り下地
※標準仕様書 表15. 10. 2
・せっこうラスボード下地
※製造所の仕様による
現場調合しっくいの調合及び各層の塗厚
・木ずり下地
※標準仕様書 表15. 10. 3
・せっこうプラスター下地、こまい下地
※標準仕様書 表15. 10. 4
既調合しっくいの上塗り仕上げ工法
・押え仕上げ ・なで切り仕上 ・パターン仕上げ

のり (15. 11. 2～5、7、8)

・土壁用ののり
※つのまた ・ふのり ・ぎんなんそう
・粉末海藻
・砂壁用ののり
※ふのり ・つのまた ・こんにゃくのり
・にかわ ・合成高分子系混和剤
色土
・土物仕上げに用いる色土の種類 ()
・大津仕上げに用いる色土の種類 ()
色砂の種類
・天然砂と岩石の砕砂
・人工的に着色・製造したもの
下塗りの調合
※標準仕様書 表15. 11. 2
塗厚
※標準仕様書 表15. 11. 8による
・建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合 ()
こまい壁の工程
※A種 ・B種
こまい壁塗りの上塗りとする土物仕上げの工法の種類
・土物仕上げ工法
・水ごね土物1工法
・水ごね土物2工法
・のりさし土物工法
・のりごね土物工法
・砂壁仕上げ工法
・切返し仕上げ工法
こまい壁塗りの上塗りとする大津仕上げの工法の種類
・普通大津仕上げ工法
・大津みがき仕上げ工法
ちりじゃくり
・図示による ・

ロックウールのホルムアルデヒド放散量 (15. 12. 2、3)
※F☆☆☆☆
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
仕上げ吹付け厚さ
・図示による ・25mm ・

No. 25201

DATE R08. 05

芦野団地市営住宅(No. 1号棟)建替建設(建築)工事 設 計 図 DR. NO. A-11

建築工事特記仕様書・11

SCALE

株式会社 青 和 設 計

1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号
1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL.:0173 (35) 8331 (代) 管理建築士 館 山 良 子

16

建具工事

・防火戸

・見本の製作等

・防犯建物部品

○アルミニウム製建具

○網戸等

・建具表による
・
(16.1.3)

建具見本の製作
・行う(建具符号:) ・行わない
建具見本製作の目的等
・
特殊な建具の仮
・行う(建具符号:) ・行わない
(16.1.4)

・適用する(・建具表による・) (16.1.6)
・適用しない

性能値等
(16.2.2、4、5)(表14.2.1)(表16.2.1、2)
耐風圧性の等級(○S-3)
(建具符号○建具表による・)
気密性の等級(○A-4)
(建具符号○建具表による・)
水密性の等級(○W-2)
(建具符号○建具表による・)
外部に面する建具の種別
・A種(建具符号・建具表による・)
・B種(建具符号・建具表による・)
・C種(建具符号・建具表による・)
○D種(建具符号○建具表による・)
・E種(建具符号・建具表による・)
枠の見込み寸法(・建具表による・)
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級(・)
(建具符号:・建具表による・)
断熱ドア・断熱サッシ☒
断熱性の等級(K-2)
(建具符号○建具表による・)

材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL・

形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建具
種別(標準仕様書 表14.2.1)
・BB-1種
・BB-2種(着色:・標準色・特注色)
屋内の建具
種別(標準仕様書 表14.2.1)
・BC-1種
・BC-2種(着色:・標準色・特注色)
結露水の処理方法
・水貯め式・排水式

工法
水切り板、ぜん板
※図示による・
木下地の場合の内付け建具
・適用しない・適用する

種類	材質	線径	網目
○防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上	※16～18メッシュ
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

○樹脂製建具

性能値等
(16.2.5)(16.3.2～5)(表16.3.1～3)
耐風圧性の等級(S-3)
気密性の等級(A-4)
水密性の等級(W-4)
外部に面する建具の種別
・A種(建具符号・建具表による・)
・B種(建具符号・建具表による・)
・C種(建具符号・建具表による・)
・D種(建具符号・建具表による・)
・E種(建具符号・建具表による・)
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級(○T-1・T-2)
(建具符号○建具表による・)
断熱ドア・断熱サッシ☒
断熱性の等級(・H-4○H-5・H-6・H-7・H-8)
(建具符号○建具表による・)
外部に面する建具の日射熱取得性の等級
枠の見込み寸法○建具表による・

材料
ガラス
※複層ガラス(組合せは建具表による)
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL・
形状及び仕上げ
表面色○標準色・特注色

工法
水切り板、ぜん板
※図示による・
木下地の場合の内付け建具
・適用しない・適用する

・鋼製建具

性能値等
(16.2.2)(16.4.2～4)(16.4.6)(表16.4.2)
簡易気密型ドアセット
・適用する
(建具符号・建具表による・)
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級(・)
(建具符号・建具表による・)
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級(・)
(建具符号・建具表による・)
断熱ドア・断熱サッシ☒
断熱性の等級(・)
(建具符号・建具表による・)
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL・

形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ(mm)
※標準仕様書 表16.4.2による
・
使用箇所(・)

標準型鋼製建具の形式及び寸法
※建具表による・

・鋼製軽量建具

性能値等
(16.2.2)(16.5.2～4)(16.5.6)(表16.5.1)
簡易気密型ドアセット
・適用する
(建具符号・建具表による・)
・適用しない
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級(・)
(建具符号・建具表による・)
防音性能を求める戸(建具表による)
防音充填材(グラスウール又はロックウール)
断熱ドア・断熱サッシ☒
断熱性の等級(・)
(建具符号・建具表による・)
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料
鋼板
・亜鉛めっき鋼板
・ビニル被覆鋼板
・カラー鋼板
・ステンレス鋼板
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
・
召合わせ、縦小口包み板の性質
※鋼板・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL・

形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ(mm)
※標準仕様書 表16.5.1による
・
使用箇所(・)

標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法
※建具表による・

材料
(16.2.2)(16.4.2)(16.6.2～5)
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL・

形状及び仕上げ
表面仕上げ
※HL・鏡面仕上げ・

・ステンレス製建具

○木製建具

工法
ステンレス鋼板の曲げ加工
※普通曲げ
・角出し曲げ
(b角(切込み後の残り板厚0.75mm、裏板補強有り))
・角出し曲げ
(c角(切込み後の残り板厚1.0mm))

建具材の加工、組立時の含水率
(16.7.2～4)
※A種・
建物内部の木製建具に使用する表面材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆・

・フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放散量等
※標準仕様書16.7.2(2)(イ)(a)による・

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆・

表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・普通合板☒	表面の樹種 板面の品質(※広葉樹1等・) 接着の程度(・1類・2類)	
・天然木化粧合板☒	樹種名(・) 接着の程度(・1類・2類)	
・特殊加工化粧合板☒	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 接着の程度(・1類・2類)	
・MDF☒	・普通MDF ・素地MDF 記号(・) ・化粧MDF 記号(・) ・曲げ強さによる区分(・) ・耐水性による区分(・)	

表面板の厚さ
※標準仕様書 表16.7.6による・
引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用
・適用しない・適用する

・かまち戸
かまち樹種(・) 鏡板樹種(・)
見込み寸法 ※36mm・建具表による・

・ふすま
張りの種別(・I型・II型)
上張り(押入等の裏側以外)
・鳥の子
・新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上げ
・塗り縁
・生地縁(素地)
・生地縁(ウレタンクリアー塗装)
見込み寸法 ※19.5mm・建具表による・

・戸ぶすま
表面板の仕上・建具表による
見込み寸法 ※30mm・建具表による・

・紙張り障子
見込み寸法 ※30mm・建具表による・

枠、くつずりの材料
・建具表による・

No. 25201

DATE R08.05

芦野団地市営住宅(No.1号棟)建替建設(建築)工事 設 計 図 DR. NO. A-12

建築工事特記仕様書・12

青和設計

1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号
1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号
管理建築士 館山良子

16

建具工事

○建具用金物

(16. 8. 2、3) (表16. 8. 1～5)

金物の種類及び見え掛り部の材質等
※標準仕様書 表16. 8. 1により適用は建具表による

金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書 表16. 8. 2による
・建具表による

樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書 表16. 8. 3による
・建具表による

木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書 表16. 8. 4による
・建具表による

木製建具に使用する戸車及びレール
※標準仕様書 表16. 8. 5による
・建具表による

握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置
・建具表による

シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠
(品質・性能、試験方法は別表による)

クローザ類 (品質・性能、試験方法は別表による)

マスターキー (16. 8. 4)
・製作する ○製作しない

鍵の製作本数
※各室3本1組 (室名札付き) ○玄関戸5本 (外部物置戸3本)

鍵箱
※あり ○なし

戸の開閉方式 (16. 9. 2、3)
・建具表による

引き戸用駆動装置
性能値
※標準仕様書 表16. 9. 1
(防錆 ・適用する ・適用しない)
・以下による
種類・開閉方式 ()
耐電圧 ()
温度上昇 ()
耐久性 (サイクル) ()
防錆 ()
電源 ()
車椅子使用者用便房出入り口引き戸用駆動装置
性能値
※標準仕様書 表16. 9. 2
(防錆 ・適用する ・適用しない)
・以下による
耐電圧 ()
温度上昇 ()
耐久性 (サイクル) ()
防錆 ()
電源 ()
引き戸用検出装置
性能値
※標準仕様書 表16. 9. 3
(防錆 ・適用する ・適用しない)
・以下による
耐電圧 ()
防錆 ()
防滴 ()
電源 ()

引き戸用検出装置の種類 (標準仕様書 表16. 9. 4)
・建具表による
・タッチスイッチの種類
・無線式タッチスイッチ
・光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便房用操作スイッチの種類
・大形押しボタンスイッチ
・非接触スイッチ

凍結防止措置
・行う ・行わない

性能値等 (16. 10. 3) (表16. 10. 1)
※標準仕様書 表16. 10. 1
・以下による
手動開き力 ()
手動閉じ力 ()
閉じ速度の調整 ()
制動区間 ()
開閉繰返し ()
耐衝撃性 ()

シャッターの種類 (16. 11. 2、3)
・管理用シャッター
・外壁用防火シャッター
・屋内用防火シャッター
・防煙シャッター

外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度
() pa

開閉方式の種類
※電動式 (手動併用) ・手動式

安全装置
電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置
(設置箇所 ・建具表による)
電動式シャッターの障害物感知装置
(設置箇所 ・建具表による)

屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの
危害防止装置
(設置箇所 ・建具表による)

管理用シャッターのシャッターケース
・設ける ・設けない

スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類
・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量
※Z12又はF12
・ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板の
カバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
・

開閉方式の種類 (16. 12. 2～4)
※手動式
・電動式 (手動併用)

耐風圧強度 () pa

安全装置
・急降下停止装置
(設置箇所 ・建具表による)
※障害物感知装置
(設置箇所 ・建具表による)

・オーバーヘッド
ドア

○ガラス

スラットの材質の種類
・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量 (※Z06又はF06)
・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム
一亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)
めっきの付着量 (※AZ90)

スラットの形状
・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形

(16. 13. 2、3)

セクション材料による区分	風圧力による強さの区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・ 50 ・ 75 ・ 100 ・ 125	※パランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置
(設置箇所 ・建具表による)

(9. 7) (16. 14. 2～4) (図16. 14. 1)

・フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類
・建具表による

○型板ガラスの厚さによる種類
○建具表による

・網入板ガラス及び線入板ガラスの網又は線の形状、
板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
・建具表による

・合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせ
ガラスの合計厚さ及び特性による種類
・建具表による
落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性に
よる種類
・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類

・強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類、厚さの呼びに
よる種類及び特性による種類
・建具表による
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類 ・Ⅲ類

・熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類
・建具表による
性能による種類
・1種 ・2種

○複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに
複層ガラスの厚さ
○建具表による
断熱性による区分
○T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6
日射取得性及び日射遮蔽性による区分
・G ・S
封入気体の種類
・空気 ・アルゴン

・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による
日射熱遮蔽性による区分
・1種 ・2種 ・3種
耐久性による区分 (日射熱遮蔽性による区分が2種の場合)
・A類 ・B類

・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの呼びによる種類
・建具表による

ガラスの留め材及び溝の大きさ (16. 14. 2) (9. 7)

建具の種類	ガラス留めの種類	ガラス溝の大きさ (mm)
アルミニウム製	・シーリング材 ・グレイジングガasket	※建具製造所の仕様による ・図示による
鋼製及び 鋼製軽量	・シーリング材 ・	※建具製造所の仕様による ・図示による
ステンレス製	・シーリング材 ・	※建具製造所の仕様による ・図示による
樹脂製	・グレイジングガasket ・	※建具製造所の仕様による ・図示による

耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。

(16. 14. 5)

呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能
・160×160	・95 ・				
・200×200	・95 ・				

壁用金属枠及び補強材
※図示による

力骨
材質
※ステンレス鋼 (SUS304) ・
寸法
※径5.6mm
形状
※はしご形状複筋及び単筋

化粧目地モルタルの色 (・白 ・グレー)

シーリングの種類 (・SR-1 ・PS-1)

金属製化粧カバー
材質
・ステンレス製 ・アルミニウム製
寸法
※図示による
形状
※図示による

木下地の場合のアンカー等の取付け間隔
・図示による

目地部の横力骨の納まり
※ガラスブロック製造所の仕様による
・図示による


工法
1章 適用区分による風圧力の
(・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

No. 25201

DATE R08.05

芦野団地市営住宅 (No. 1号棟) 建替建設 (建築) 工事 設 計 図 DR. NO. A-13

建築工事特記仕様書・13



株式会社 青 和 設 計 1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号
1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173 (35) 8331 (代) 管理建築士 館 山 良 子

18

塗装工事

・材料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (18.1.3)
※F☆☆☆☆
防火材料
※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・以下の箇所を除き防火材料とする。
(箇所：)

・素地ごしらえ

(18.2.2～7)
下地面等種別
木部不透明塗料塗りの場合※A種・B種
透明塗料塗りの場合※B種・A種
鉄鋼面 (DP以外)※C種・A種・B種
鉄鋼面 (DPのみ)※B種・A種・C種
亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具等以外)・A種・B種
亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)※B種
モルタル面及びせっこうプラスター面※B種・A種
コンクリート面 (DP以外) 及び※B種・A種
ALCパネル面
押出成形セメント板面※B種・A種
コンクリート面 (DPのみ)※A種・B種
せっこうボード面及びその他ボード面※B種・A種

・錆止め塗料塗り

(18.3.2、3)
下地面塗料の種別錆止め塗料の種別錆止め塗料塗りの工程
鉄鋼面SOPAs種見え掛り：A種
見え隠れ：B種
DPCs種及びDs種表18.3.4
EP-G※Bs種
・As種見え掛り：A種
見え隠れ：B種
亜鉛めっき鋼面SOP※Az種
・Bz種鋼製建具等：A種
上記以外：B種
DPCz種鋼製建具等：A種
上記以外：B種

・塗装

(18.4.1～18.12.2)
塗装種別塗料の種類高日射反射率塗料
・合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)木部屋外※A種・B種
木部屋内※B種・A種
鉄鋼面※B種・A種
亜鉛めっき鋼面
・クリヤラッカー塗り (CL)※B種・A種
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)※B種・A種
・耐候性塗料塗り (DP)鉄鋼面上塗り塗料の等級 () 級
亜鉛めっき鋼面上塗り塗料の等級 () 級
コンクリート面・A種
押出成形セメント板面・B種・C種
・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)コンクリート面※B種
押出成形セメント板面・A種
モルタル面
プラスター面
せっこうボード面
その他ボード面等
屋内の鉄鋼面※B種・A種
・合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)※B種・A種
・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)※B種・A種
・ピグメントステイン塗り
・木材保護塗料塗り (WP)※B種・A種

19

内装工事

○接着剤

(19.2.2)
ビニル床シート、ビニル床タイル、ゴム床タイル用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別
・図示による

・下地の工法

標準仕様書19.2.3(1)(7)～(9)以外の下地の工法 (19.2.3)
・図示による

○ビニル床シート

(19.2.2、3)
種類の記号色柄厚さ (mm)備考
※FS (複層ビニル床シート)・無地※2.0
○CS・マーブル柄○柄物○1.8
接合部の処理
熱溶接工法

・ビニル床タイル

(19.2.2)
種類の記号色柄寸法 (mm)厚さ (mm)備考
※KT (コンポジションビニル床タイル)・無地・300×300※2.0
・柄物・450×450・2.5
・3.0
・TT (単層ビニル床タイル)・無地・300×300・2.0
・柄物・450×450・
・FT (複層ビニル床タイル)・無地・300×300・2.0
・柄物・450×450・2.5
・3.0
・FOA (置敷きビニル床タイル)・無地・500×500・4.0
・
・FOB (薄型置敷きビニル床タイル)・無地・
・柄物・
・

・特殊機能床材

・帯電防止床シート (19.2.2)
種類 ()
性能 ()
厚さ (mm) ()
・帯電防止床タイル
種類 ()
性能 ()
寸法 (mm) (×)
厚さ (mm) ()
・視覚障害者用床タイル
視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。
種類 ()
形状 ()
・耐動荷重性床シート
種類 ()
厚さ (mm) ()
・防滑性床シート
種類 ()
厚さ (mm) ()
・防滑性床タイル
種類 ()
寸法 (mm) (×)
厚さ (mm) ()

・ビニル幅木

(19.2.2)
材質の種類・軟質・硬質
高さ (mm)
※60・75・100
厚さ (mm)
※1.5以上

・ゴム床タイル

(19.2.2)
種類・単層品・積層品
色柄 ()
厚さ (mm) ()
寸法 (mm) (×)

・カーペット敷き

・織じゅうたん (19.3.2、3) (表19.3.1) (表19.3.2)
織り方パイル形状備考 (参考価格)
・ウィルトンカーペット・カットパイル
・フェイストウフェイスカーペット・ルーフパイル
・アキスミスターカーペット・カット/ルーフパイル
色柄
※模様のない無地
パイル糸の種類等
※無地の織りじゅうたんの種別 (・A種・B種・C種)
帯電性
・適用する・適用しない
織じゅうたんの接合方法
※ヒートボンド工法・つづり縫い
下敷き材
※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm
・
・タフテッドカーペット
パイル形状パイル長さ (mm)工法帯電性備考 (参考価格)
・カットパイル・5～7・全面接着工法・適用する・
・ルーフパイル・4～6・グリッパー工法・適用しない
・カット、ルーフ併用・
下敷き材 (グリッパー工法の場合)
※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm
・
タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
・タイルカーペット
パイルの形状種類施工箇所寸法 (mm)総厚さ (mm)備考 (参考価格)
※ルーフパイル※第一種・500×500※6.5・
・第二種・
・カットパイル・第一種・500×500※6.5・
・第二種・
・カット、ルーフ併用・第一種・500×500※6.5・
・第二種・
タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
タイルカーペットの敷き方
平場
※市松敷き・模様流し
階段部分
※模様流し・市松敷き
見切り、押え金物
材質 ()
種類 ()
形状等 ※図示による
(19.4.2、3) (表19.4.4、5)
種別施工箇所工法仕上りの種類
・厚膜型塗床材
弾性ウレタン樹脂系塗床
※平滑仕上げ
・防滑仕上げ
・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材
エポキシ樹脂系塗床
・薄膜流しのペ工法
・厚膜流しのペ工法
・樹脂モルタル工法
・薄膜型塗床材
※平滑仕上げ
塗床材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

No. 25201

DATE R08.05

芦野団地市営住宅 (No.1号棟) 建替建設 (建築) 工事 設 計 図 DR. NO. A-14

建築工事特記仕様書・14

株式会社 青 和 設 計
1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号
1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331 (代) 管理建築士 館 山 良 子

19内装工事

フローリング張り

(19.5.2～5)(表19.5.1～6)

フローリングのホルムアルデヒド放散量等
※標準仕様書19.5.2(2)の(ア)～(オ)のいずれか

各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

・単層フローリング(フローリングボード1等)
工法
・釘留め工法(・根太張り・直張り)
・接着工法
樹種
※なら
間伐材等の適用
・適用する・適用しない

・単層フローリング(フローリングブロック1等)
樹種
・
厚さ(mm)
・
大きさ
・
間伐材等の適用
・適用する・適用しない

複合フローリング
工法
・釘留め工法(・根太張り・直張り)
・接着工法
樹種
※なら
種別
・A種・B種・C種
間伐材等の適用
・適用する・適用しない

接着工法の場合の不陸緩和材
※合成樹脂発泡シート

・畳敷き

種別(19.6.2)(表19.6.1)
・A種(畳表:・JS・J1)
・B種
・C種(畳床:・PS-C20・PS-C25・PS-C30)
・D種(畳床:・KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N)
下地の種類
・標準仕様書表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロム)

畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ない材料を使用したものとする。

衝撃緩和型畳(畳表:・C1・C2)

せっこうボード、その他のボード及び合板張り(19.7.2、3)(表19.7.1)

MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

合板のホルムアルデヒド放散量
※標準仕様書19.7.2(3)(イ)の(a)～(d)のいずれか

合板の防虫処理の適用
・行う・行わない

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆

種類等

厚さ(mm)、規格等

木質系セメント板
・木毛セメント板
・硬質(HW)
・中質(MW)
・普通(NW)
・木片セメント板
・硬質(HF)
・普通(NF)
繊維強化セメント板
・けい酸カルシウム板(タイプ2)
普通ボード0.8FK
火山性ガラス質複層板(VSボード)
・火山性ガラス質複層板
種類※図示による
繊維板
・ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)
・ハードボード
・スタンダードボード(無処理)
・素地ハードボード
・未研磨板(RN)
・研磨板(RS)
・内装用化粧ハードボード(D1)
・テンハードボード(処理)
・素地ハードボード
・未研磨板(RN)
・研磨板(RS)
・外装用化粧ハードボード(DE)
・インシュレーションボード
・A級インシュレーションボード(A-1B)
・天井仕上材
・内装仕上材
パーティクルボード
・単板張りパーティクルボード
・無研磨板(VN)
・研磨板(VS)
・化粧パーティクルボード
・単板オーバーレイ(DV)
・プラスチックオーバーレイ(DO)
・塗装(DG)
吸音材料
・ロックウール化粧吸音板(DR)
・フラットタイプ
・凹凸タイプ
・ロックウール吸音ボード(1号)
・グラスウール吸音ボード(32K)
せっこうボード
・せっこうボード(GB-R)
・シーゾングせっこうボード(GB-S)
・強化せっこうボード(GB-F)
・化粧せっこうボード(GB-D)
・トラバーチン模様
・せっこうラスボード(GB-L)
・不燃積層せっこうボード(GB-NC)
・化粧なし(下地張り用)

合板類

・普通合板
品名:
単板の樹種名:
板面品質:
・天然木化粧合板
化粧板の単板の樹種名:
・不燃天然木化粧合板
化粧板の単板の樹種名:
・特殊加工化粧合板
品目:
接着の程度:
単板の樹種名:
化粧加工の方法
・オーバーレイ
・プリント
・塗装
天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを
行う場合
※図示による
合板類の張付け
・A種・B種
せっこうボードの目地工法等
目地工法の種類
※仕上表による
突付け工法及び目透し工法のエッジの種類
※仕上表による
ホルムアルデヒド放散量(19.8.2、3)(表19.8.1～3)
※F☆☆☆☆
壁紙張り
壁紙の種類
防火性能
備考
モルタル及びせっこうプラスター面の素地ごしらの種別
※B種・A種
コンクリート面の素地ごしらの種別
※B種・A種
せっこうボード面及びけい酸カルシウム板面の素地ごしらの種別
※B種・A種

断熱材

フェノールフォーム断熱材、保温材又は接着剤(19.9.2～4)のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
断熱材打込み工法
種類
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材(・)
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スチン層なし)(・2種bA・3種bA・3種bC・3種bD)
・硬質ウレタンフォーム断熱材(・)
・フェノールフォーム断熱材(・)
断熱材現場発泡工法
断熱材の種類
・A種1・A種1H
吹付け厚さ(mm)
施工箇所
・図示による
(品質・性能・試験方法は別表による)

No.25201

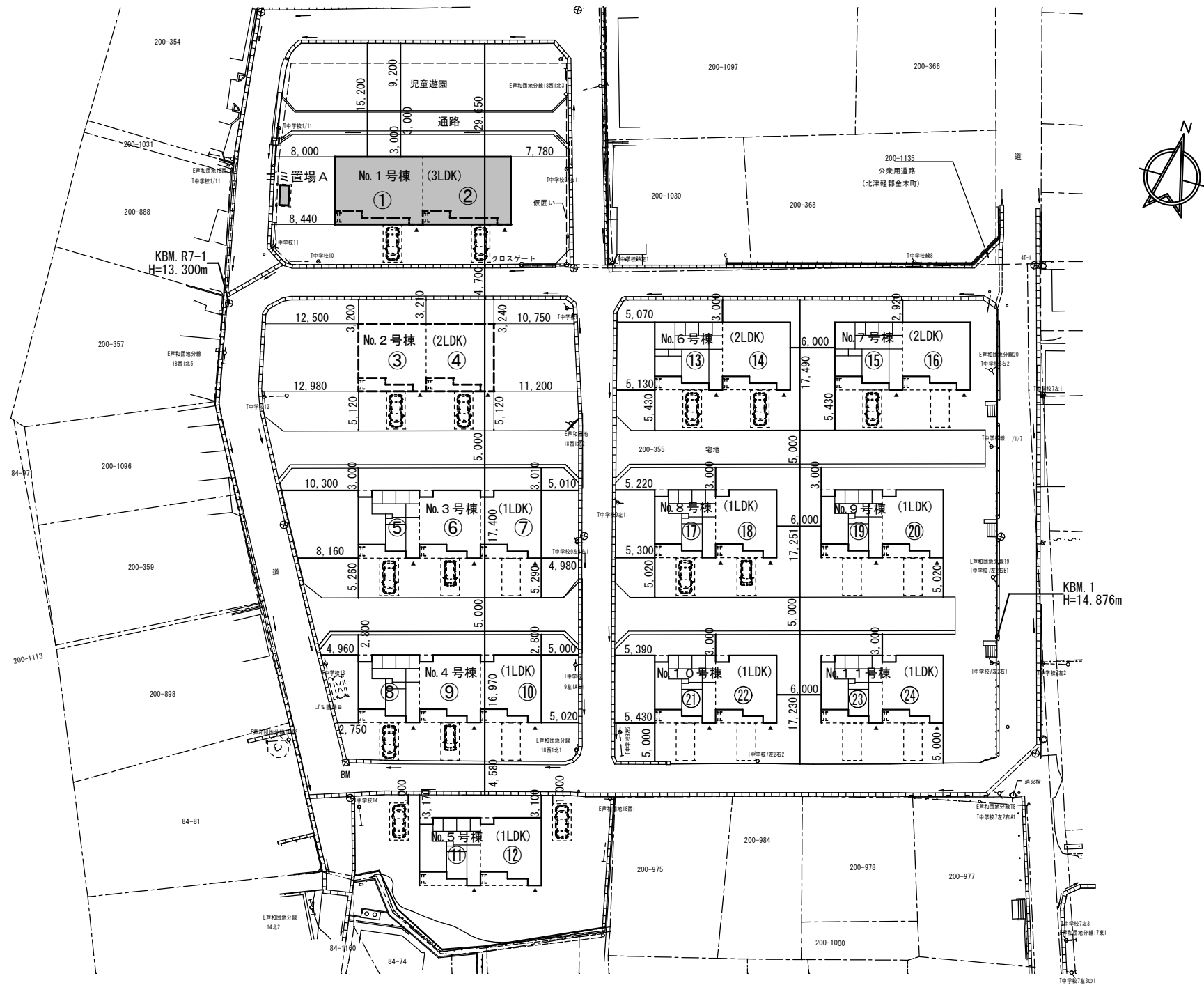
DATER08.05

芦野団地市営住宅(No.1号棟)建替建設(建築)工事設計図DR.NO. A-15

建築工事特記仕様書・15

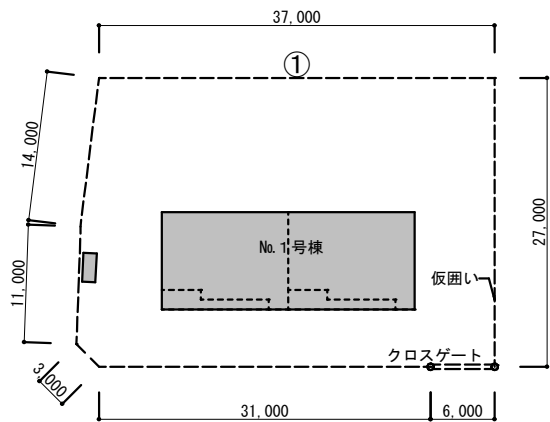
株式会社青和設計

1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号
1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号
管理建築士 館山良子



建設地：五所川原市金木町芦野200-355の一部

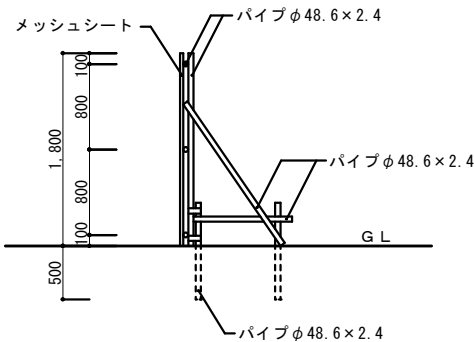
全体配置図 1/500



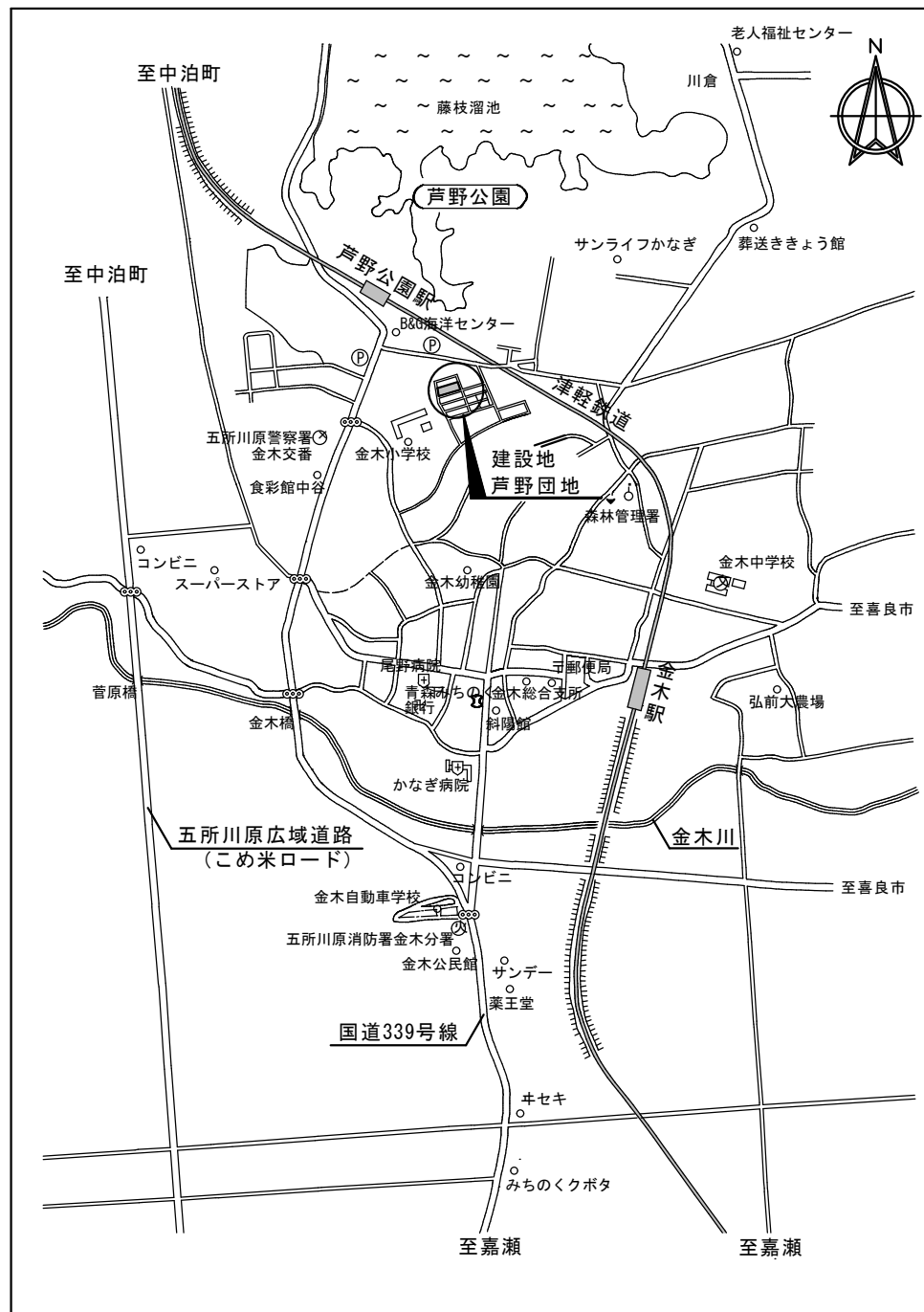
仮囲い長さ

① - 37.000+14.000+11.000+3.000+31.000+27.000= 123.000m

指定仮設	
クロスゲート	W6.0m×H1.80m 1ヶ所
仮囲い	メッシュシート H=1.80m 全長 L= 123.000m

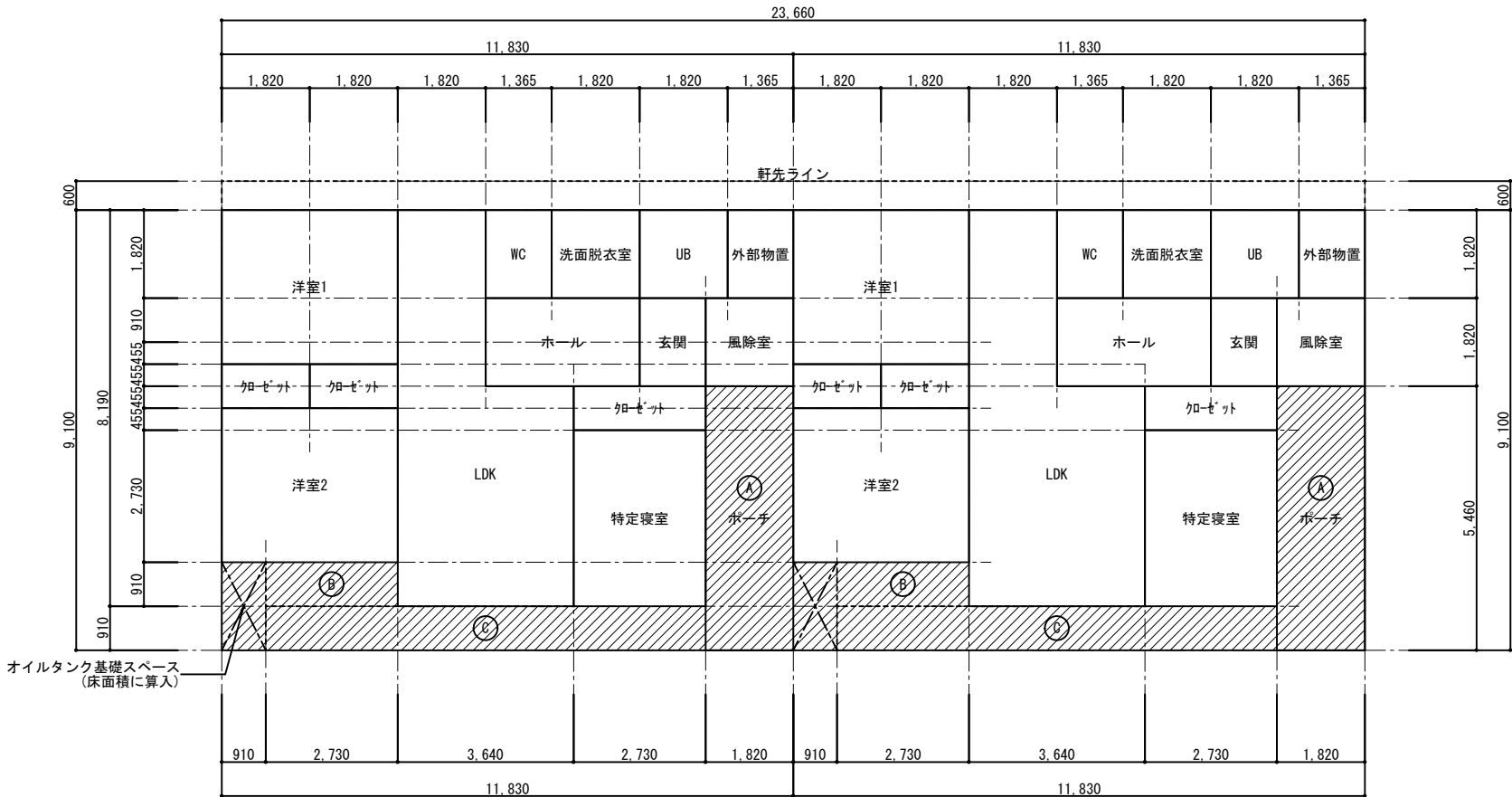


仮囲い参考図 1/50



付近案内図

No. 25201	芦野団地市営住宅(No.1号棟)建替建設(建築)工事		設計図 DR. NO. A-16
DATE R08.05	全体配置図・付近案内図・仮囲い参考図		SCALE (A2) 1/500、1/50 (A3) 1/707、1/70.7
	株式会社 青和設計		1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館山良子



3LDK (2戸) 建物面積求積図 1/100

— 建築面積算入部分
※屋内的用途として使用しない

3LDK 床面積求積表			
室名	計算式	建築基準法	
住宅部分床面積求積表		床面積 m ²	
玄関	1.365 × 1.820	2.48430	
ホール	3.185 × 1.820	5.79670	
LDK	4.550 × 3.640 + 3.640 × 1.820	23.18680	
特定寝室	3.640 × 2.730	9.93720	
クローゼット	2.730 × 0.910	2.48430	
洋室1	3.185 × 3.640	11.59340	
クローゼット	1.820 × 0.910	1.65620	
洋室2	3.185 × 3.640	11.59340	
クローゼット	1.820 × 0.910	1.65620	
WC	1.365 × 1.820	2.48430	
洗面脱衣室	1.820 × 1.820	3.31240	
UB	1.820 × 1.820	3.31240	
上記床面積 小計		79.49760	
風除室	1.820 × 1.820	3.31240	
外部物置	1.365 × 1.820	2.48430	
上記床面積 小計		5.79670	
住戸床面積 計		85.29430	

3LDK × 2 戸	85.29430 × 2	170.58860	170.58
------------	--------------	-----------	--------

3LDK (2戸) 建築面積求積表			
名称	計算式	面積 m ²	
床面積(1棟)		170.58860	
建築面積(1棟)			
Ⓐ	1.820 × 5.460 × 2	19.87440	
Ⓑ	3.640 × 0.910 × 2	6.62480	
Ⓒ	10.010 × 0.910 × 2	18.21820	
計		44.71740	
合計	170.58860 + 44.71740	215.30600	
建築面積			215.30

オイルタンクスペース 床面積算定			
名称	計算式	面積 m ²	
オイルタンクスペース	0.910 × 1.820	1.65620	
2箇所	1.65620 × 2	3.31240	

棟床面積 合計	170.58860 + 3.31240	173.90100	173.90
---------	---------------------	-----------	--------

1. 構造の安全に関すること

1-1 耐震等級（倒壊等防止） **等級 1**

項 目		内 容
構造躯体	壁量計算等	令第3章第1節から第3節まで（令第39条及び第48条を除く）の規定に適合
	地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法	杭状改良地盤（許容支持力：45kN/本）地盤調査方法：スクリュー圧入試験 地盤改良：柱状改良地盤補強（H-CP工法 H型PCパイプ）
	基礎の構造方法及び形式等	基礎の構造：鉄筋コンクリート造 基礎の形式：布基礎

3. 劣化の軽減に関すること

3-1 劣化対策等級（構造躯体等） **等級 2**

項 目		内 容
外壁の軸組等の防腐防蟻	外壁の構造	外壁通気構造（通気層巾18mm）
	柱の樹種、小径	スプルース集成材：105mm GL+1,000mm迄、薬剤処理JIS K 1571（木材保存協会認定防腐剤を現場塗布）
	柱以外の軸材	スプルース集成材：薬剤処理JIS K 1571（木材保存協会認定防腐剤を現場塗布）
木材		木材の品質は、節、腐れ、繊維の傾斜、丸身等による耐力上の欠点がないものとする
土台の防腐防蟻		外壁下端の水切りを設置
		ヒバ(耐久性区分D1)：薬剤処理JIS K 1571（木材保存協会認定防腐剤を現場塗布）
浴室・脱衣室の防水	浴室	浴室ユニット（JIS A 4416 同等試験品）
	脱衣室	防水上有効な仕上（床：ビニール床シート(クッションフロア)、壁：ビニール貼付(汚れ防止)）
地盤		地盤の防蟻措置の対象区域外（青森県）
基礎高さ		地盤面から基礎天端まで400mm
基礎断熱材		熱抵抗値(3地域=0.6㎡・K/W以上)
床下防湿・換気	防湿方法	防湿シート t=0.15（包装用ポリエチレンフィルム） JIS Z 1702 重ね幅300mm以上
		コンクリート t=120
	換気方法	基礎断熱
小屋裏換気	換気方法	小屋裏換気部材 有効面積 0.0142㎡/m以上
構造部材等		令第37条、令第41条、令第49条及び令第80条の2の規定に適合

4. 維持管理・更新への配慮に関すること

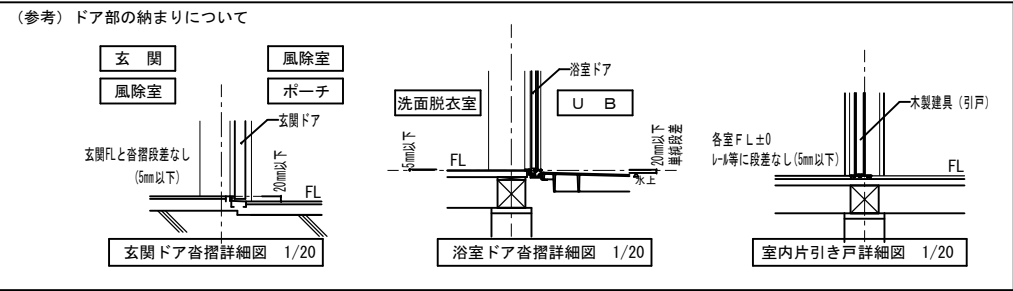
4-1 維持管理対策等級（専用配管） **等級 2**

項 目		内 容
専用配管	排水・給水・給湯・ガス管	コンクリート内に埋め込まない
		他住戸専用部に設置しない
		維持管理・更新への配慮 共用しない
地中埋設管	排水・給水・給湯・ガス管	地中埋設管上にコンクリートを打設しない
専用排水管の清掃措置	トイレ	便器取り外し
	その他の水廻り	清掃可能なトラップを設置
排水管の性状等		内面は平滑とする（硬質塩化ビニル管（VP）接着）
		管の中間部、継手廻り等を支持金物にて固定
配管点検口	主要接合部等の点検措置	露出

6. 空気環境に関すること

6-1 ホルムアルデヒド対策（内装及天井裏等） **等級 3**

記 号	特定木質建材		参考メーカー名
	フロア合板	F☆☆☆☆	大建工業株式会社・パナソニック株式会社・株式会社ノダ
	合板類	F☆☆☆☆	日本合板工業組合連合会会員（石巻合板工業株式会社他）
	ビニール壁紙	F☆☆☆☆	株式会社サンゲツ・リリカラ株式会社・東リ株式会社
	キッチン面材	F☆☆☆☆	株式会社LIXIL・タカスタンダード株式会社・クリナップ株式会社
	室内ドア	F☆☆☆☆	大建工業株式会社・パナソニック株式会社・株式会社ノダ
	造作材（窓枠、玄関収納）	F☆☆☆☆	大建工業株式会社・パナソニック株式会社・株式会社ノダ



5. 温熱環境・エネルギー消費量に関すること

5-1 断熱等性能等級 **等級 5**

地域の区分	3 地域	断熱工法の種別	充填断熱 工法
外皮平均熱貫流率（U ^A ）	基準値 0.50 W/(㎡・K)	≥	計算書より 0.32 W/(㎡・K)

○開口部の断熱性能

※詳細は建具表1参照（窓・玄関ドア）

○開口部の日射遮蔽

基準なし

○断熱材の種類と厚さ

部 位	材 料	厚 さ
屋根	不要	
天井	グラスウール断熱材高性能品(HG16-38) (λ=0.038)	100+100
壁	グラスウール断熱材高性能品(HG16-38) (λ=0.038)	100
界壁	グラスウール断熱材通常品(24-38) (λ=0.038)	100
床（外気に接する部分）	該当なし	
床（その他の部分）	該当なし	
土間床等の外周部（立上り内側）	押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b(A) (λ=0.028)	100
土間床底版敷込み	押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b(A) (λ=0.028)	100 W=600
土間床底版埋込み	押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b(A) (λ=0.028)	30
結露発生防止対策 及び熱橋部補強対策 (室内側:防湿層) (外壁側:通気層,防風層)	外壁上下端：断熱材充填 間仕切壁上下端：通気止め木材	
	小屋裏・外壁・床下等：換気、通気措置	
	断熱材：出隅・入隅・上下の取合い部分及び継ぎ目は隙間なきよう施工する	
	必要に応じてテープ等で密着する 室内側:防湿気密シート張り（JIS A 6930 透湿抵抗 140×10 ³ m ² ・s・Pa/ng以上）	
	透湿防風シート：窓廻り及び継ぎ目部分をテープ止めとする	

5-2 一次エネルギー消費量等級 **等級 6**

一次エネルギー消費量基準BEI	基準値 0.80	≥	計算書より 0.72
冷暖房設備は取付前の先行工事のみ行うものとし、当工事では冷暖房設備は設置しない。設置予定は、居室（LDK・特定寝室・洋室1・洋室2）とする。主たる居室（LDK）は、小能力時高効率型コンプレッサー搭載品のルームエアコン区分（い）とし、他の居室（特定寝室・洋室1・洋室2）は、小能力時高効率型コンプレッサー非搭載品のルームエアコン区分（い）とする。			

8. 音環境に関すること

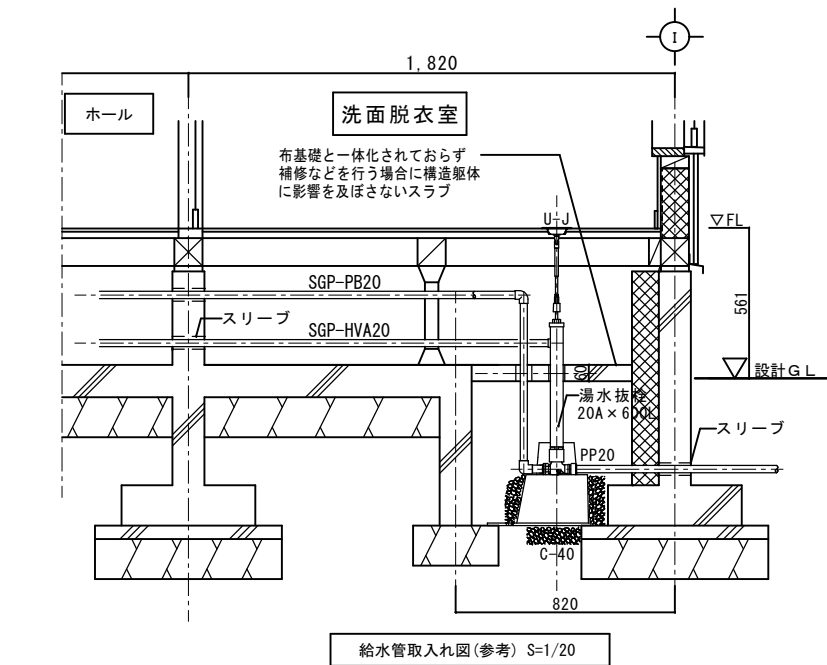
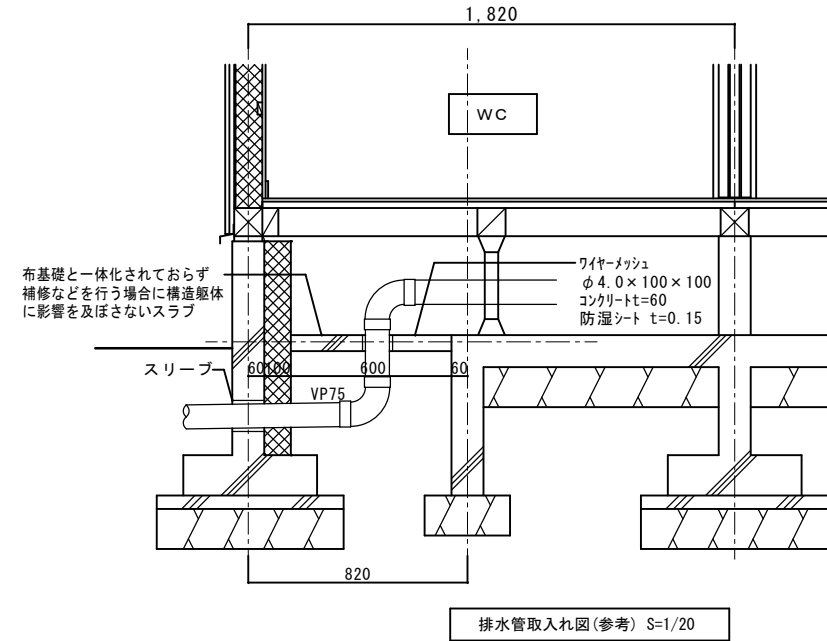
8-4 透過損失等級（外壁開口部） **等級 2**

居室の外壁開口部	遮音性能	T-1以上のドア、サッシを採用

9. 高齢者等への配慮に関すること

9-1 高齢者等配慮対策等級（専用部分） **等級 3**

部屋配置	平家のため、すべての日常生活空間は特定寝室と同一階	
段差	日常生活空間内(下記以外)	各室：FL±0、出入口部：レベル等段差なし(5mm以下)
	玄関の出入口	靴摺と玄関外側20mm以下、靴摺と玄関土間5mm以下
	段差の生じる部分	玄関上がり框（180mm以下）、外部物置入り口
	浴室出入口	洗面側:5mm以下、UB側：20mm以下(単純段差)
手摺の設置	玄関	I型手摺設置（上框の部昇降・靴の着脱用）
	浴室	〃（浴槽の出入り用等）
	洗面脱衣室	〃（衣服の着脱用等）
	トイレ	〃、水平手摺設置（立ち座り用等）
	日常生活空間	手摺の準備（住戸内、手摺設置可能な箇所にFL+750の位置に手摺下地を入れる）
通路、出入口の幅員	通路幅員	有効780mm以上（柱等の箇所は750mm以上）
（日常生活空間内）	出入口の幅員	玄関ドア 有効≧750mm その他の出入口ドア 有効≧750mm
		浴室ドア 有効≧600mm
浴室	UB 内法寸法等	短辺方向内法長さ1,600mm≧1,200mm、内法面積2.56㎡≧1.8㎡
便所	WC 内法寸法等	長辺方向内法長さ1,300mm以上、便器前方500mm以上（介護スペース）
		腰掛式便器
特定寝室	特定寝室 内法面積	内法面積9㎡以上



※用語

特定寝室：高齢者等の利用を想定する一の主たる寝室をいいます

日常生活空間：高齢者等の利用を想定する一の主たる玄関、便所、浴室、脱衣室、洗面所、特定寝室、食事室及び特定寝室の存する階(接地階を除く)にあるバルコニー、特定寝室の存する階にあるすべての居室並びにこれらを結ぶ一の主たる経路をいいます

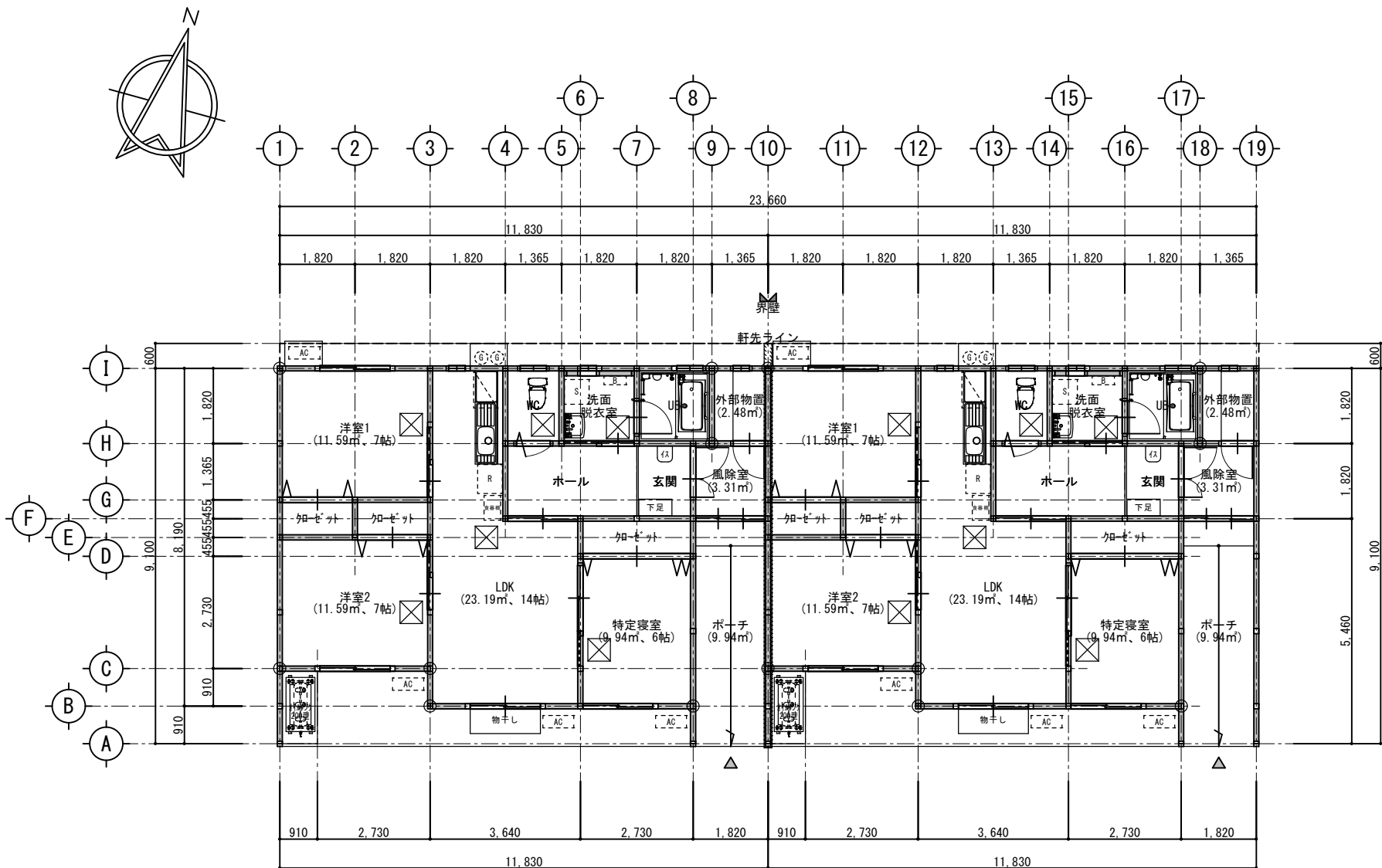
No. 25201	芦野団地市営住宅(No.1号棟)建替建設(建築)工事	設計図 DR. NO. A-19
DATE R08.05	住宅性能評価仕様書	SCALE (A2) 1/20 (A3) 1/28.3
	株式会社 青和設計	1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 舘山良子

外部	屋根	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 t=0.4 立平葺(防水テープ二重貼) + アスファルトルーフィング940 + 針葉樹構造用合板 t=12 雪止めアングル 5×40 (溶融亜鉛メッキ仕上) アングル用金物(溶融亜鉛メッキ仕上)	断熱仕様	天井ーグラスウール断熱材高性能品 (HG16-38) t=200 (100+100) (熱抵抗値 2.63×2=5.26 m ² ・K/W)	一般事項	
	軒天井	化粧バルブ繊維混入セメント板(木目調) t=12.0 、小屋裏換気部材(イブスベック585同等品)		外壁廻りーグラスウール断熱材高性能品 (HG16-38) t=100 (熱抵抗値 2.63 m ² ・K/W)	使用建築材料 (シックハウス対策)	本工事に使用するすべての建築材料は F☆☆☆☆ (JIS・JAS) 及び告示対象外材とする。 天井裏、壁内 (外装材・構造材・各下地材・断熱材等) 内部 (内装仕上材・建具・家具・造作物・使用接着材等) 天井裏等への措置については、天井裏・床裏・壁・収納 に用いる建築材料はF☆☆☆☆を使用する。
	外壁	外壁A : 窯業系サイディング木目調張 t=16 縦胴縁 18×45@455 透湿防水シート t=0.2 (防水テープ貼) 外壁B : 窯業系サイディング張 t=16 縦胴縁 18×45@455 透湿防水シート t=0.2 (防水テープ貼)		基礎立上り内部ー押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b(A) t=100 (熱抵抗値 3.57 m ² ・K/W)		
	基礎	モルタル薄塗仕上げ		界壁部分ーグラスウール断熱材通常品 (24-38) t=100 (熱抵抗値 2.63 m ² ・K/W) (かさ比重≧ 0.02)		
	開口部	窓 : 樹脂断熱サッシ (熱貫流率 1.27、1.35 W/(m ² K)) 玄関ドア : アルミ断熱玄関親子ドア (熱貫流率 2.29 W/(m ² K)) 風除室 : アルミ製2枚引込戸	室内側の防湿	壁ー防湿気密シート t=0.1 天井ー防湿気密シート t=0.1	クロビ [®] リホス の使用禁止	クロルビリホスを添加した材料(内外部、下地仕上共)は使用しない。
	住棟番号表示		住戸番号表示	カルブ文字 t=20 表面フィルムシート貼 小口部分塗装 600×600(外部用)		
	表札板		郵便受	カルブ文字 t=20 表面フィルムシート貼 小口部分塗装 300×600(外部用)	接合金物	Zマーク表示金物及び日本住宅・木材技術センター認定品を使用する。
ポーチ・スロープ		床:モルタル刷毛引仕上 壁:窯業系サイディングt=16横張(金具止、塗装品) 天井:化粧バルブ繊維混入セメント板(エンボス調) t=12.0 ステン製手摺 H=800 38φ鏡面仕上(ブラケット共)、郵便受、住戸番号表示、表札板		ステンレス製 282×145 住戸番号表示(各戸風除室前)	シーリング ⁺ 処理	変成シリコン系シーリング(MS-2) 10×10ー外壁目地、開口部廻り、金物廻り 外壁シーリング材は、パッタック [®] 材下地とする。
その他		アンテナ取付用バー : ステンレスパイプφ48.6 t=3.0 L=1,300(建築)、(入線カバー(電気)) アルミ製防油堤(機械) アルミ物干金物(壁付アーム型)、ステンレス製ボンベ固定用フック 4ヶ 浄化槽 : 土留め・土工事、基礎工事は建築工事		ステンレス製防滴型H280×W380×D145 ラッチ錠付(南京錠別途)	防腐防蟻 処理	木部ーGL+1,000迄 薬剤処理(JIS K 1571適合品を現場塗布) 2回塗布 (土台、柱、間柱、筋違、大引、通気胴縁) (エコボロンPRO同等品)

階	室名		床	巾木	H	塗装	壁	天井	廻縁	H	天井高	手摺 取付 下地	備考
1	風除室	下地材					界壁部:石膏ボード t=12.5 + t=12.5(小屋裏まで)+						天井点検口450×450 ^{mm} 製(一般タイプ)
		仕上材	モルタル刷毛引仕上				窯業系サイディングt=16 横張(金具止、塗装品)	化粧バルブ繊維混入セメント板 t=12.0 (エンボス調)	塩ビ [®] 製		2,700		
	玄関	下地材	モルタル下地 t=30	タイル張り	150		石膏ボード t=12.5	石膏ボード t=9.5	木製既製品	30	2,650~2,670	○	木製下駄箱(既製品)、壁付ベンチ(既製品)、上り框70×120(既製品) ハンガー用長押材(既製品)
		仕上材	床用磁器タイル張り 100角	木製既製品(気密タイプ)	57		ビニールクロス貼(汚れ防止)	ビニールクロス貼(汚れ防止)					
	ホール	下地材	針葉樹構造用合板 t=24(本実) 特類2級	木製既製品(気密タイプ)	57		石膏ボード t=12.5	石膏ボード t=9.5	木製既製品	30	2,500	○	I型木製手摺 L=600×φ32 天井点検口600×600 ^{mm} 製(断熱タイプ)
		仕上材	フロア合板 t=12				ビニールクロス貼(汚れ防止)	ビニールクロス貼(汚れ防止)					
	LDK	下地材	針葉樹構造用合板 t=24(本実) 特類2級	木製既製品(気密タイプ)	57		石膏ボード t=12.5 下地ビニールクロス貼(汚れ防止)	石膏ボード t=9.5	木製既製品	30	2,500	○	流し台、ガス台、吊戸棚、レンジフード 床下ガラリ ステンレス製カーテンレールW、 AC用・FF用スリプ [®] キャップ、床下点検口600×600 ^{mm} 製、 天井点検口600×600 ^{mm} 製(断熱タイプ)
		仕上材	フロア合板 t=12				流し台廻り:防水石膏ボード t=12.5下地キッチン [®] 桧t=3.0貼	ビニールクロス貼(汚れ防止)					
	特定寝室	下地材	針葉樹構造用合板 t=24(本実) 特類2級	木製既製品(気密タイプ)	57		石膏ボード t=12.5	石膏ボード t=9.5	木製既製品	30	2,500	○	AC用・FF用スリプ [®] キャップ、床下点検口600×600 ^{mm} 製、 ハンガー用長押材(既製品)、ステンレス製カーテンレールW、床下ガラリ 天井点検口450×450 ^{mm} 製(断熱タイプ)
		仕上材	フロア合板 t=12				ビニールクロス貼(汚れ防止)	ビニールクロス貼(汚れ防止)					
	洋室1 洋室2	下地材	針葉樹構造用合板 t=24(本実) 特類2級	木製既製品(気密タイプ)	57		石膏ボード t=12.5	石膏ボード t=9.5	木製既製品	30	2,500	○	AC用・FF用スリプ [®] キャップ、床下点検口600×600 ^{mm} 製、 ハンガー用長押材(既製品)、ステンレス製カーテンレールW、床下ガラリ 天井点検口450×450 ^{mm} 製(断熱タイプ)
		仕上材	フロア合板 t=12				ビニールクロス貼(汚れ防止)	ビニールクロス貼(汚れ防止)					
	クローゼット	下地材	針葉樹構造用合板 t=24(本実) 特類2級	木製既製品(気密タイプ)	57		石膏ボード t=12.5		塩ビ [®] 製		2,500		枕棚(既製品)、ハンガー [®] タイプ 床下ガラリ
		仕上材	フロア合板 t=12				ビニールクロス貼(汚れ防止)	化粧石膏ボード t=9.5					
	洗面脱衣室	下地材	針葉樹構造用合板 t=24(本実) 特類2級 + ラワン合板 t=9 I類 + ビニル床シート(クッションフロア) t=1.8	木製既製品(気密タイプ)	57		防水石膏ボード t=12.5	石膏ボード t=9.5	木製既製品	30	2,500	○	洗面化粧台 W=600、給湯器 [®] トラ [®] (機械設備)、配管バック I型木製手摺 L=600×φ32、床下点検口600×600 ^{mm} 製 天井点検口450×450 ^{mm} 製(断熱タイプ)、床下ガラリ
		仕上材					ビニールクロス貼(汚れ防止)	ビニールクロス貼(汚れ防止)					
	UB	下地材										○	片開戸、補助手摺 : I型600 4ヶ所、 シャワー付シンク [®] ミ [®] 混合栓(デタッチ型)、化粧鏡、照明器具 換気扇用穴加工(開口補強共)(換気扇)
		仕上材	ユニットバス1616				ユニットバス部材	ユニットバス部材					
	WC	下地材	針葉樹構造用合板 t=24(本実) 特類2級 + ラワン合板 t=9 I類 + ビニル床シート(クッションフロア) t=1.8	木製既製品(気密タイプ)	57		石膏ボード t=12.5	石膏ボード t=9.5	木製既製品	30	2,500	○	棚付I型手摺(機械設備)取付用下地、木製手摺φ35 L=400 棚(既製品)、跳ね上げ式手摺取付用下地 床下ガラリ、床下点検口600×600 ^{mm} 製
		仕上材	モルタル金ゴテ仕上	(基礎立上り)			ラワン合板 t=12	化粧石膏ボード t=9.5	塩ビ [®] 製		2,700		中段
	界壁												
		下地材					両面石膏ボード t=12.5×2	※天井裏又は小屋裏まで達せしめること					
							内部:グラスウール断熱材通常品(24-38) t=100 充填						

材料認定番号										備 考
石膏ボード t=9.5	QM-9828	キッチンパネル t=3.0	NM-2183 (不燃認定品)	外壁:窯業系サイディングt=16 屋内側:石膏ボード t=12.5	流し台 : W1,200×D550×H800(LIXIL GSES120MXTL同等品)			洗面化粧台 : (LIXIL FTV2N-604YN/VP1W(本体)、LF-3SF(410)K-MB(水栓・止水栓共)、		*詳細な納まりについては、各社統一する事。
石膏ボード t=12.5	NM-8619	化粧石膏ボード t=9.5	QM-0524		吊戸棚+不燃吊戸棚 : W1,200(750+450)×D350×H700(LIXIL GSEAM75Z+GSEW45ZFL同等品)			MFTX2-601XFJU-G(ミラキャビネット)同等品)		
防水石膏ボード t=12.5	QM-0898	窯業系サイディングt16	QM-0639 (セキスイハイランド16)		ガス台 : W750×D543×H623(LIXIL GSEK75K同等品)			ユニットバス : (積水ホームテック/ ES4B1W-1616UN-4LC2NCHW(本体)、KF6004Z(デタッチシンク [®] ミ [®] シャワー水栓)同等品)		
ビニールクロス	準不燃QM認定品				レンジフード : W750×H700 同時給排気型、電動シャッター付(上方給排セットSU共)、壁タイプ			親子換気扇 : (FY-24CPS8+FY-GKP04同等品) アルミ物干金物 : (ナスタKS-DA553AB同等品)		
化粧バルブ繊維混入セメント板 t=12.0	NM-3010				(富士工業㈱ トヨBOR-3HL-751VBK(本体)、KSW-03(スリッパ)同等品)			防油堤 : (本体、あと施工アンカー 機械設備工事)		

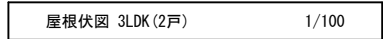
No.	25201	芦野団地市営住宅(No.1号棟)建替建設(建築)工事 設 計 図 DR. NO. A-20	
DATE	R08.05		
			SCALE
			外部・内部仕上表
			
			株式会社 青 和 設 計
			1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 舘 山 良 子



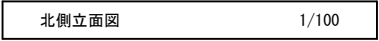
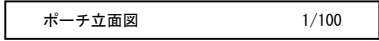
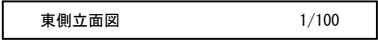
平面図 3LDK (2戸) 1/100

平面図凡例	
⊕	柱 120×120
□	柱 105×105
⊗	床下点検口 600角
≡	界壁
≡	界壁(軒先部分)



No. 25201	芦野団地市営住宅(No. 1号棟)建替建設(建築)工事 設計図 DR. NO. A-21	
DATE R08.05	SCALE (A2) 1/100 (A3) 1/141.4	平面図
	株式会社 青和設計	
	1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館山良子	

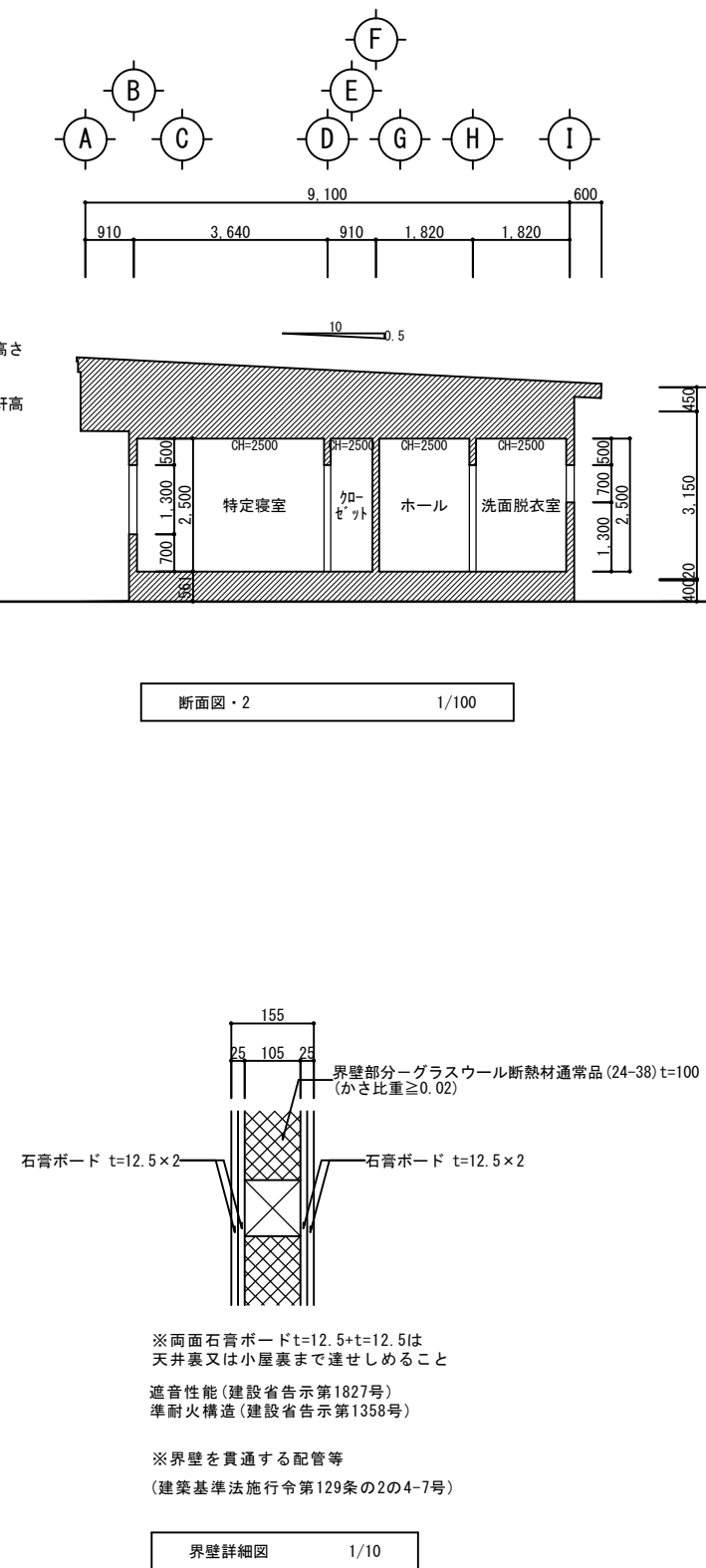
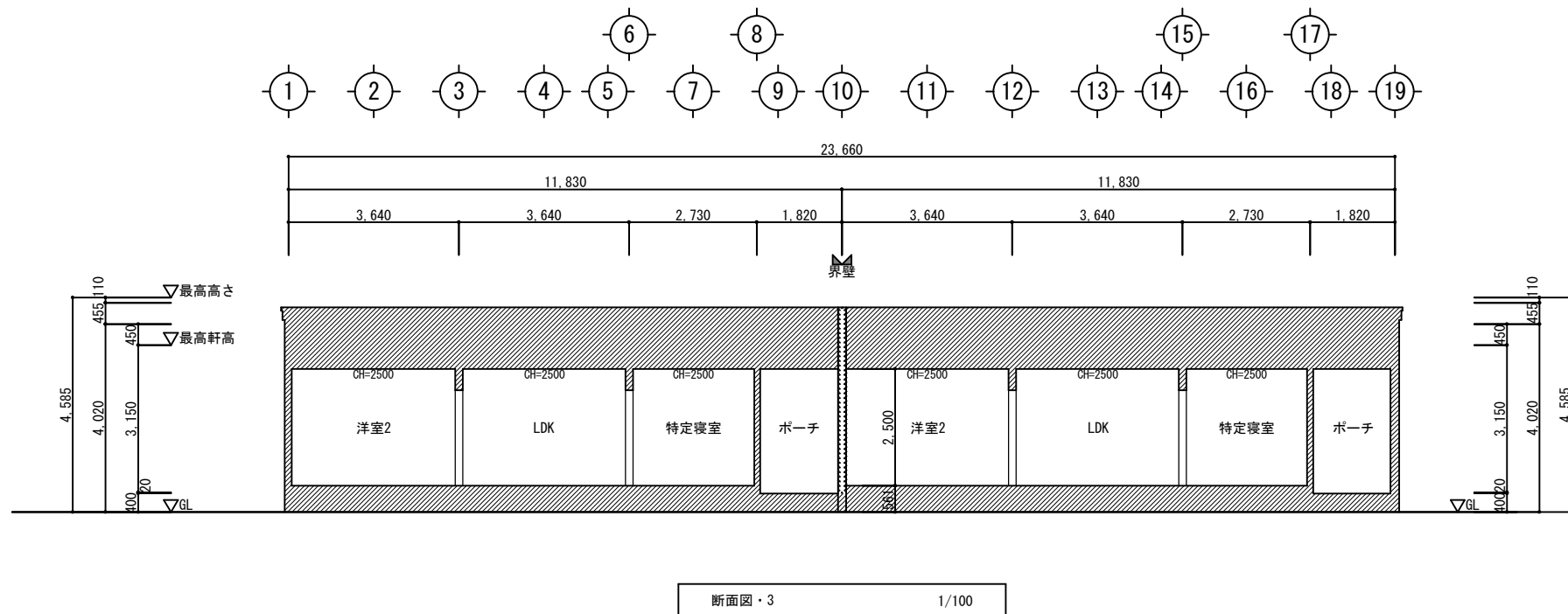
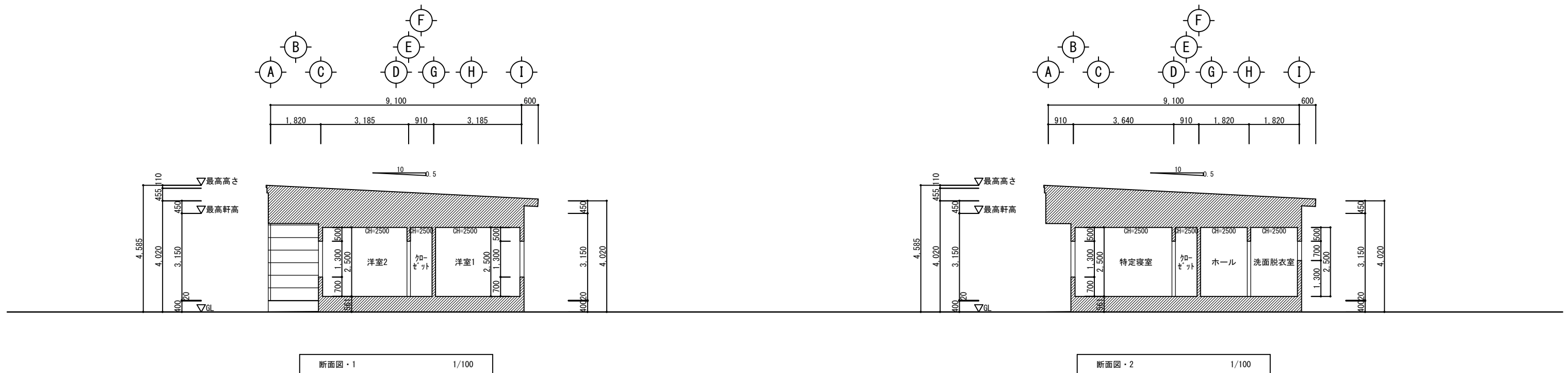




No.	25201	芦野団地市営住宅(No.1号棟)建替建設(建築)工事 設 計 図 DR. NO. A-22 屋根伏図 SCALE (A2) 1/100 (A3) 1/141.4 
DATE	R08.05	
株式会社 青 和 設 計 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)		1級建築士事務所 青森県和事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 舘 山 良 子

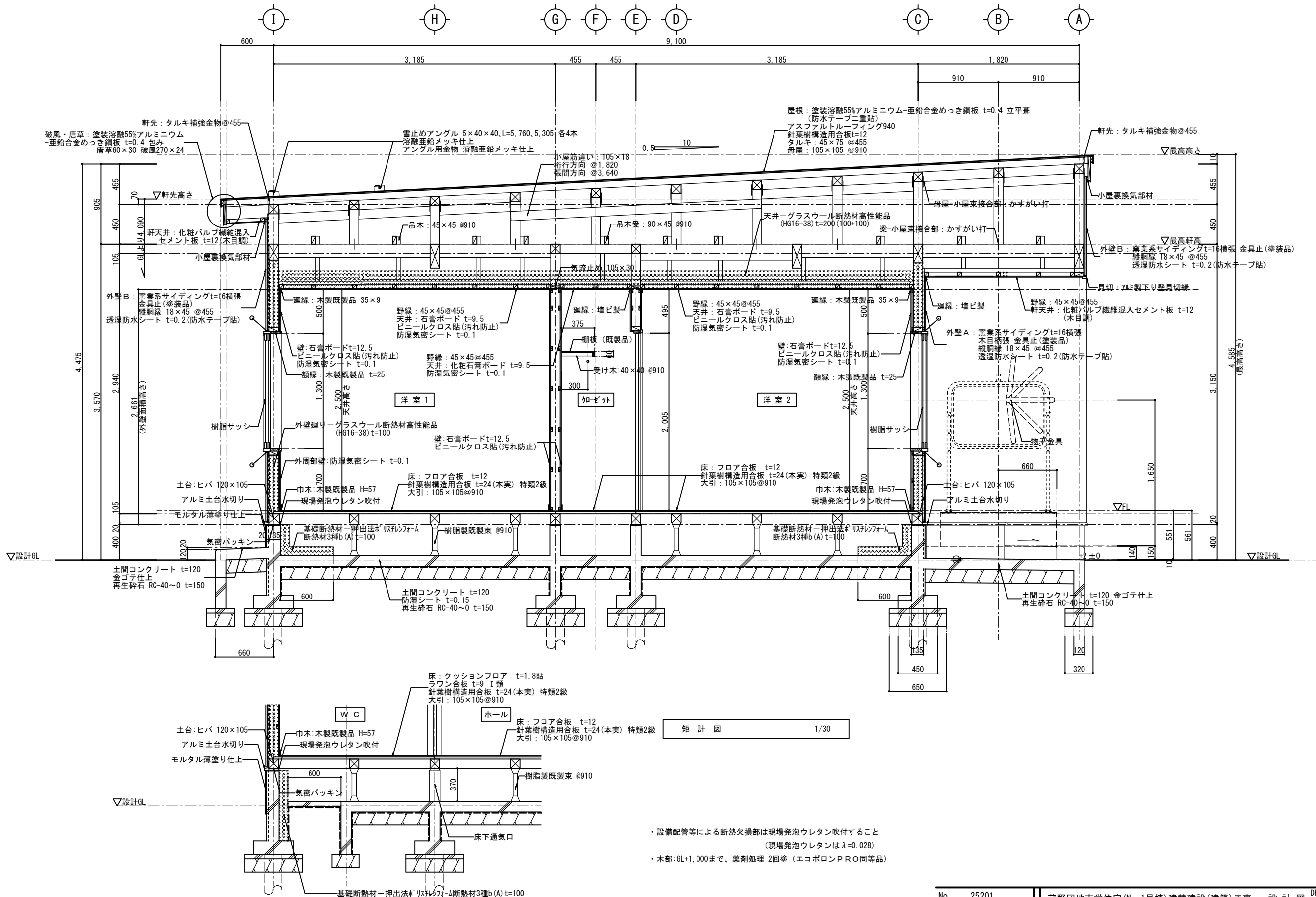


—外壁B 窯業系サイディング® 張 $t=16.0$

No.	25201	芦野団地市営住宅(No.1号棟) 建替建設(建築)工事		設計 図	DR. No.	A-23
DATE	R08.05	立面図 張り分け図		SCALE (A2) 1/100 1/200 (A3) 1/141.4 1/282.8		
				 		
		株式会社 青 和 設 計		1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 館 山 良 子		
		青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331 (代)				



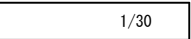
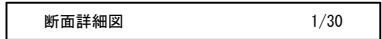
No.	25201	芦野団地宅営住宅(No.1号棟)建替建設(建築)工事設計図 DR. No. A-24 SCALE (A2) 1/100 1/10 (A3) 1/141.4 1/14.1  
DATE	R08.05	
	断面図 界壁詳細図	
株式会社 青和設計 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)		1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 舘山良子





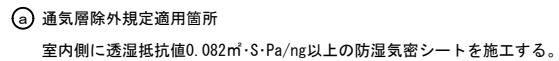
矩 計 図 1/30

- ・設備配管等による断熱欠損部は現場発泡ウレタン吹付すること
(現場発泡ウレタンはλ=0.028)
- ・木部: GL+1,000まで、薬剤処理 2回塗 (エコボロンPRO同等品)

No.	25201	芦野団地市営住宅(No.1号棟)建替建設(建築)工事	設 計 図	DR. NO.	A-25
DATE	R08.05	矩計図	SCALE	(A2) 1/30 (A3) 1/42.4	
<div>株式会社 青 和 設 計</div>					
<div>1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL: 0173 (35) 8331 (代) 管理建築士 舘 山 良 子</div>					





No. 25201	芦野団地市営住宅(No. 1号棟)建替建設(建築)工事		DR. NO.	A-26
DATE R08.05	断面詳細図		SCALE	(A2) 1/30 (A3) 1/42.4
			 	
	株式会社 青 和 設 計		1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市宇津谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 舘 山 良 子	

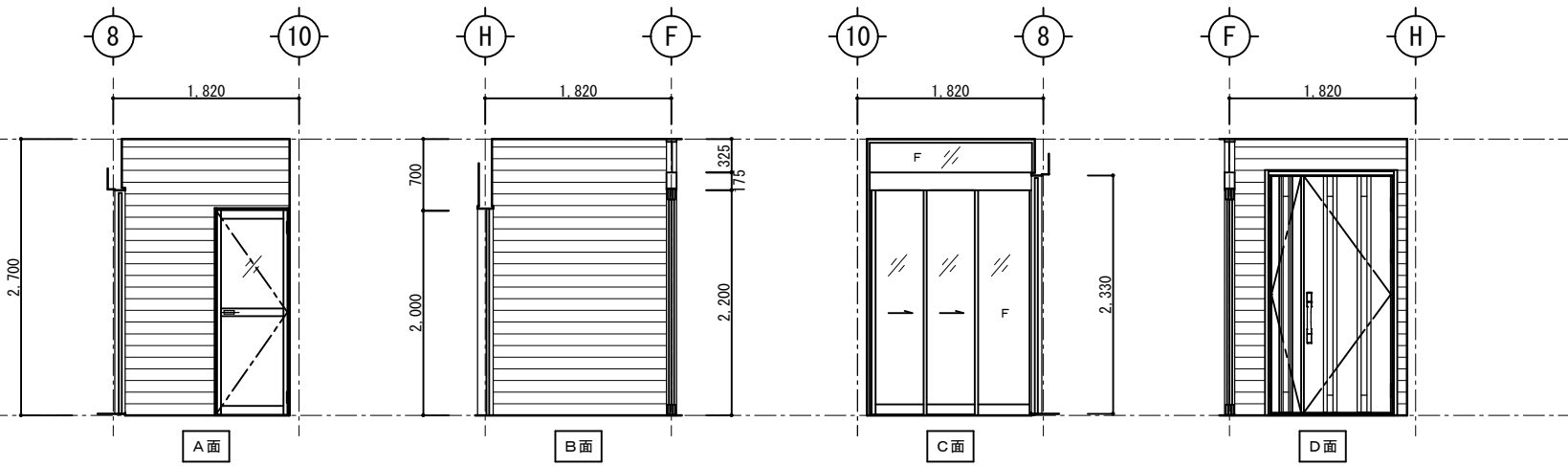


① 通気層除外規定適用箇所

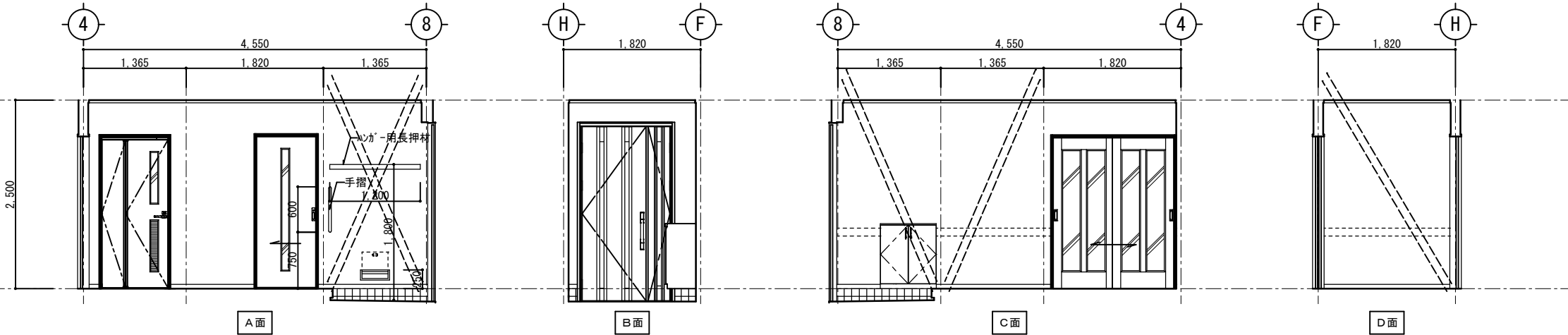
室内側に透湿抵抗値 $0.082\text{m}^2\cdot\text{S}\cdot\text{Pa}/\text{ng}$ 以上の防湿気密シートを施工する。

No.	25201	芦野団地市営住宅(No.1号棟)建替建設(建築)工事 設 計 図 平面詳細図  	DR. NO.	A-27
DATE	R08. 05		SCALE	(A2) 1/50 (A3) 1/70. 7
		株式会社 青 和 設 計 1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第294444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 舘 山 良 子		

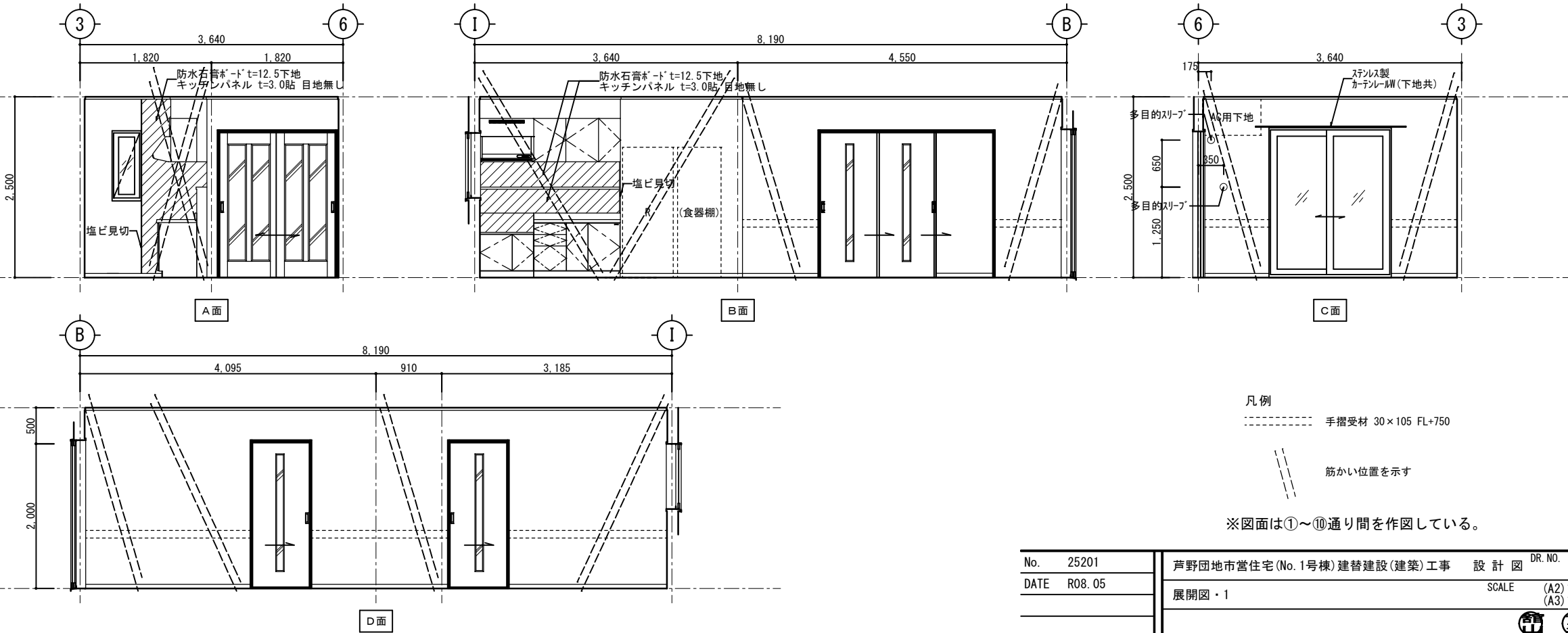
風除室 1/50		CH=2, 700
床	モルタル刷毛引仕上	
巾木	基礎立上り	
壁	窯業系サイディング t=16 横張 金具止（塗装品）	
天井	化粧バルブ繊維混入セメント板（エポキシ調） t=12.0	
廻縁	塩ビ製	
備考	天井点検口 450×450 7&ミ製（一般タイプ）	



玄関・ホール 1/50		CH=2, 650～2, 670 CH=2, 500
床	玄関：モルタル下地 床用磁器タイル貼 100角 ホール：針葉樹構造用合板 t=24（本実）特種2級下地 フロア合板 t=12	
巾木	玄関：タイル貼 H=150 木製既製品 H=57 ホール：木製既製品 H=57	
壁	石膏ボード t=12.5下地 ビニルクロス貼（汚れ防止）	
天井	石膏ボード t=9.5下地 ビニルクロス貼（汚れ防止）	
廻縁	木製既製品 30×9	
備考	木製下駄箱（既製品）W740×D400×H800 壁付ベンチ（既製品）370×420（壁付ベンチ取付下地共） 上框（既製品）70×120 天井点検口 600×600 7&ミ製（断熱タイプ） I型木製手摺 L=600×φ32（取付用下地共） ハンカ用長押材（既製品）	



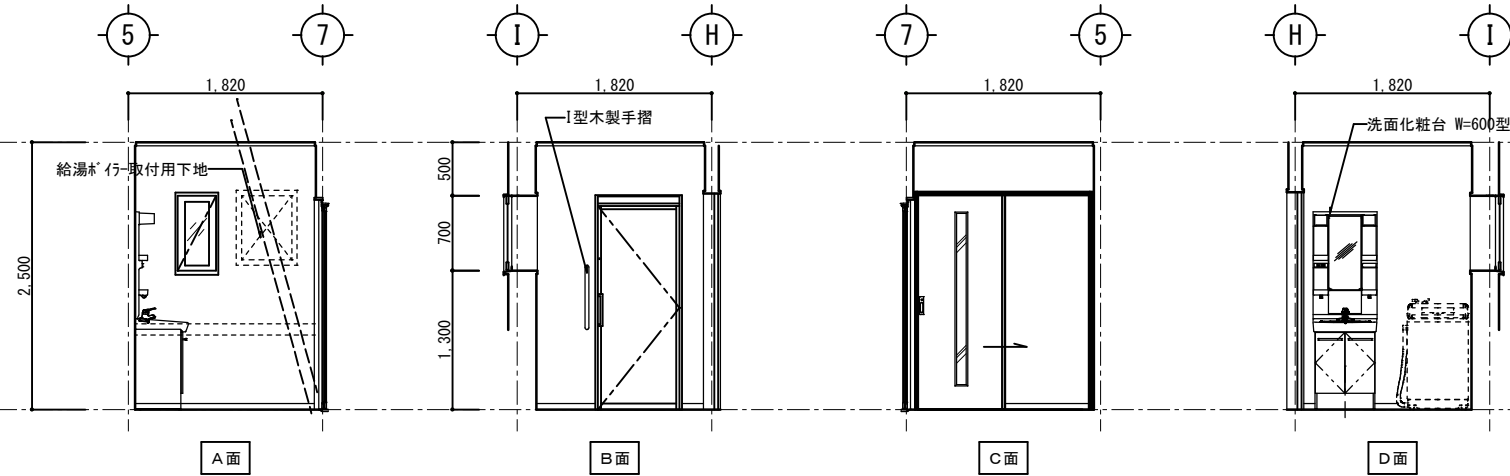
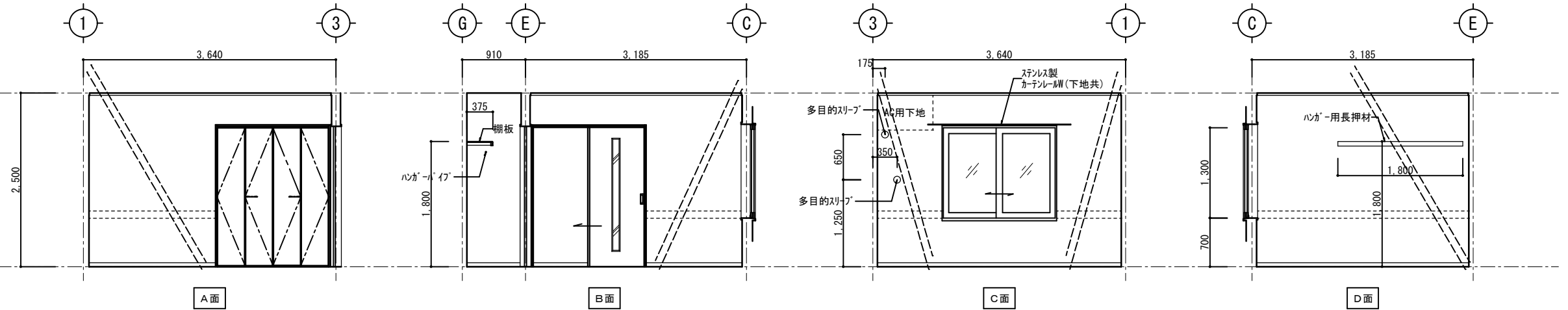
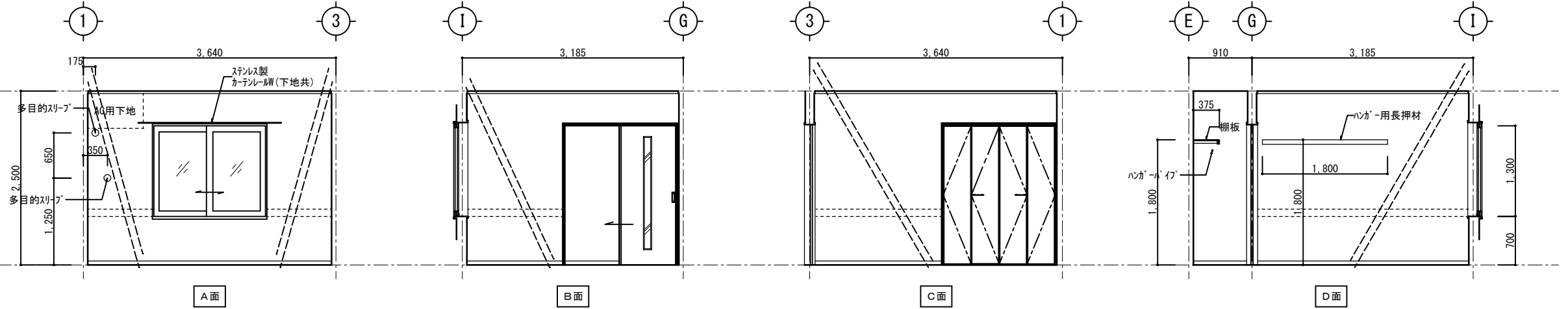
LDK 1/50		CH=2, 500
床	針葉樹構造用合板 t=24（本実）特種2級下地 707合板 t=12	
巾木	木製既製品 H=57	
壁	石膏ボード t=12.5下地 ビニルクロス貼（汚れ防止） 流し台廻り：防水石膏ボード t=12.5下地キッチンパネル t=3.0貼	
天井	石膏ボード t=9.5下地 ビニルクロス貼（汚れ防止）	
廻縁	木製既製品 30×9	
備考	流し台、ガス台、吊戸棚（シンクフード側不燃タイプ）、レンジフード、 床下がりφ624.5×90、274×90（PP製）、ステン製カーテンレール 多目的スリプタイプ（内、外）φ135（107×114 ABS樹脂） 床下点検口アルミ製600×600 天井点検口 600×600 7&ミ製（断熱タイプ）	



No. 25201	芦野団地市営住宅(No. 1号棟)建替建設(建築)工事 設計図 DR. NO. A-28		
DATE R08.05	展開図・1 SCALE (A2) 1/50 (A3) 1/70.7		
	株式会社 青 和 設 計		
	1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館山良子		


洋室1	1/50	CH=2, 500
床	針葉樹構造用合板 t=24(本実) 特類2級下地 707合板 t=12	
巾木	木製既製品 H=57	
壁	石膏ボード t=12.5下地 ビニール貼付(汚れ防止)	
天井	石膏ボード t=9.5下地 ビニール貼付(汚れ防止)	
廻縁	木製既製品 30×9	
備考	床下g' 51624.5×90 (PP製) , ステンレス製カッター用 多目的のタテヤツ (内、外) φ135 (107×114 ABS樹脂) ハガ-用長押材 (既製品) 枚数、ハガ-ハ、イ (知-モ、ツ) 床下点検口 アルミ製 600×600 天井点検口 450×450 7mm製 (断熱タイプ)	

洗面脱衣室 1/50		CH=2.500
床	針葉樹構造用合板 t=24(本案) 特種2級+ラワン合板 t=9 1 類下地 クッションフロア t=1.8貼	
巾木	木製既製品 H=57	
壁	防水石膏ボード t=12.5下地 ビニ-ルクロス貼 (汚れ防止)	
天井	石膏ボード t=9.5下地 ビニ-ルクロス貼 (汚れ防止)	
廻縁	木製既製品 30×9	
備考	洗面化粧台 W=600 (シンク) M=914・水栓:下屋: 両開き型 止水栓×2個共 フレック/1/2(分注)・天井点検口 450×450 73mm蓋(断熱付) 1 型木製手摺 L=600×φ32 (取付用下地共) 床下点検口 アルミ製 600×600 床下ダ/リ274×90(PP製) 給湯ボイラー取付用下地	



凡例

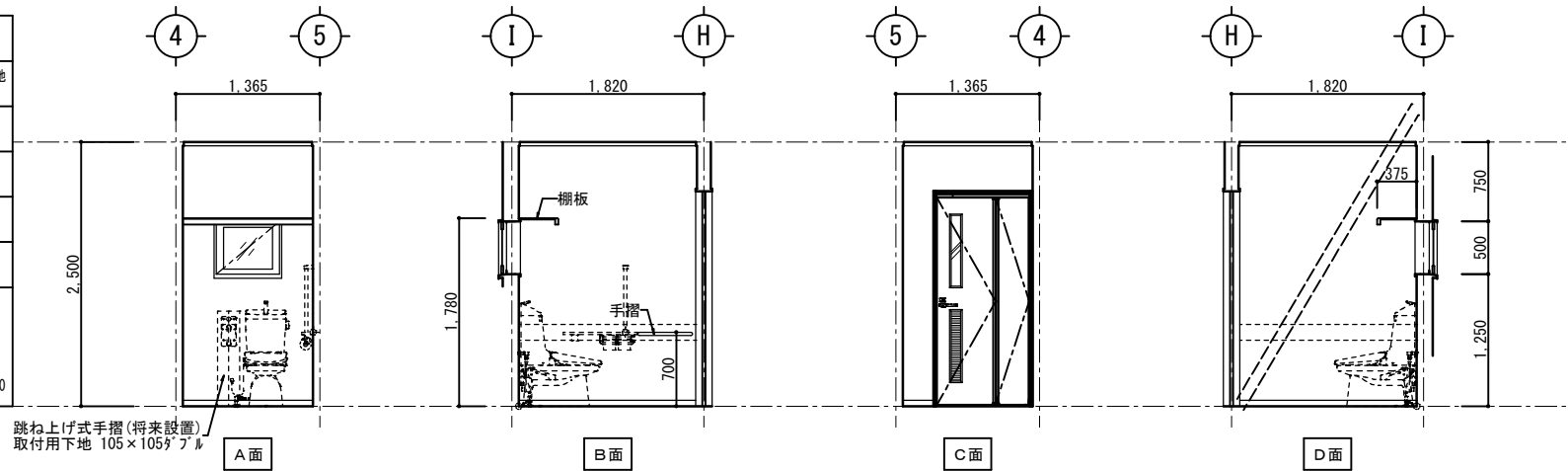
----- 手摺受材 30×105 FL+750

 筋かい位置を示す

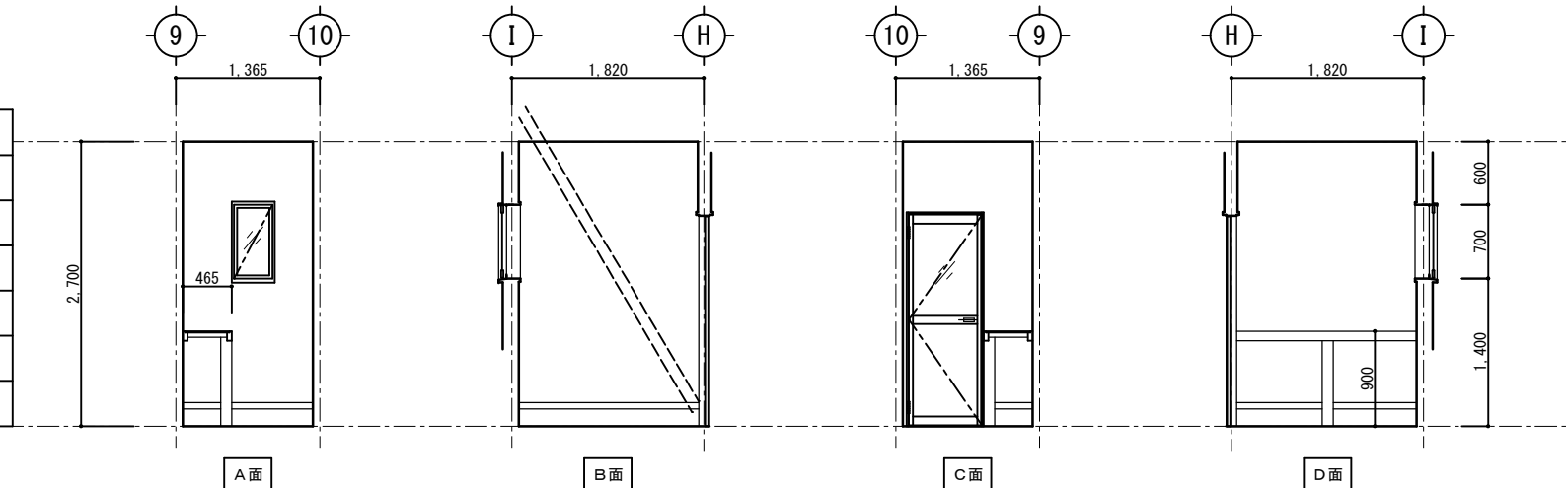
※図面は①～⑩通り間を作図している。

	青和設計
	1級建築士事務所 青森県知事登録 第004号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 舘山良子
株式会社	株式会 社 青 和 設 計
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20	TEL:0173(35)8331(代)

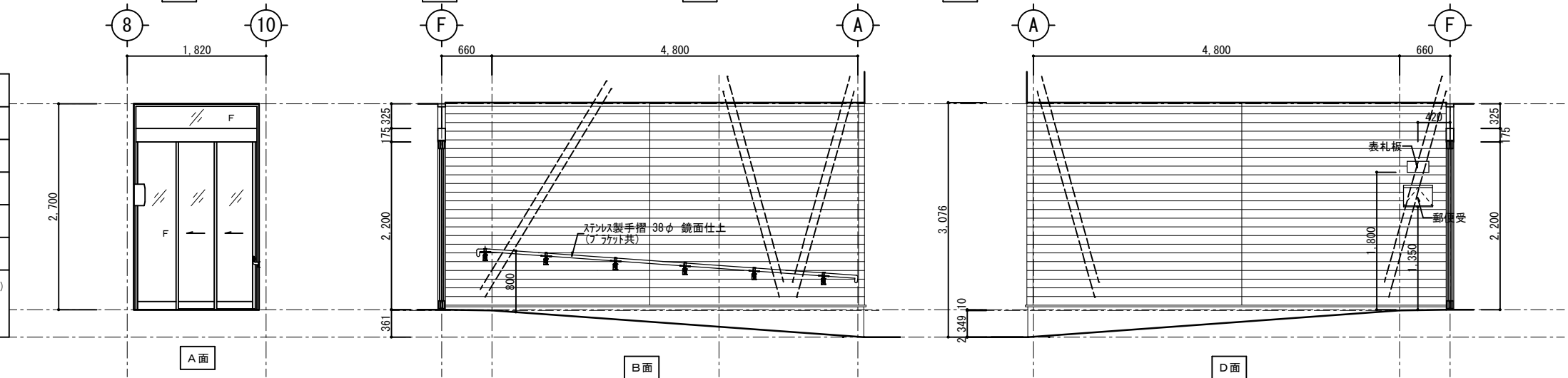
WC		1/50	CH=2,500
床	針葉樹構造用合板 t=24(本表) 特種2級+ラワン合板t=9 I 額下地 クッションフロア t=1.8貼		
巾木	木製既製品 H=57		
壁	石膏ボード t=12.5 下地 t'=100吸貼 (汚れ防止)		
天井	石膏ボード t=9.5 下地 t'=100吸貼(汚れ防止)		
廻縁	木製既製品 30×9		
備考	棚付I型手摺 (機械設備工事) 取付用下地 跳ね上げ式手摺取付用下地		
	棚板 木製手摺 φ35 L=400 (取付用下地共) 床下g' 70φ24.5×90 (PP製) 床下点検口 アルミ製 600×600		



外部物置 1/50		CH=2, 700
床	モルタル金ゴテ仕上	
巾木	基礎立上り	
壁	ラワン合板 t=12	
天井	化粧石膏ボード t=9.5	
廻縁	塩ビ製	
備考	中段	

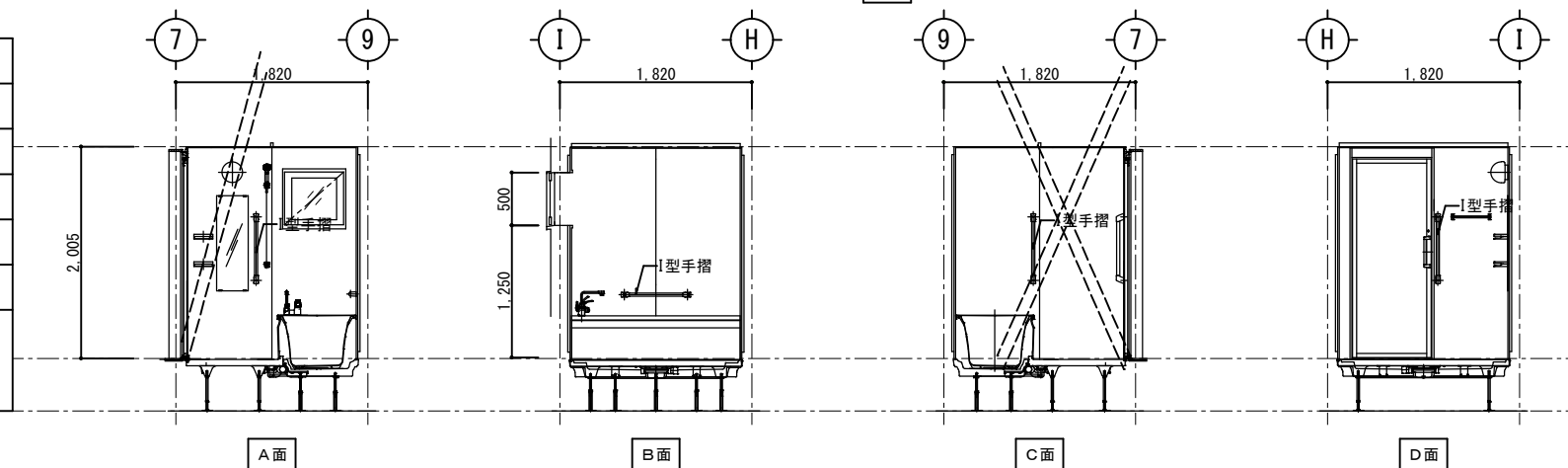


ポーチ		1/50	CH=2, 715~3, 076
床	モルタル刷毛引仕上		
巾木	コンクリート打放し補修		
壁	窯業系サイディング t=16 横張 金具止 (塗装品)		
天井	化粧パルプ繊維混入セメント板(エポ'ス調)t=12.0		
廻縁	塩ビ製		
備考	郵便受:スリル製防滴型 H280×W380×D145 ヲ釘付(南京錠別送) スリル製手摺 H=800 38φ鏡面仕上(ﾌﾞﾗｯｸﾄﾞﾙ) 表札板:ｽﾘﾙ製 282×145 住戸番号表示		



※参考図（各メーカー仕様による）

U B		1/50	CH=2, 005
床	ユニットバス 1616		
巾木			
壁			
天井			
廻縁			
備考	断熱仕様:床・高断熱707、片開戸(77リ)板ガラス、救出機配付 J1SA4416試験品 補助手摺: I 型600 4ヶ所 親子換気扇、シャワー付シグリング・混合栓(7+7型)(寒冷地仕様) 化粧鏡、照明器具 共		



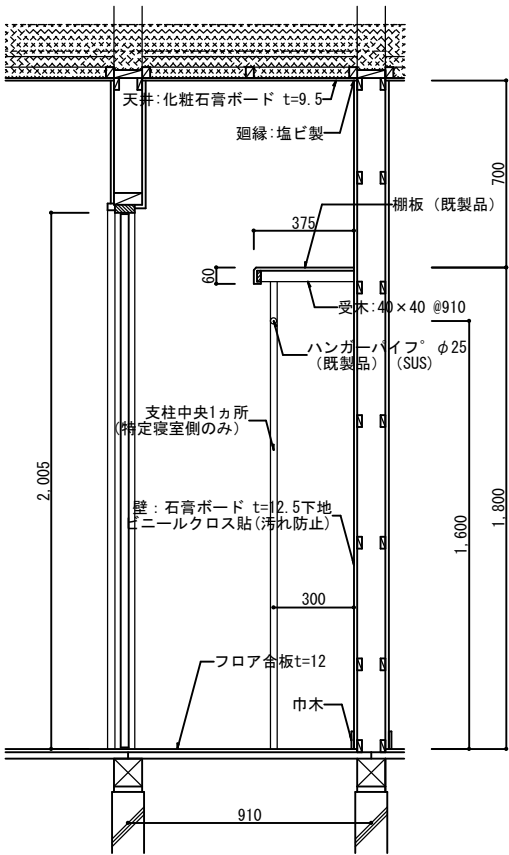
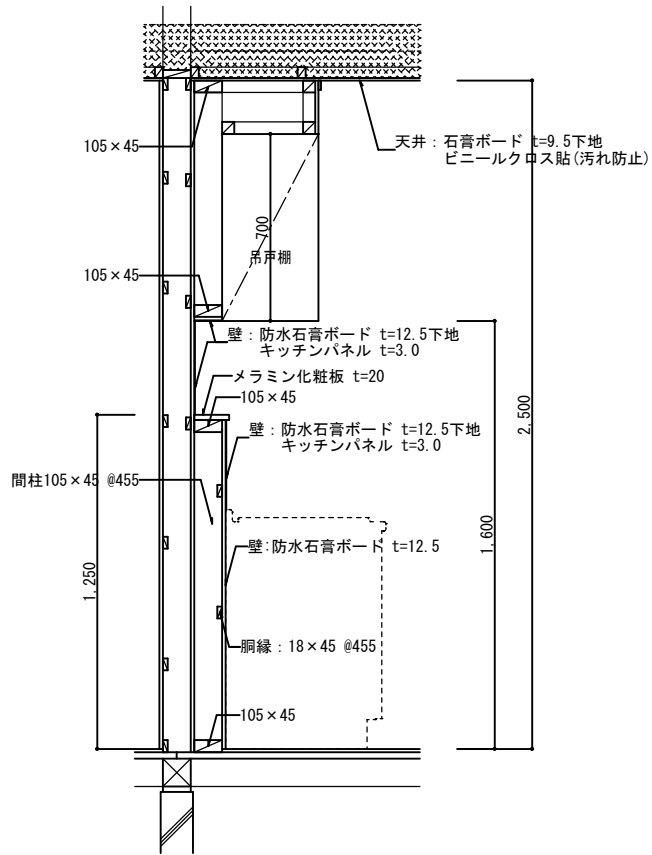
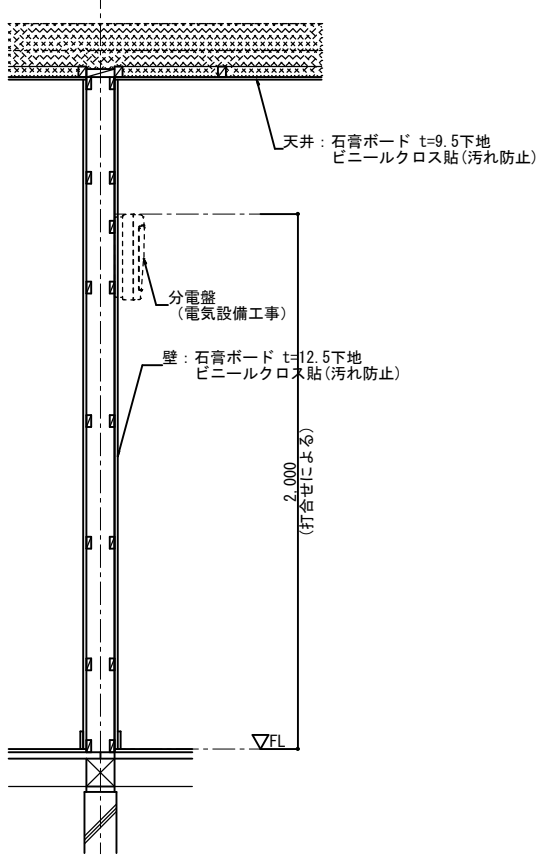
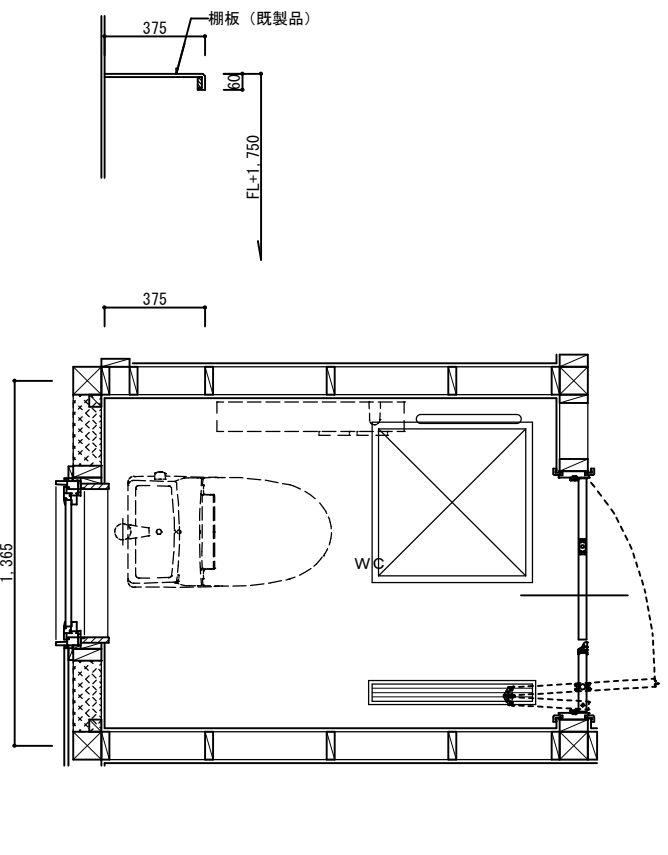
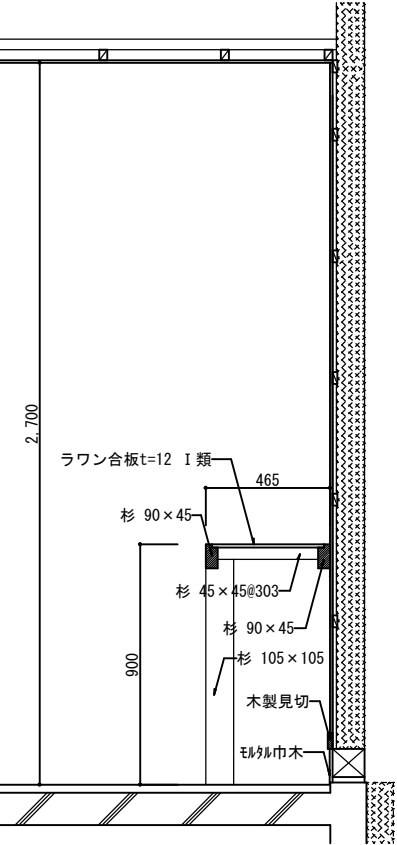
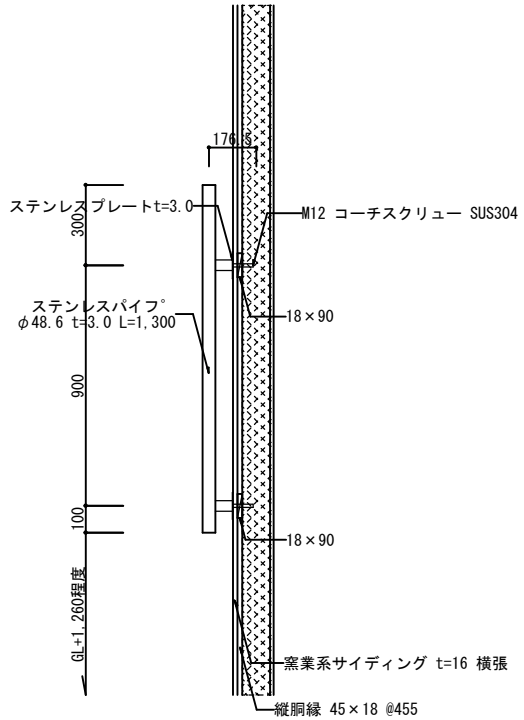
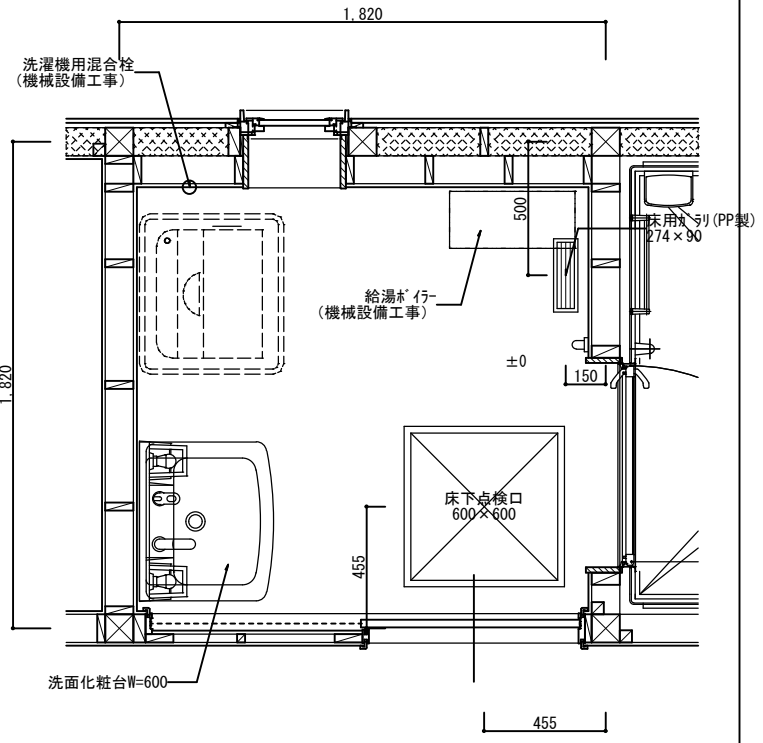
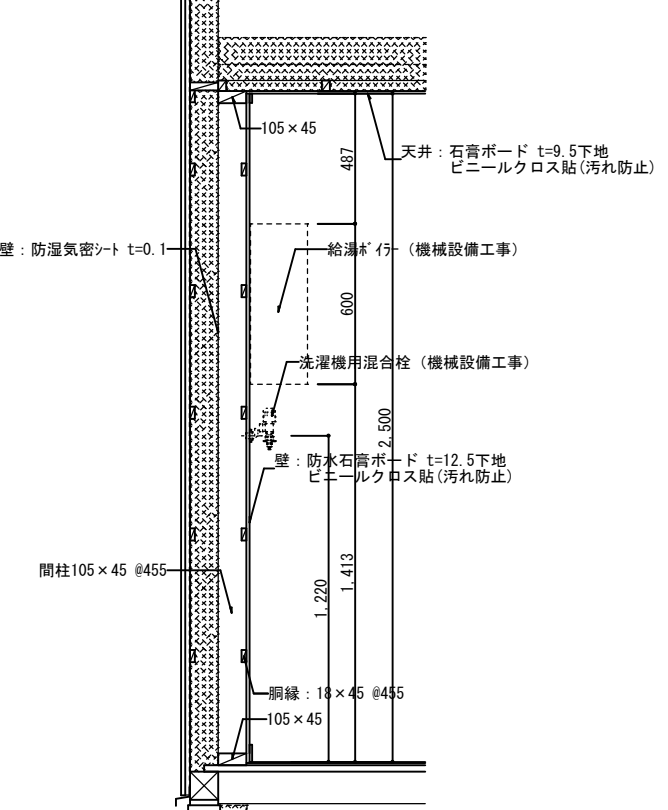
凡例

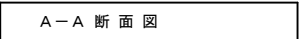
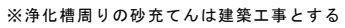
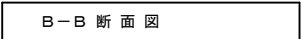
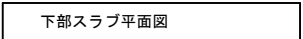
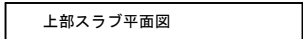
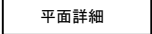
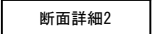
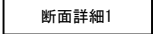
----- 手摺受材 30×105 FL+750

筋かい位置を示す

※図面は①～⑩通り間を作図している。

No.	25201	DR. NO.		A-30
DATE	R08. 05	芦野団地住宅(No.1号棟) 建替建設(建築)工事 設 計 図		
		SCALE		(A2) 1/50 (A3) 1/70. 7
		展開図・3		
				青 和 設 計
		株会社 青 和 設 計		1級建築士事務所 青森県知事登録 第004号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 館 山 良 子
		青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)		

クローゼット断面詳細図	S=1/20	台所断面詳細図	S=1/20	玄関分電盤位置詳細図	S=1/20	トイレ棚詳細図	S=1/20
							
外部物置中段詳細図	S=1/20	アンテナ取付用バー詳細図	S=1/20	脱衣室平面詳細図	S=1/20	脱衣室断面詳細図	S=1/20
							
				<div><div>No. 25201 DATE R08.05</div><div>株式会社 青和設計 1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 舘山良子</div></div>		<div>芦野団地市営住宅(No.1号棟)建替建設(建築)工事 設計図 DR.NO. A-31 部分詳細図・1 SCALE (A2) 1/20 (A3) 1/28.3</div>	


$$3.00 \text{ H} = 11.00 \text{ m}$$

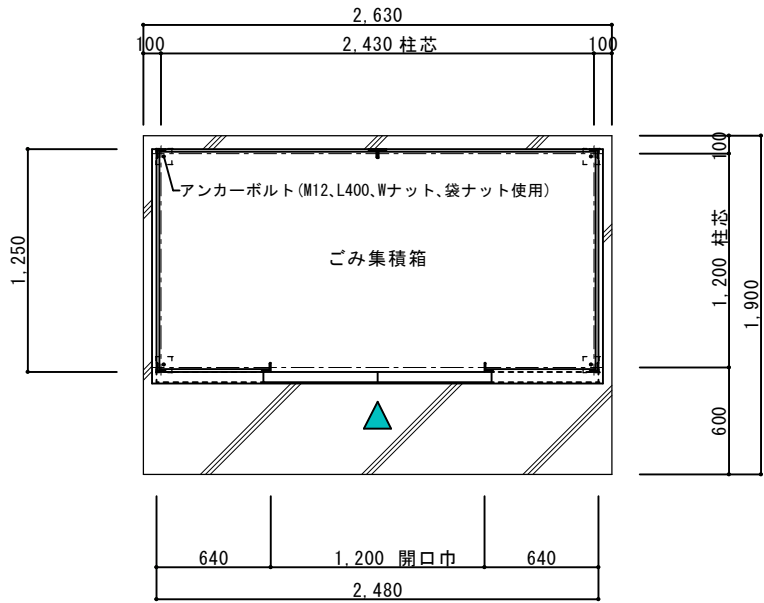
材料名称	強度 ㎍
コンクリート	$F_c: 20$
コンクリート	$F_c: 15$

名称
マンホールカバー-支給 (機械設備工事)

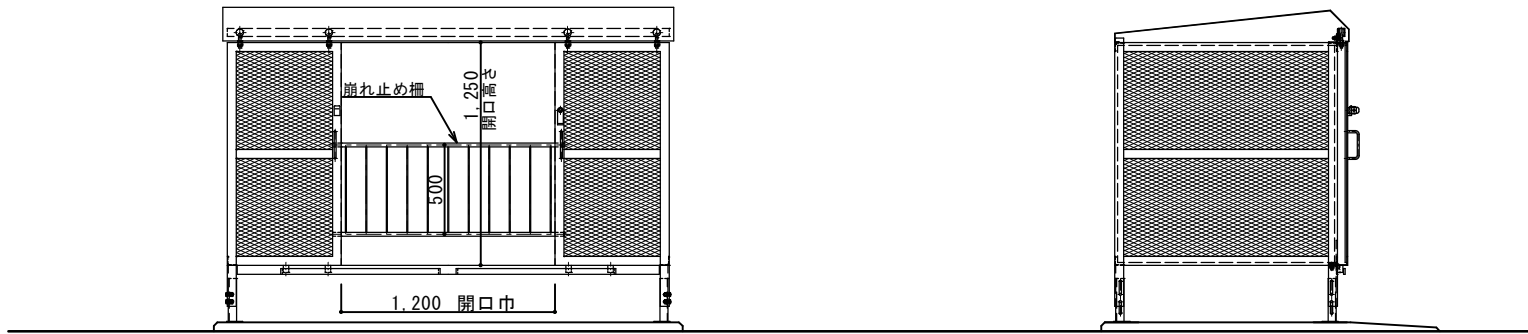
山. 傳.

青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)

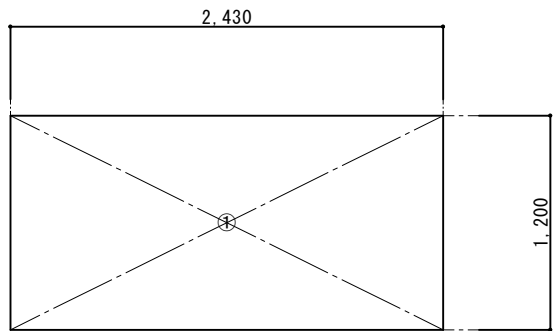
二級建築士事務所 青森県知事登録 第604号
二級建築士 国土交通大臣登録 第249444号
管理建築士 舘 山 良 子



平面図 S=1/30



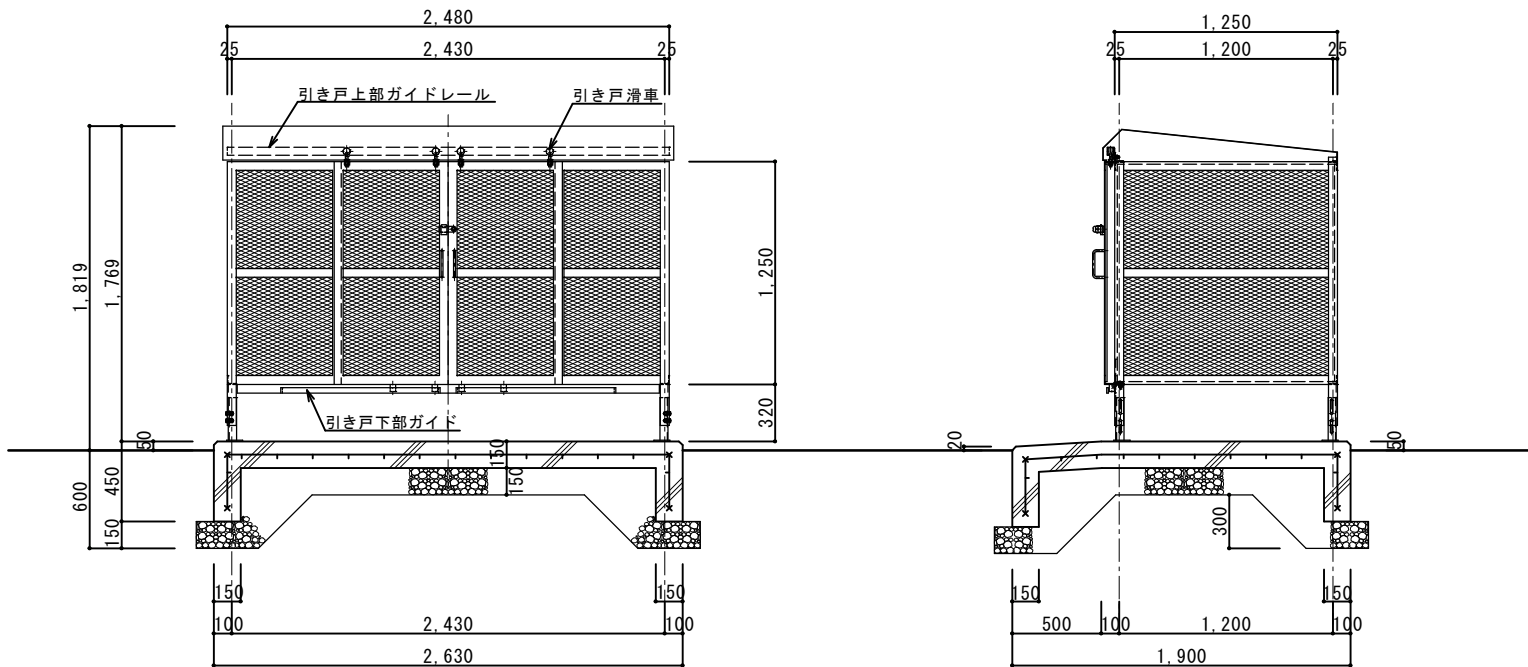
立面図 S=1/30



床面積
① 2.43 × 1.20 = 2.916 ① — 2.91 m²
建築面積
① — 2.91 m²

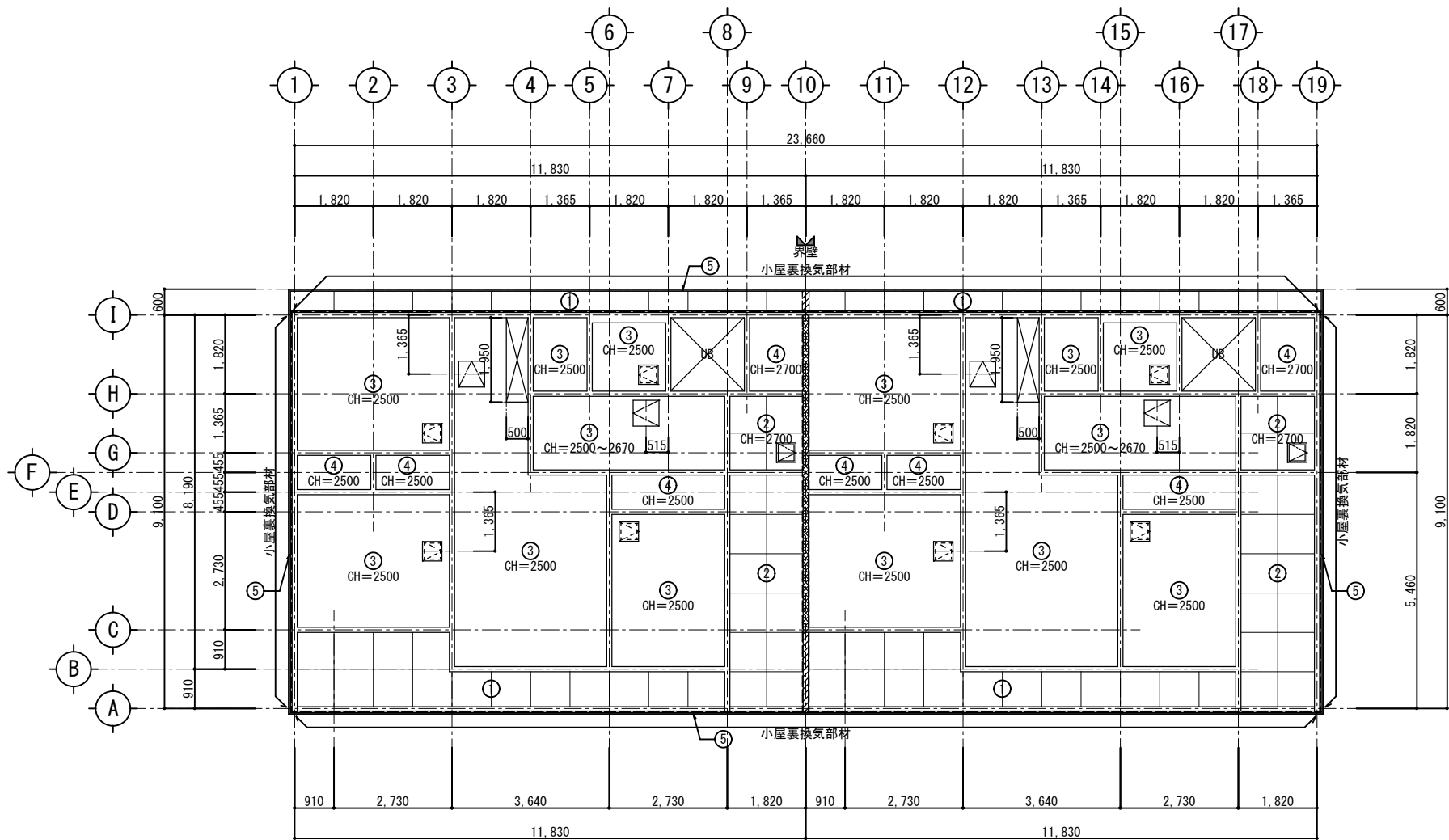
求積図 S=1/30

- 仕様(株式会社 ホクテツ ごみ集積箱(引き戸)24×12×12型 同等)
- ・前面、側面、背面はXS-42エキスパンドメタル
 - ・底面はXS-33エキスパンドメタル
 - ・屋根はt=2.3鉄板
 - ・フレームは50×50アングル材
 - ・全面溶融亜鉛メッキ仕上げ
 - ・崩れ止め柵は取り外し可能
 - ・重量 約310kg
 - ・アンカーボルト(M12、L400、Wナット(上部袋ナット))を土間コンクリートに固定



断面図 S=1/30

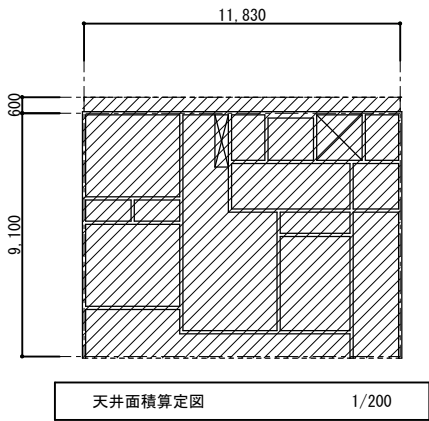
No. 25201	芦野団地市営住宅(No. 1号棟)建替建設(建築)工事 設計図 DR. NO. A-33
DATE R08.05	部分詳細図・3 SCALE (A2) 1/30 (A3) 1/42.4
	株式会社 青和設計 1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館山良子



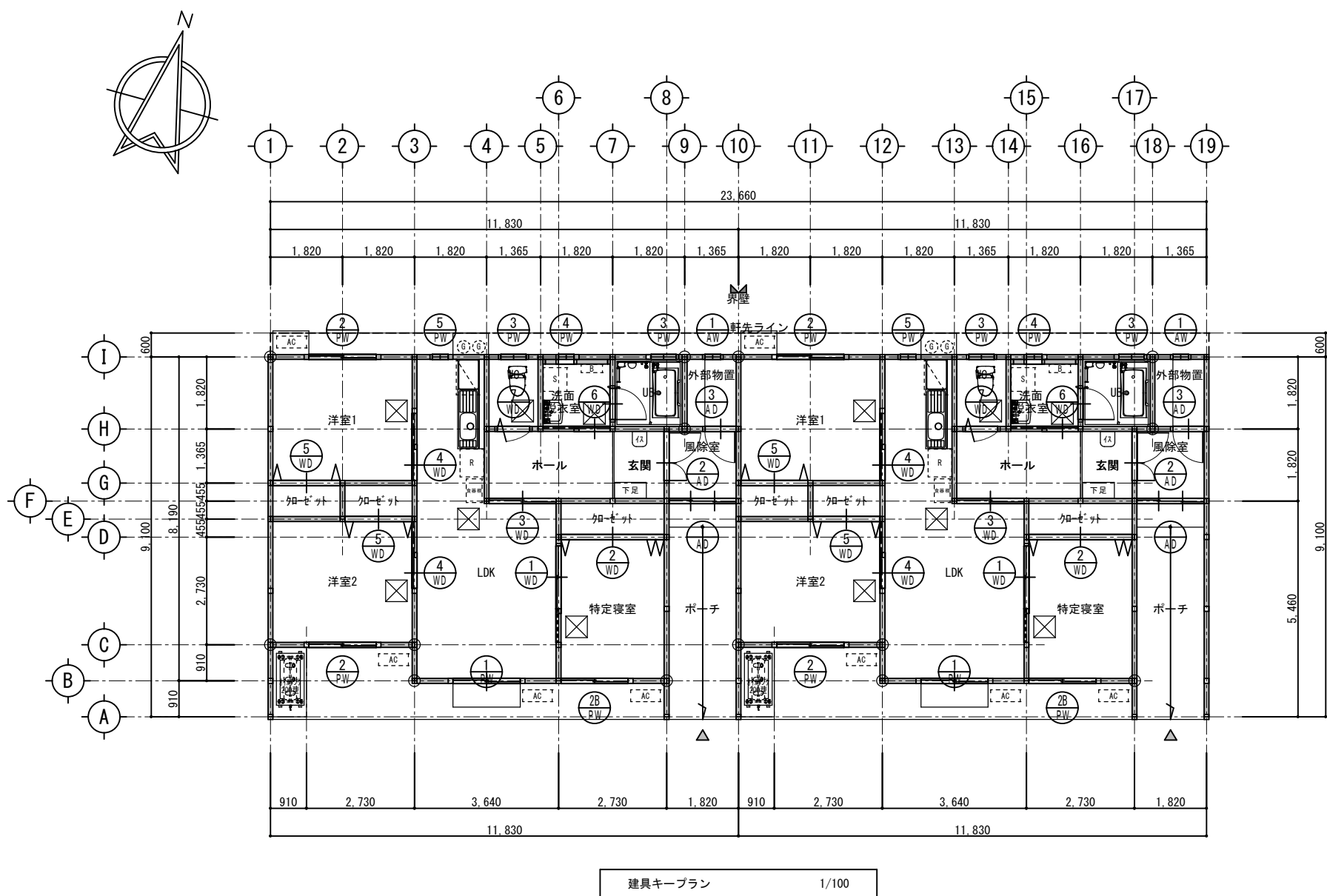
天井伏図 1/100



凡 例	
①	化粧パルプ繊維混入セメント板(木目調)t=12.0
②	化粧パルプ繊維混入セメント板(エンボス調)t=12.0
③	石膏ボードt=9.5 ビニール壁紙張り(汚れ防止)
④	化粧石膏ボードt=9.5
⑤	破風・唐草：塗装溶融55%7#ミニカム 亜鉛合金めっき銅板 t=0.4 包
	天井点検口 600×600 アルミ製(断熱タイプ) 4ヶ所
	天井点検口 450×450 アルミ製(断熱タイプ) 8ヶ所
	天井点検口 450×450 アルミ製(一般タイプ) 2ヶ所
	小屋裏換気部材 18×40×1820 有効開口面積 142.0cm ² /m (イーヴスベントス585同等品)
	界壁
	界壁(小屋裏)

小屋裏換気計算 (天井面積1/250)				※界壁にて分けるものとする
換気種類				小屋裏換気部材 有効換気量 0.0142㎡/m
軒裏換気				
天井面積				必要面積=天井面積/250
天井面積：	11.830 × (9.100 + 0.600) = 114.7510			
	= 114.75 ㎡			114.75 / 250 = 0.459㎡
	有効面積			判定
有効面積：	0.0142 × 32.760 m = 0.4651 = 0.465 ㎡			0.465 > 0.459 (1.01/250) OK

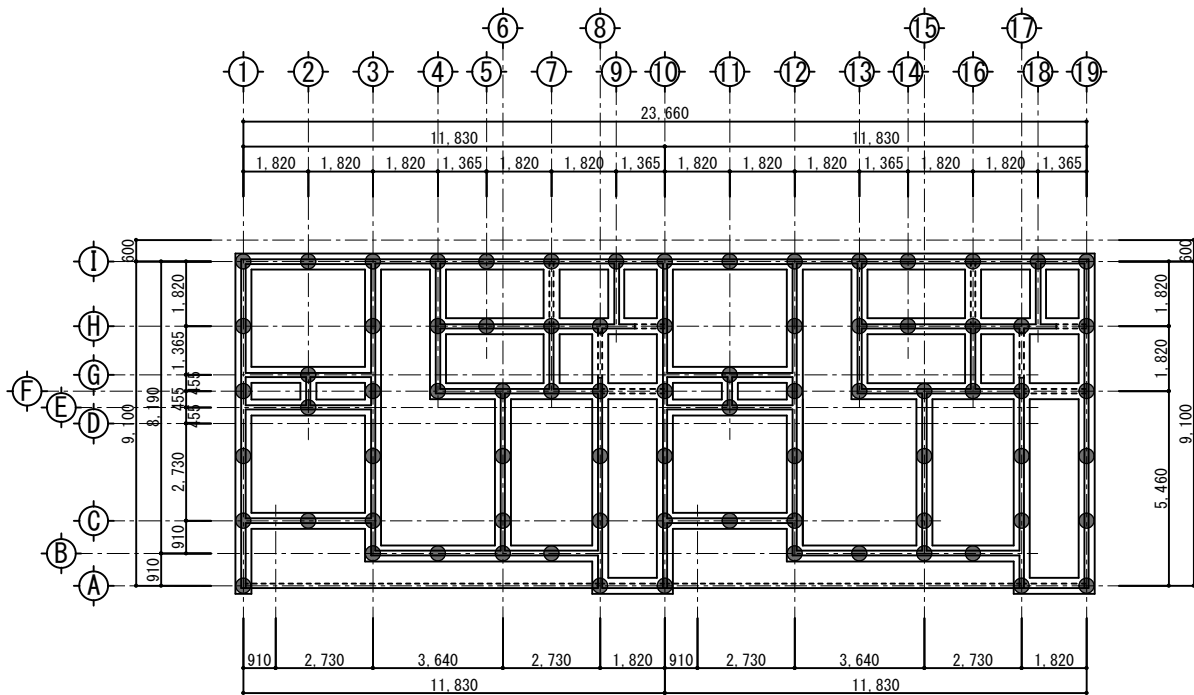


No. 25201	芦野団地市営住宅(No.1号棟)建替建設(建築)工事 設 計 図 DR. NO. A-34
DATE R08.05	SCALE (A2) 1/100 1/200 (A3) 1/141.4 1/282.8
	天井伏図
	株式会社 青 和 設 計
	1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館 山 良 子



No.	25201	芦野団地市営住宅(No.1号棟)建替建設(建築)工事 設 計 図 建具キープラン  	DR. NO.	A-35
DATE	R08.05		SCALE	(A2) 1/100 (A3) 1/141.4
株式会社 青 和 設 計 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代)		1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 管理建築士 舘 山 良子		

記号・ヶ所	WD-12ヶ所	WD-22ヶ所	WD-32ヶ所	WD-44ヶ所	WD-54ヶ所
姿 図					
使用箇所	LDK	クローゼット(特定寝室)	LDK	洋室1、洋室2	クローゼット(洋室1、洋室2)
見込・形式	28.4木製2枚片引き戸	25.4木製折戸	28.4木製引違い戸	28.4木製片引き戸	25.4木製折戸
硝子・仕上	スチレン系樹脂(ミスト調半透明)樹脂化粧シート貼	ー樹脂化粧シート貼	熱処理型板ガラス(ミスト調半透明)樹脂化粧シート貼	スチレン系樹脂(ミスト調半透明)樹脂化粧シート貼	ー樹脂化粧シート貼
金 物	引手、戸車、敷居(ブロンズ・レール)、見切枠	ハンドル、付属金物一式、見切(B)枠(三方枠)	引手、戸車、敷居(ブロンズ・レール)、見切枠	引手、戸車、敷居(ブロンズ・レール)、見切枠	ハンドル、付属金物一式、見切(B)枠(三方枠)
備 考	既成建具F☆☆☆☆	既成建具F☆☆☆☆	既成建具F☆☆☆☆	既成建具F☆☆☆☆	既成建具F☆☆☆☆
記号・ヶ所	WD-62ヶ所	WD-72ヶ所			
姿 図					
使用箇所	洗面脱衣室	WC			
見込・形式	28.4木製片引き戸	30木製折れ戸			
硝子・仕上	スチレン系樹脂(ミスト調半透明)樹脂化粧シート貼	スチレン系樹脂(ミスト調半透明)樹脂化粧シート貼			
金 物	引手(鍵付き)、戸車、敷居(ブロンズ・レール)、見切枠	レバーハンドル、表示錠、丁番、見切枠			
備 考	既成建具F☆☆☆☆	既成建具F☆☆☆☆			
記号・ヶ所					
姿 図					
使用箇所					
見込・形式					
硝子・仕上					
金 物					
備 考					



杭伏図 1/150

杭要領 (1号棟)

工 法	オーガ併用圧入工法 (H-CP工法同等以上)		
杭 種	H型P Cパイル 200×200		
記 号	杭 長	支持力	杭本数
●	8.0 m (4.0+4.0)	45.0 kN/本	78 本

(地盤補強として打設)

- ・高止まりした場合は精度よく切断すること。
- ・杭位置を施工前に監督員立会いのもと確認すること。
- ・ベース方向と垂直に芯ずれ100mmを超えた場合、監督員と協議しベース補強すること。
- ・設計深度に到達しても設計支持力を満たさない場合設計支持力を確認できる深度まで圧入し打止め完了すること。
- ・杭頭レベルが－50mmを超えた場合、監督員と協議し杭頭補強すること。

特記外事項

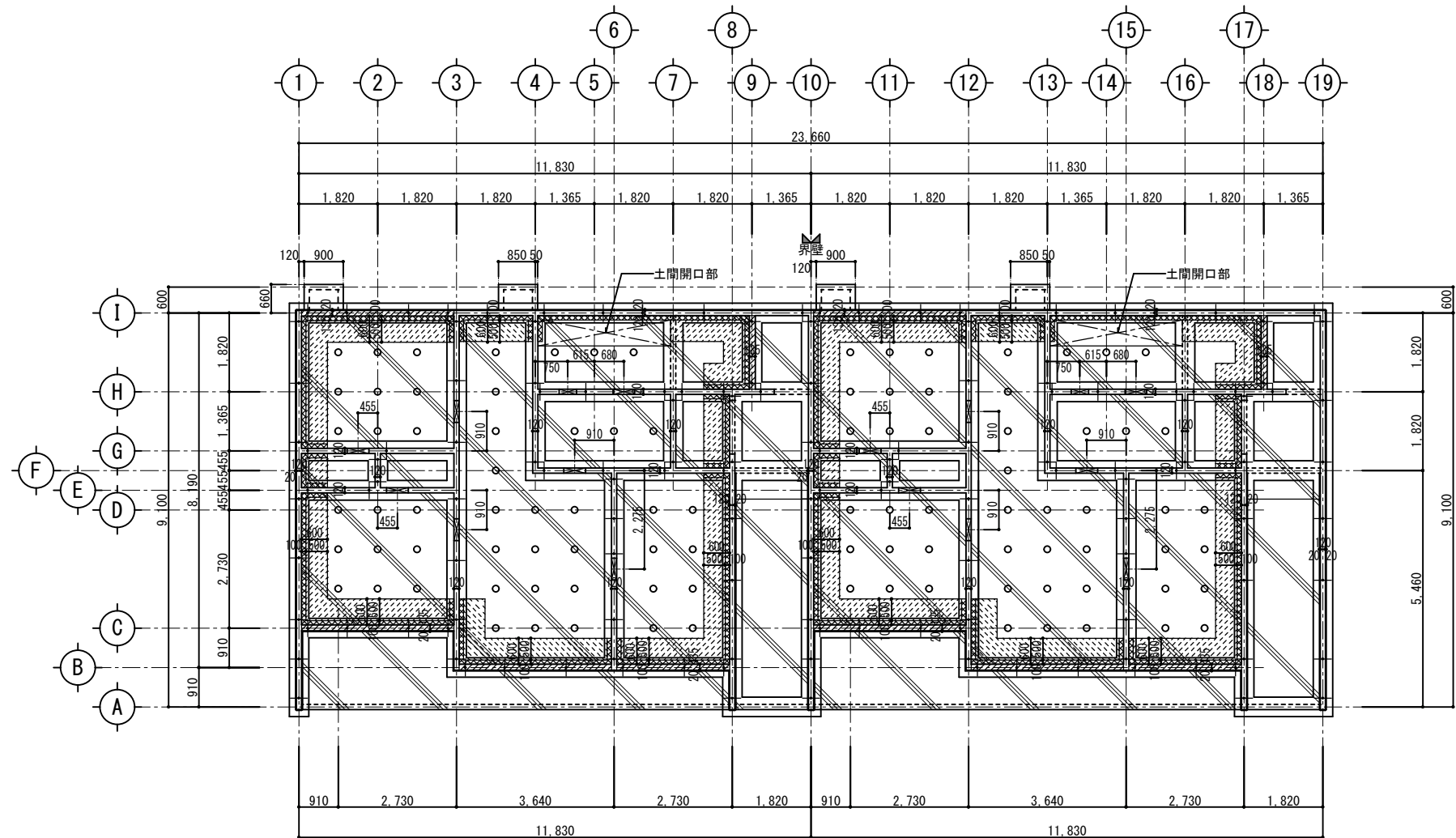
- : フーチング付布基礎 W=120
- : フーチング付布基礎 W=135
- : フーチング付布基礎
- : 樹脂製既製束 H=370 96ヶ所
- : 通気口 (H350×W400、500)
- : 土間コンクリート t=120
- : 土間開口部 防湿コンクリート t=60
(ワイヤーメッシュ φ4×100×100)
- : 基礎立上 内側断熱材
押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種 b (A) t=100
- : 土間底板 敷込み断熱材 W=600
押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種 b (A) t=100

設計図書に記されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「木造建築工事標準仕様書」及び同監修「鉄筋コンクリート構造配筋要領」による。

I 使 用 材 料	
基礎コンクリート	$FC=24N/mm^2$ (SL=15)
土間コンクリート	$FC=24N/mm^2$ (SL=15)
捨てコンクリート	$FC=18N/mm^2$ (SL=15)
鉄 筋	SD295 (重ね継手40d、コーナー40d) @250
碎石 (基礎・土間下)	再生碎石 (RC-40~0) ソイルコンパクター又はランマーにて十分締め固める。
アンカーボルト	M12 L=400 品質:亜鉛メッキ処理 JIS B 1180 埋込み長さ:250mm
布基礎立上り外周部 (ボ-テ)	コンクリート増打ち t=20

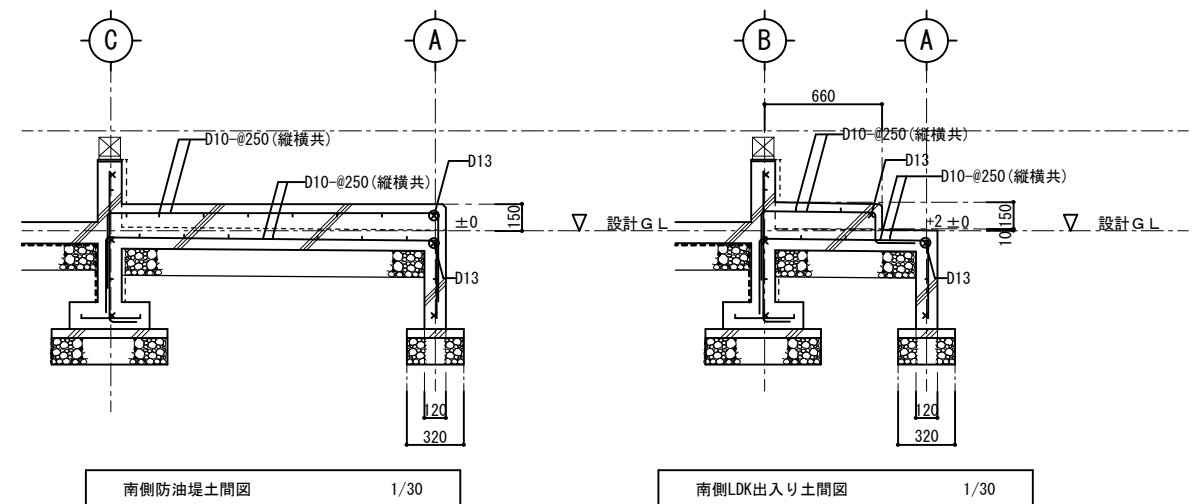
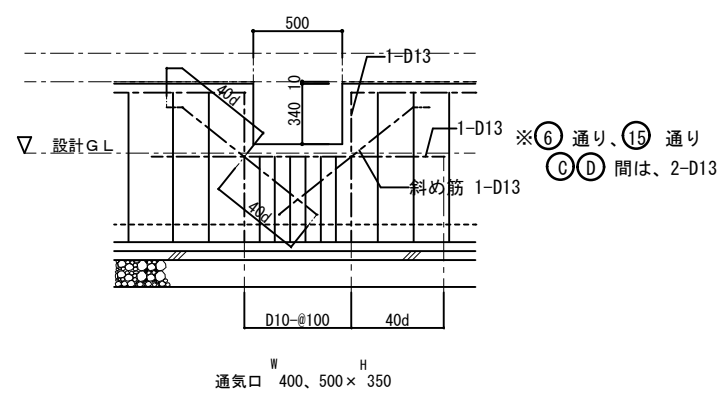
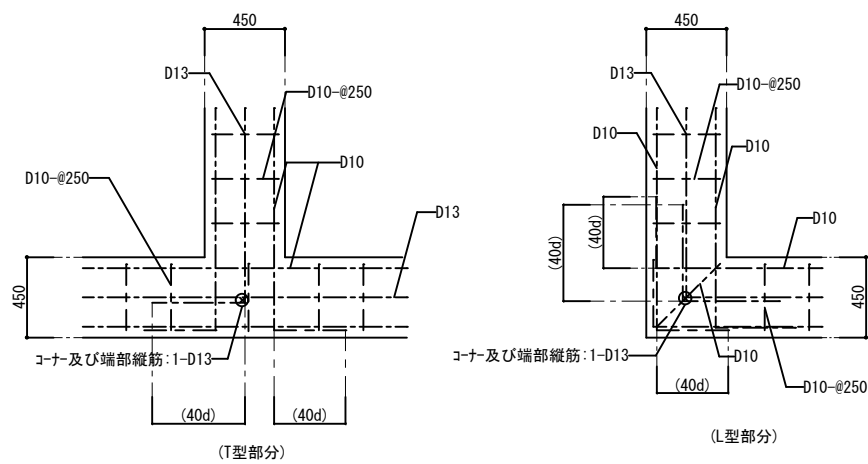
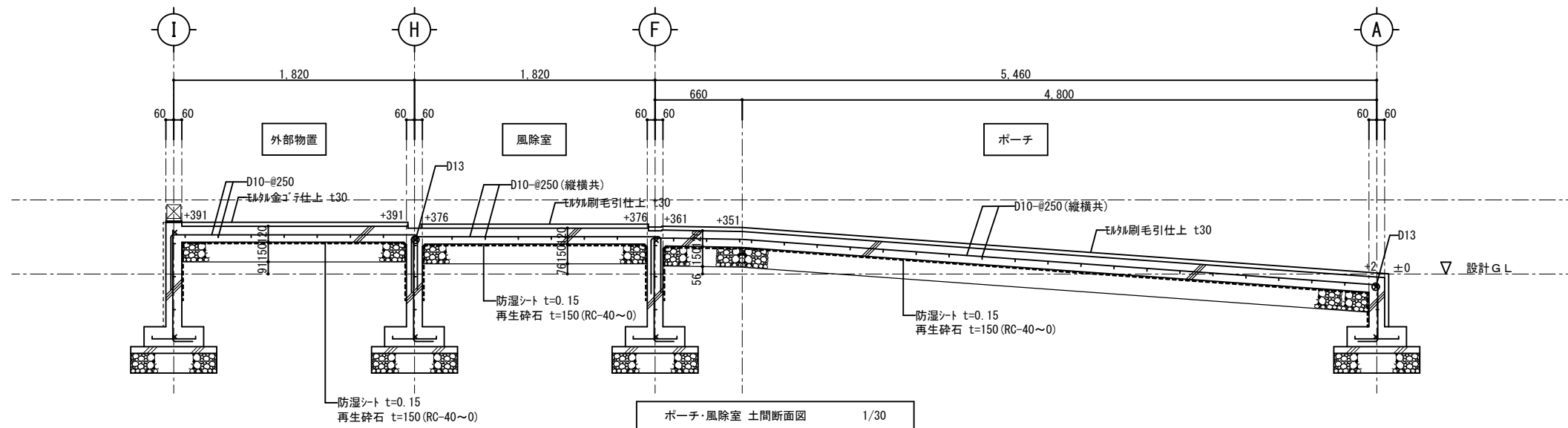
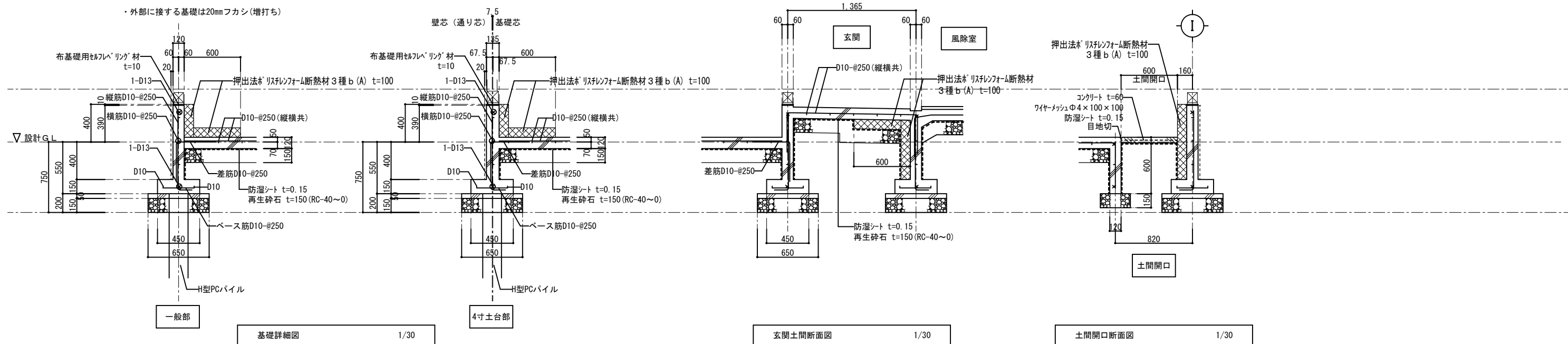
アンカーボルトの設置位置

- ・筋違いを設けた耐力壁の部分は、その両端の柱の下部にそれぞれ近隣下位置に柱から20cm程度の位置に設けること。
- ・土台切れの箇所、土台継手及び土台仕口箇所の上木端部に設けること。
- ・上記以外部分においては、間隔2.73m以内に設けること。
- ・配置取付けは、墨出しをし精度良くコンクリート打設前に、予め固定しておくこと。
- ・鉄筋の配筋については@250を厳守すること。

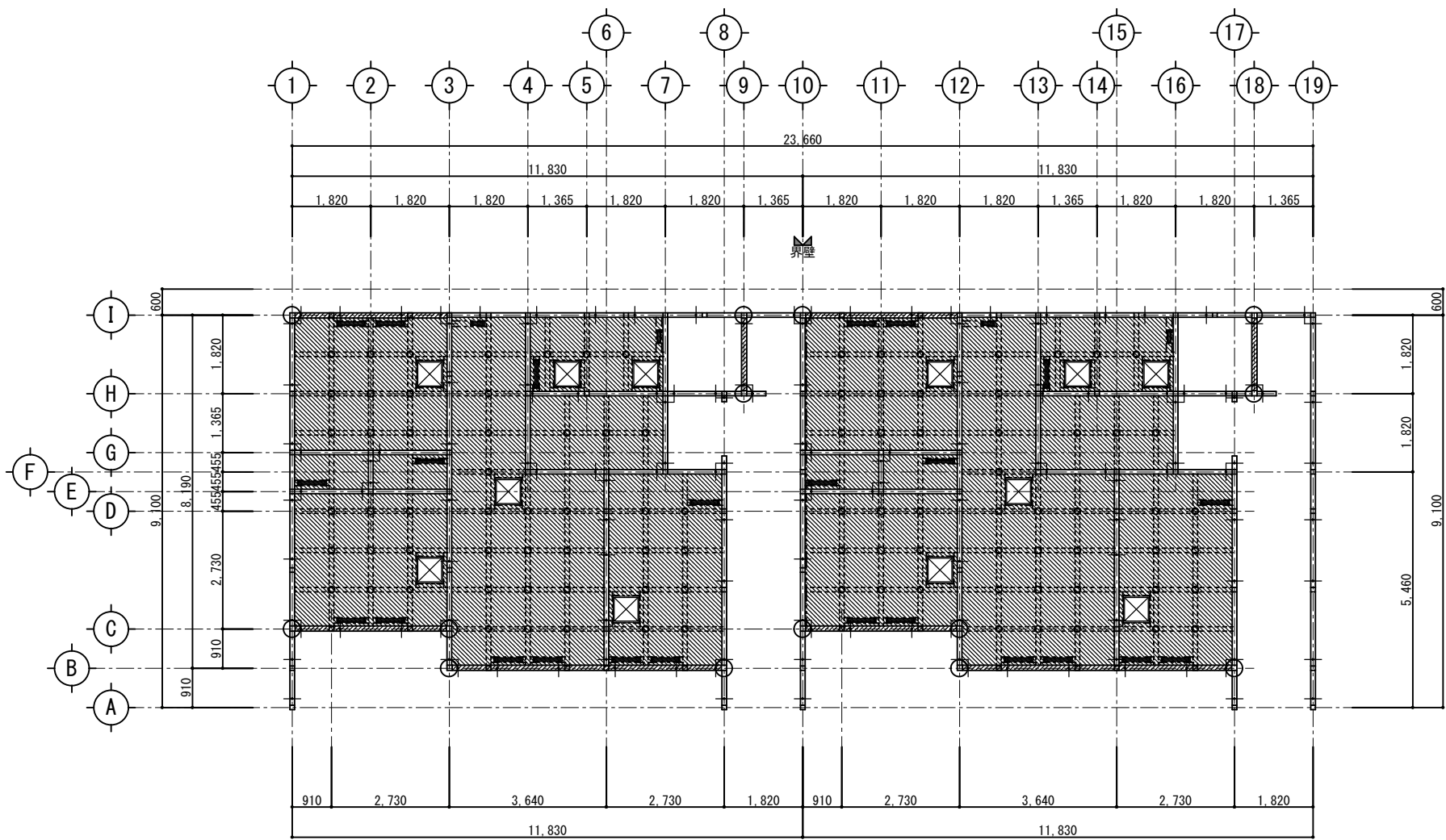


基礎伏図 1/100

No. 25201	芦野団地市営住宅 (No. 1号棟) 建替建設 (建築) 工事 設 計 図 DR. NO. S-01
DATE R08.05	杭伏図・基礎伏図 SCALE (A2) 1/100 1/150 (A3) 1/141.4 1/212.1
	株式会社 青 和 設 計 1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市宇津谷町91番地20 TEL:0173(35)8331 (代) 管理建築士 館 山 良 子



No.	25201	芦野団地住宅営住宅(No.1号棟)建替建設(建築)工事 設計図 DR. NO. S-02
DATE	R08. 05	
基礎詳細図		SCALE (A2) 1/30 (A3) 1/42. 4
		 
株式会社 青 和 設 計		1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号
青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173 (35) 8331 (代)		1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号
		管理建築士 舘 山 良 子



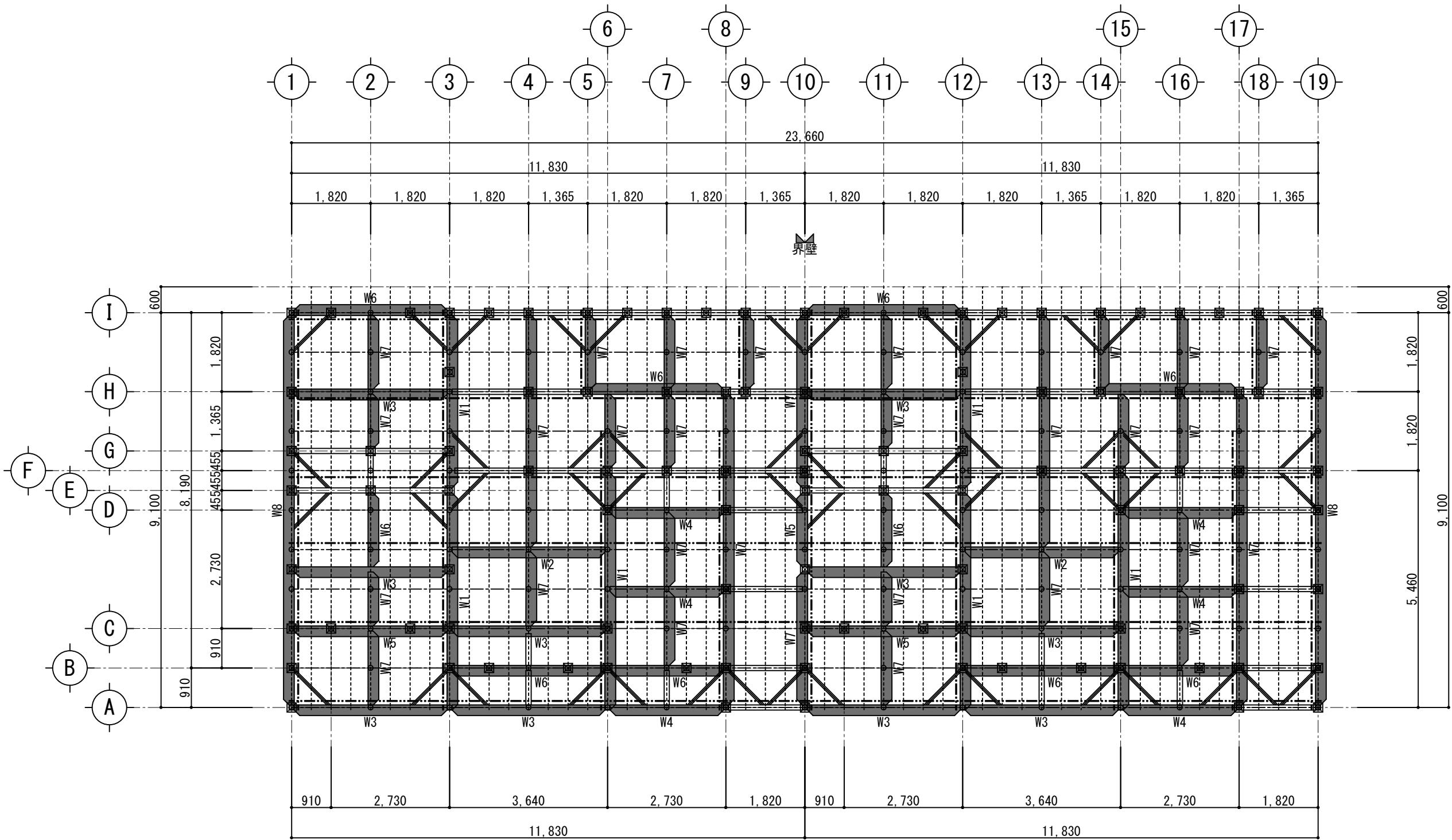
床伏図 1/100

柱の有効細長比の検討					
柱105角			柱120角		
断面積	A=	$10.5 \times 10.5 = 110.25\text{cm}^2$	断面積	A=	$12.0 \times 12.0 = 144.00\text{cm}^2$
断面二次半径	I=	$10.5 \times 10.5^3 / 12 = 1012.92\text{cm}^4$	断面二次半径	I=	$12.0 \times 12.0^3 / 12 = 1728.00\text{cm}^4$
	i=	$\sqrt{1012.92 / 110.25} = 3.03\text{cm}$		i=	$\sqrt{1728.00 / 144.00} = 3.46\text{cm}$
座屈長さ	Lk=	$315 - 10.5 - 10.5 = 294\text{cm}$	座屈長さ	Lk=	$315 - 10.5 - 10.5 = 294\text{cm}$
有効細長比	$\lambda =$	$294.0 / 3.03 = 97.03 < 150 \therefore \text{OK}$	有効細長比	$\lambda =$	$294.0 / 3.46 = 84.97 < 150 \therefore \text{OK}$

※ 凡 例

- 1. : 土台 105×105 (ヒバ、青森県産材を使用)
- 2. : 土台 120×105 (ヒバ、青森県産材を使用)
- 3. : 大引 105×105 (ヒバ、青森県産材を使用)
- 4. : 床下ガラリ受・床合板受 90×45 (ヒバ、青森県産材を使用)
- 5. : 管柱 105×105 (スプルース集成材 (E95-F315))
- 6. : 隅柱 120×120 (スプルース集成材 (E95-F315))
- 7. : 樹脂製既製束 H=370 96ヶ所
- 8. : 針葉樹構造用合板t=24張(本実) 特類2級
- 9. : 床下点検口 600×600
- 10. : 床用ガラリ 624.5×90 274×90

No. 25201	芦野団地市営住宅(No.1号棟)建替建設(建築)工事 設 計 図 DR. NO. S-04		
DATE R08.05	SCALE (A2) 1/100 (A3) 1/141.4		
	株式会社 青 和 設 計 1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館 山 良 子		



小屋伏図 1/100

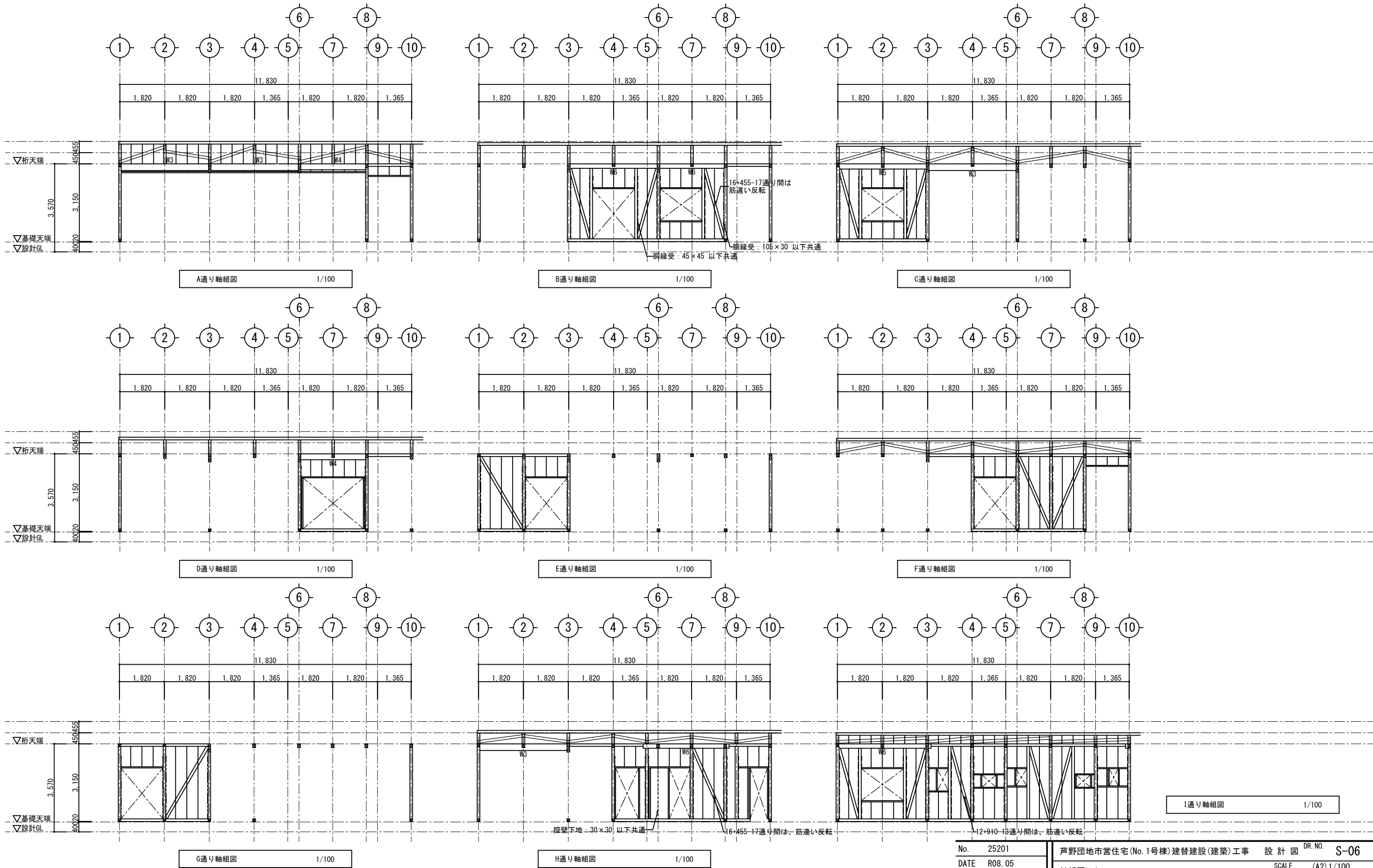
※ 凡 例

- 1. --- : 母屋 105×105@910 (ｽﾌﾟﾙｰｽ集成材)
- 2. - - - - - : 垂木 45×75@455 (ｽﾌﾟﾙｰｽ)
- 3. - · - · - · : 小屋筋違 105×18 (杉)
- 4. ○ : 小屋束 105×105@910 (ｽﾌﾟﾙｰｽ)
- 5. / : 火打金物 HB Zマーク品
- 6. = = = : 105×105 (ｽﾌﾟﾙｰｽ集成材)
- 7. □ : 柱の位置を示す。
- 8. 梁寸法は、部材リスト参照。

部 材 リ ス ト									
名称	寸法	材種	等級	備考	名称	寸法	材種	等級	備考
土台	105×105	ヒバ	特1等	JAS規格品 甲種2級 (青森県産材を使用)	筋かい	90×45	ｽﾌﾟﾙｰｽ	特1等	無等級
土台	120×105	〃	〃	〃	小屋筋違	105×18 @1,820	杉	特1等	無等級 (青森県産材を使用)
大引	105×105	〃	〃	〃	胴縁	45×18 @455	〃	〃	〃
床合板受	90×45	〃	〃	〃	胴縁受(片面)	45×45	〃	〃	〃
床下ガラリ受	90×45	〃	〃	〃	胴縁受(両面)	105×30	〃	〃	〃
柱	105×105	ｽﾌﾟﾙｰｽ集成材	小断面	E95-F315 同一等級構成集成材	野縁	45×45 @455	〃	〃	〃
隅柱	120×120	〃	〃	〃	吊り木	45×45 @910	〃	〃	〃
軒桁・つなぎ	105×105	ｽﾌﾟﾙｰｽ集成材	小断面	E105-F300 対称異等級構成集成材	吊り木受	90×45 @910	〃	〃	〃
小屋束	105×105 @910	ｽﾌﾟﾙｰｽ	特1等	無等級	梁 W1	105×330	ｽﾌﾟﾙｰｽ集成材	小断面	E105-F300 対称異等級構成集成材
母屋	105×105 @910	ｽﾌﾟﾙｰｽ集成材	小断面	E105-F300 対称異等級構成集成材	梁 W2	105×300	〃	〃	〃
垂木	45×75 @455	ｽﾌﾟﾙｰｽ	特1等	無等級	梁 W3	105×270	〃	〃	〃
間柱	105×30 @455	〃	〃	〃	梁 W4	105×240	〃	〃	〃
マグサ	105×45	〃	〃	〃	梁 W5	105×210	〃	〃	〃
窓台	105×45	〃	〃	〃	梁 W6	105×180	〃	〃	〃
窓枠縦材	105×45	〃	〃	〃	梁 W7	105×150	〃	〃	〃
					梁 W8	105×120	〃	〃	〃

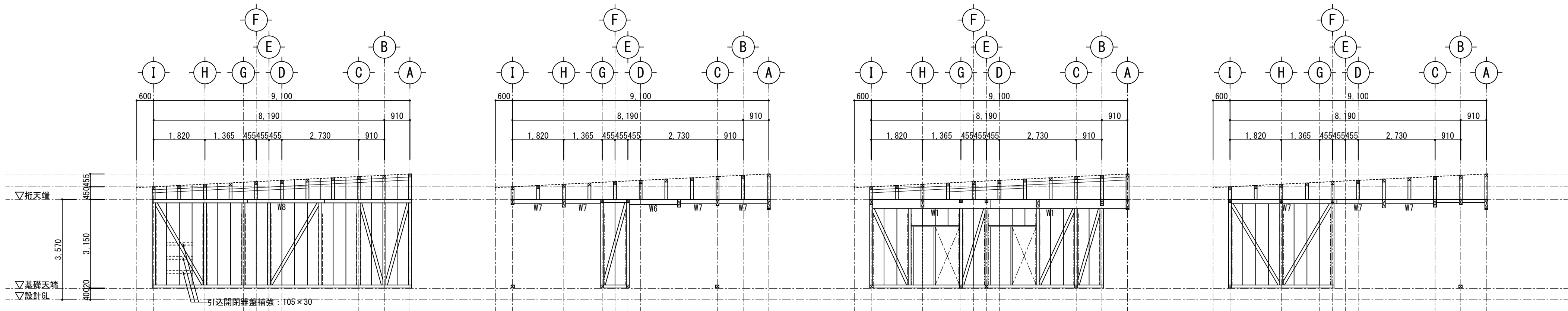
特記事項	
1. 材料の検査は使用予定材を使用部材別に揃え監督員の検査を受け、合格品を使用する。	
2. 材料加工は、監督員の検査後、合格した材料のみ使用すること。	
3. 材料の加工方法は、その部位毎に協議し監督員の承諾を得ること。	
4. 材料の仕口、継手は通常慣行方法によるが、必要に応じ金物を併用して堅固に取付ける。 また 不要な欠込みは、絶対しない事。	
5. その他疑意がある時は、事前に協議し監督員の承諾を得ること。	
6. 継手及び仕口部は、腰掛蟻継ぎ、若しくは大入れ蟻掛け＋羽子板ボルトまたは短冊金物とする。 又、梁成300以上の梁は、羽子板ボルトまたは短冊金物を2枚使いとする。	
7. 小屋筋違は桁行方向@1,820、張間方向@3,640以内で設置し小屋束にN50-4本で留め付けること。 X10通りは、界壁のため、小屋束を欠き込みして留め付けること。	
8. 設計G L ＋ 1,000mm迄、薬剤処理(JIS K 1571適合品を現場塗布) 2回塗(エコボロンPRO同等品) (土台、柱、間柱、筋違、大引、床合板受、床ガラリ受、通気胴縁)	

No. 25201	芦野団地市営住宅(No.1号棟) 建替建設(建築)工事 設 計 図 DR. NO. S-05
DATE R08.05	
	SCALE (A2) 1/100 (A3) 1/141.4
	
	株式会社 青 和 設 計
	1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第24944号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館 山 良 子



図は、① ～ ⑩ 通りまで作図している

No.	25201	芦野団地市営住宅(No.1号棟)建替建設(建築)工事	設計図	DR. NO.	S-06
DATE	R08.05	軸組図・1			
		SCALE (A2) 1/100 (A3) 1/141.4			
		株式会社 青和設計			
		1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館山良子			

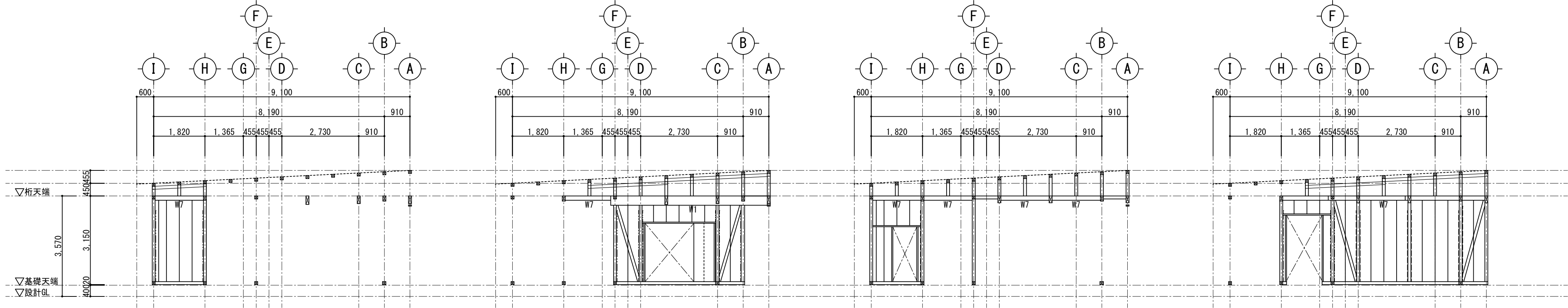


1通り軸組図 1/100

2・11通り軸組図 1/100

3・12通り軸組図 1/100

4・13通り軸組図 1/100

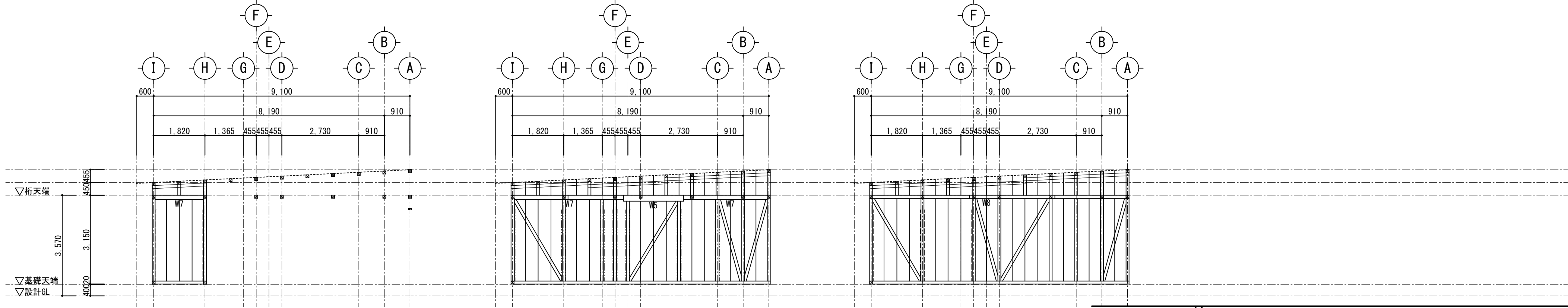


5・14通り軸組図 1/100

6・15通り軸組図 1/100
※LDK側には、ふかし壁用胴縁 30×27を柱・間柱・胴縁受に設置

7・16通り軸組図 1/100

8・17通り軸組図 1/100



9・18通り軸組図 1/100

10通り軸組図 1/100
※A～C間9通り側には、ふかし壁用胴縁 25×30を柱・間柱に設置

19通り軸組図 1/100

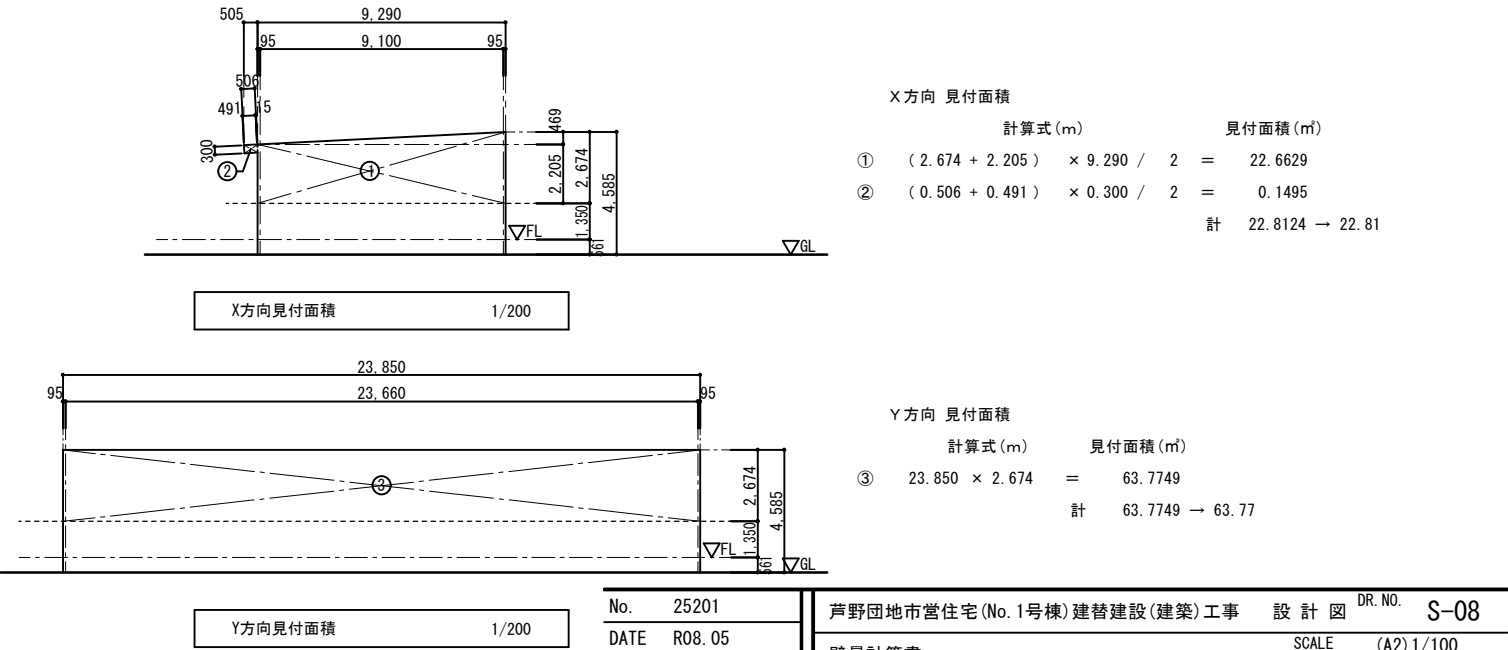
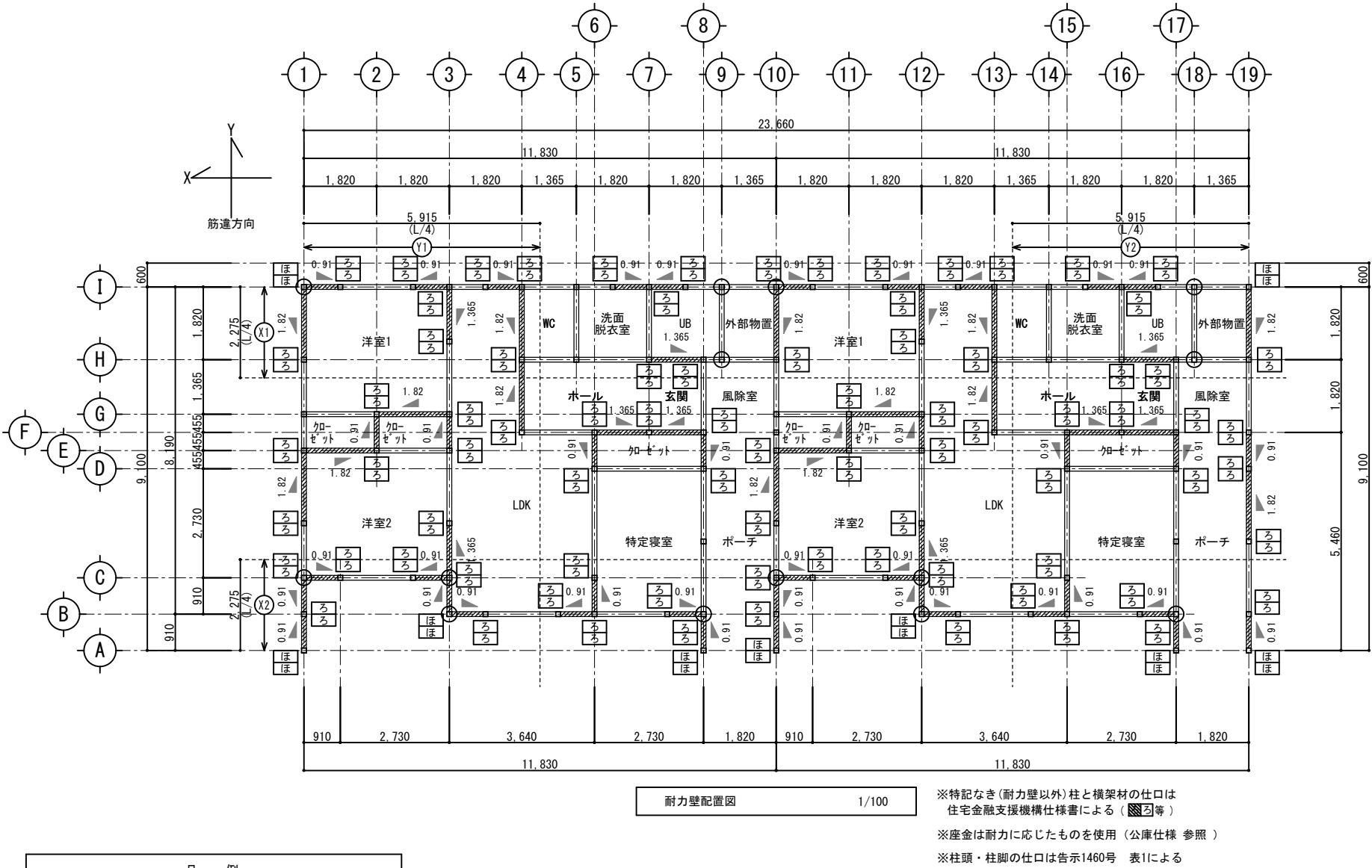
No. 25201	芦野団地市営住宅(No. 1号棟) 建替建設(建築) 工事 設計図 DR. NO. S-07
DATE R08.05	
	軸組図・2 SCALE (A2) 1/100 (A3) 1/141.4
	株式会社 青和設計 1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号 1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号 青森県五所川原市字鎌谷町91番地20 TEL:0173(35)8331(代) 管理建築士 館山良子

耐力壁となる軸組の柱と横架材の仕口の仕様（告示表三に対応）		
記号	必要耐力(kN)	金物等 ※同等認定金物も可
い	0.0	短ぼぞ差し、かすがい打
ろ	3.4	長ぼぞ差し込み栓打、L字形かど金物くぎCN65×5本
は	5.1	T字型かど金型くぎCN65×5本、山形プレート金物くぎCN90×8本
に	7.5	羽子板ボルトφ12mm、短冊金物
ほ	8.5	羽子板ボルトφ12mmに長さ50mm径4.5mmのスクリー釘
へ	10.0	10kN用引き寄せ金物
と	15.0	15kN用引き寄せ金物
ち	20.0	20kN用引き寄せ金物
り	25.0	25kN用引き寄せ金物
ぬ	30.0	15kN用引き寄せ金物×2枚
筋かい端部の仕口の仕様 ※同等認定金物も可		
※90×45mmの筋かいの場合 筋違の端部における仕口は、厚さ2.3mm以上の鋼板添え板を、筋違に対し径12mmのボルト締め及び長さ50mm径4.5mmのスクリー釘7本平打ち、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ50mm径4.5mmのスクリー釘5本平打ちとする。		
・接合金物は、柱の柱頭・柱脚の両方に取付けること ・筋かいが取付く壁面内には梁の継手を設けないこと		

筋かい検討表	
地震力による必要長さ	建築面積 215.30 × 0.28 = 60.29
風圧力による必要長さ	X 方向 22.81 × 0.5 = 11.41 < 60.29 Y 方向 63.77 × 0.5 = 31.89 < 60.29
設計壁量	<div><div><div><div><div>0.91 × 20 × 2.0 = 36.40</div><div>1.365 × 6 × 2.0 = 16.38</div><div>1.82 × 4 × 2.0 = 14.56</div></div><div>67.34 > 60.29 ○ K</div></div><div><div><div>0.91 × 20 × 2.0 = 36.40</div><div>1.365 × 4 × 2.0 = 10.92</div><div>1.82 × 10 × 2.0 = 36.40</div></div><div>83.72 > 60.29 ○ K</div></div></div><div>(判定)</div></div>

端 部 （1/4） の 床 面 積			
X 1	23.660 × 2.275	=	53.8265
X 2	23.660 × 2.275	=	53.8265
Y 1	5.915 × 9.100	=	53.8265
Y 2	5.915 × 9.100	=	53.8265

壁量充足率検討表													
	床面積 (a)	床面積に乗ずる数値 (b)	必要壁量 (c)	長さ	倍率	存在壁量 (d)	存在壁量 (d)	必要壁量 (c)	壁量充足率 (e)	割合≥0.5 (e)小/(e)大	判定	(e) > 1	判定
X 1	53.83	×	0.28	=	15.07	0.91 × 10 × 2.0 = 18.20 1.365 × 2 × 2.0 = 5.46	23.66	23.66	／ 15.07 = 1.57	0.77	OK	1.57	OK
X 2	53.83	×	0.28	=	15.07	0.91 × 10 × 2.0 = 18.20		18.20	／ 15.07 = 1.21			1.21	OK
Y 1	53.83	×	0.28	=	15.07	0.91 × 5 × 2.0 = 9.10 1.365 × 2 × 2.0 = 5.46 1.82 × 4 × 2.0 = 14.56	29.12	29.12	／ 15.07 = 1.93	0.63	OK	1.93	OK
Y 2	53.83	×	0.28	=	15.07	0.91 × 6 × 2.0 = 10.92 1.82 × 2 × 2.0 = 7.28		18.20	18.20			／ 15.07 = 1.21	1.21



No. 25201	DR. NO. S-08
DATE R08.05	SCALE (A2) 1/100 (A3) 1/141.4
	設計図
	壁量計算書
	青森県知事登録 第604号 1級建築士 青森県知事登録 第249444号 管理建築士 館山良子

株式会社 青 和 設 計

1級建築士事務所 青森県知事登録 第604号
1級建築士 国土交通大臣登録 第249444号
管理建築士 館 山 良 子